

平成二年三月

史料館所蔵史料目録 第五十一集

信濃国松代真田家文書目録
(その五)

史料館

史料館所蔵史料目録 第五十一集

信濃国松代真田家文書目録（その五）

① 金子預り証文 享保二年一〇月〔け三八〕

預り金三斗
一金貳百貳拾五匁銀之也
右者真田重忠身持江戸屋浦に納戸に貯至
上布裏面也其戌十一月限迄身下りし金も
依上松列く約納金銀万二匁納戸に貯置りて
着交ふと利あるをわが意に常 右者、自法違
お渡すりしに仍其證文也
享保二年十月
真田重忠
横田三重彦
池村傳左衛門
石川重家
前治物進
水田多仲
水田本二
水田頼母
小山田半定
目録屋文彦友

預り銀三斗
一限六拾貫目也 但期八束
右者且那松要用預り金銀万二匁納戸に貯置りて
返金銀来迄二月切元利未返り迄
返済公納後日親文仍其證
享保二年三月
真田重忠
高田頼太
高田頼母
山寺源太
高田入太
竹村金五
大坂
泰屋金井屋
弟書と也、お加りて
水田頼母

② 銀子預り証文 安政3年3月
〔け 295〕

三玄米或は金銀持年中大分月宛
右、三玄米名目
子金三拾五匁銀之也
依上松列く約納金銀万二匁納戸に貯置りて
着交ふと利あるをわが意に常 右者、自法違
お渡すりしに仍其證文也
安政三年三月
目録屋文彦友
横田三重彦

③ 御扶持代金請取証文
文久4年正月〔け 234〕

④

穀類平均相場伺并附札

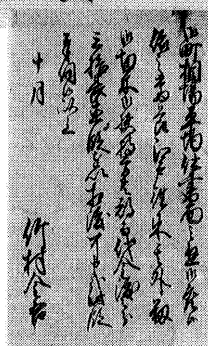
書上添、家老差図書共

嘉永七年一〇月〔け二四〇一八〕



⑤ 御納戸御余慶方預証文綴

嘉永2年〔け 46〕



⑥

中借証文綴 嘉永六年〔け 一〇三〕



凡 例

一 本目録は、『史料館所蔵史料目録』第四十三集に続いて、信濃国松代真田家文書目録（その五）を第五十一集として、同文書の書付型史料の一部を収めた。

一 史料は利用上の便宜を考慮して、その内容・性格等に応じ、大・中・小の項目を立てて分類配列した。大項目は二二ポイント活字、中項目は一〇ポイント活字、小項目は九ポイントゴチック活字で示した。また、必要に応じて○印で細項目を示した。なお一括史料のうち、他の項目中にも掲げることが妥当と考えた史料は、*印を付して重出した。

一 史料目録の記載欄はほぼ、(一)表題 (二)内容摘記 (三)作成者または差出人 (四)宛名 (五)作成年月日 (六)形態 (七)数量 (八)整理番号の順である。

一 表題（史料名称）は原表題の無いものが多いため仮に命名して掲げたが、(一)を付すことは省略した。また内容摘記は「」内に八ポイント活字をもって併記した。なお、綴物の内容摘記は、。を付して主要項目を列記したり、別行にまとめるなど便宜の方法を併用した。

一 差出人および宛名のうち複数のものは、連名には・を、別紙史料には、を用いたが、一部は適宜省略した。なお役職名は必要に応じて付した。作成年次は、年月日・干支から適宜に採用した。

一 苗字を欠く人名や、年次を明記していないものも、他の史料などにより確定できるものにはそれを補い、特定し難い場合は、(一)またはカを付して推定の文字を記した。

一 史料の形態は、簿冊類・一紙書付類ともに、原則としてそれぞれのタテの寸法をミリメートル単位で示した。その際に、簿冊類については、縦（**豎形**）と横長（**横長形**）とを併せて表示することで概略の形態を推定できるようにし、一紙書付類については、折紙、横折（**横長形簿冊**の各葉と同種の形態）の注記を加えるにとどめ、**豎紙**・**切紙**などは特に注さなかった。また、本文書に見られる漉返し紙を用いたものは**宿紙**と注し、一番号の複数史料には**宿紙混**と表示した。なお、**図面類**についてはタテ寸法とともにヨコの寸法を示した。そのほか、各史料の付属物について、**袋入**・**包紙入**や**答書貼紙**などを注記したが、**封紙**・**懸け紙**などの注は省略した。

一 数量の上部に記した「**仮**」は仮綴本を示す。

一 下欄の、けの記号および数字は、各史料の整理番号を示す。照合・閲覧・引用の場合に利用されたい。

一 巻末に簡単な解題を付した。

目次

口絵	
凡例	頁
信濃国松代真田家文書目録（その五）	一
目次	二
目録	三
解題	二五

信濃国
松代

真田家文書目録（その五）

信濃国
松代

真田家文書目録（その五） 目次

藩政	三
社倉	三
困米	三
普請	三
東京屋敷、道橋方	三
災害	八
地震、水災、火事	八
産物	二〇
産物会所、生糸・蚕種、銀銅山方、藥園方、明礬方、杏仁、紙方、陶器方、諸産業、口留	二〇
京坂役場	二三
大坂御用場、京坂出入人、京坂用達金、扶持、用達人書狀、給地被下・松代廻勤、借入金勘定、御用場勘定、京坂往復書狀、原権右衛門一件、綿貫新兵衛一件、大蔵省・通商司借入金、横浜商易、商法社	二三
財政	二〇
諸役方	二〇

御勝手元、郡奉行、勘定役、吟味役、御勘定所元、元方御金奉行、御余慶方、弘方御金奉行、御金掛、御勘定吟味、御台所、御買上物、御奥元、御側御納戸、荷物会所、計監、計政副主事、司金、會計掛、賄入料	三
財政方役人用狀	三
御藏粉米	三
粉方書類、粉米請拂積、穀類相場、買米・拂米、御飯米	三
拝借・貸付	三
拝借金、貸付金	三
献上	三
借入・用達	三
借入金、郡代御貸附金、用達金・調達金、分量用達金、御預所・町方用達金、才覚金、出入人、為替金、預ケ金、無尽金	三
補遺の部	三
給禄・手充	三

国役金その他	二三
--------	-------	----

信濃国 真田家文書目録 (その五)

(文書記号 26A)

藩政

社倉

上小嶋田村社倉粉不正取調一件書類	天保三年	け三三
1 社倉粉預り証文 弥野右衛門 村役人・頭立宛	四月	300 一通
2 興津権右衛門申上書案 (不正一件取調)	一二月	151 一通
3 取調申上書		152 一通
4 社倉粉預り証文写 上小嶋田村三役人	三月	125 一通
5 上小嶋田村役人等名面		125 一通
6 上小嶋田村頭立名面		158 一通
社倉困穀預り証文 柳沢一郎、関新右衛門 野中喜左衛門・北嶋理兵衛宛	万延元年五月	276 一通 け三三
郡方伺書 并附札 (赤田村吉郎兵衛社倉積入之心得を以て差上願出之件)	一二月	宿紙 154 一通 け三三
社倉掛り伺書 (中嶋渡浪役代拝借地社倉粉積立方)	明治三年閏一〇月	宿紙 155 一通 け三三

困米

御困米御詰戻伺書 并附札 (領分不例等手充遣拂分詰戻)	真田家来小松儀兵衛 勘定奉行土方出雲守下ケ札	天保四年十一月	191 一通 け三九
御賄役御尋物答書 (弘化二年以後江戸表困米始末)	玉井清大夫	三月	宿紙 153 一通 け四六
志川村重蔵等四人願書写 (困穀之内へ初献上願)	佐左衛門・平左衛門・源治郎 代官所宛	慶応三年一二月	153 一通 け三六
吉田村外五村役人願書写 (御飯米困置救免)	檀田村・上松村・上宇木村・下宇木村・押鐘村 代官所宛	明治二年九月	279 一冊 け三〇
困穀関係差出書類		明治五年	一綴 け三五
1 桑原村役人願書 (関新右衛門貯穀請書下ケ渡)	松代役所宛	正月	276 一通
2 須坂村役人書上 (明治元年出水後困穀無之)	同	前宛 八月	278 一通
3 羽尾村役人書上 (困穀無之)	野中喜左衛門宛	正月	278 一通
普請			
御庭御宝蔵普請関係書類		嘉永三年	

御側御納戸同役用状〔屋根入料見積違等〕 小山田菅右衛門宛 三月二日	宿紙 53	一通 け 三	御普請済ニ付被下物評議書類	け 七〇
西条村大工御縫り書〔御厨子前側彫細工受負料増額〕 英之丞 田中万作宛 四月	280	一通 け 三	1 御側御納戸伺書 一〇月	宿紙 154
御普請入料勘定書類		け 三	2 御勘定吟味申上書 一〇月	149
1 御宝蔵御宮御普請入料御拂覧 三月	横長 122	一冊	左官手間・材料代請取手形 書出共 田町銀兵衛 野中喜左衛門宛 嘉永三年二月	249
2 御宝蔵地祭入料請取渡証文 塚本左五兵衛 三月	横長 125 飯一冊		御門統御役所御普請入料勘定書類〔け七一〇、七一五〕	
3 御買上紙代等請取手形 仙田忠左衛門 六月	150	一通	御入用之内受取通〔品名不記〕 小泉弥兵衛 入久左衛門宛 嘉永四年六月、十二月	横長 123
4 御買上金箔代請取手形 美濃屋左兵衛 仙田忠左衛門宛 五月	154	一通	御買上物代請取手形〔酒・豆腐・鰯〕 菊屋惣兵衛 片桐重之助・高野寛之進宛 八月	154
5 御入料代金請取渡証文 菅沼源之進 小山田菅右衛門宛 一〇月	246	一通	御拂竹代受取手形 石坂市郎右衛門 同前宛 十二月	宿紙 124
6 御入料拂二口ノ高	242	一通	小泉弥兵衛書状〔屋根方代料支拂方〕〔御大工カ〕 片桐宛 閏二月	宿紙 124
山岸助蔵用状〔普請金分担仕法問合〕 三人宛 九月	150	一通 け 三六	繩代請取手形 西村奎右衛門 同前宛 閏二月	宿紙 124
小山田菅右衛門伺書〔普請金支出願〕 一〇月	宿紙 156	一通 け 三七	御拂材木代金請取手形 春日安治 片桐・高野宛 七月	宿紙 124
小山田菅右衛門伺書〔差上金証文差出方〕 一〇月	187	一通 け 三八	御門統御普請入料請取手形綴〔屋根屋、瓦屋、大工、其他〕 嘉永四年九月、一〇月	124 ほか
御入料代請取渡証文 菅沼源之進 小山田菅右衛門宛 一〇月	250	一通 け 三三	御殿向御普請ニ付大岡宮平組吉兵衛献木取調帳 久保田吉兵衛 嘉永七年五月	横長 140
吟味方物書岡沢峯右衛門内献上御賞筋評議書類		け 三九	御殿向御普請ニ付献木願出評議書類〔御前様・貞松院様御居間〕 文久三年	け 五八
1 御側御納戸伺書 一〇月	宿紙 151	一通	1 大豆島村伊藤太願書 郡方役所宛 四月	228
2 宮下兵馬申上書〔御勘定吟味〕 一〇月	149	一通		一通

9 三沢刑部丞用状〔召上り物入穴蔵普請入料、真月院表使等役替〕 同前宛 一〇月二〇日	161	一通	東寺尾村・加賀井村三役人請書綴〔前号付属書類 郡奉行所宛 一二月 家老差図書 矢沢監物 長谷川善兵衛宛 一二月晦日	宿紙 145	一通 け 弍〇
10 三沢刑部丞用状〔普請方定金其他〕 同前宛 一月七日	161	一通	囲杭二本切取伺略図〔水拔堰新設のため〕 天保三年七月	224×289	一枚 け 弍
普請方用状〔恵明寺御靈屋并書物土蔵修復勘定遍方依頼〕 郡方宛 二月二十九日	宿紙 45	一通 け 弍	御焰硝蔵野火除絵図面 添書扣共 武具方 天保三年閏一二月	244×313 宿紙 149	二枚 け 弍 一通 け 弍
普請方用状〔御飯米方付之者揚人依頼〕 同前宛 一二月晦日	宿紙 144	一通 け 弍〇	絵図面及願書	袋入	け 弍
普請方伺書 見積書添〔馬場其外敷砂買上〕 二月	宿紙 126 246 (四通)	一綴 け 弍七	1 姥懷焰硝蔵野火除絵図面 天保三年閏一二月	244×312	一枚
所々普請入用材木伐出方伺書案 郡方・御勘定吟味・道橋方	122	一通 け 弍三	2 姥懷焰硝蔵野火除絵図面	283×387	一枚
御用人御留守居長屋之儀御尋物答書	152	一通 け 弍八	3 加賀井村五右衛門願書〔御蔵囲外ニ桑植付之事〕 武具役所宛 文久二年八月	270	一通
○			焰硝庫新規出来改引渡絵図 高野覚之進・青柳丈左衛門 武具奉行宛 安政二年六月	525×695	一鋪 け 弍〇
加賀井村地内字姥懷御焰硝蔵関係書類	袋入		引渡絵図文言写〔前項の文言と人名の書拔〕	150	一通 け 弍三
囲外野火除地普請評議書類 天保三年			青柳丈左衛門用状〔新規出来場所間数通報〕 神戸革治宛 六月八日	宿紙 151	一通 け 弍三
武具方伺書 三月	宿紙 149	二通 け 弍四	焰硝庫図面 添書共 明治五年六月	303×416 148	一枚 け 弍四 一通 け 弍四
武具方再伺書 七月	宿紙 149	二通 け 弍五	新造御蔵図面〔加賀井村合葉土蔵新設関係〕 明治二年・同四年	袋入	け 弍六
武具方心覚〔再伺書監物殿へ差出之事〕 七月九日	宿紙 149	一通 け 弍一	1 合葉蔵并同地所坪数図面 九月	446×467	一枚
武具方伺書扣 七月	宿紙 149	一通 け 弍六	2 加賀井合葉土蔵図	242×319	一枚
御勘定吟味御尋物答書 七月	160	一通 け 弍六			
武具方伺書 閏一二月	宿紙 147	一通 け 弍七			
郡方御尋物答書 一二月	宿紙 157	一通 け 弍九			

3 銃置棚仕様図	380×428	一枚	1 郡政方捕亡申上書	七月	280	一通	
4 合葉入桶有数調	122	一通	2 御幣川村三役人願書	郡政方捕亡宛	七月	280	一通
5 菅沼柳三申上書〔加賀井村土蔵外囲井大銃置場〕 四年三月	139	一通	3 郡政副主事伺書	九月	154	一通	
6 矢野倉謙兵衛用状 勘返状 小幡全一郎宛 一月	155	一通	宮繕方庶務伺書〔長局模様替入料金中借〕	三月	宿紙153	一通	
7 評定所御日記蔵仕様覚	149	一通	宮繕方庶務伺書 宮繕司添伺貼紙 〔招魂場鳥居等新設〕 四月	宿紙153	一通		
8 清野村平野原有坪覚	151	一枚	宮繕方庶務伺書 宮繕司貼添 〔庁模様替入料金中借〕 明治四年六月	宿紙153	一通		
○			計政副主事御尋物答書〔関崎取締所修復ニ付宮繕司伺之事〕 正月	宿紙150	一通		
単宿村御取締所修繕入料請取渡証文 勘定帳共 山崎治助・同彦之進 池田富之進宛 明治二年四月	255 (一冊)	綴け 三七	新御殿御家扶再伺書〔長局物置二棟引付〕 四月	宿紙150	一通		
桑根井村利三郎願書〔合葉製御用水車小屋自普請〕 合葉製元宛 明治二年一〇月	279	一通	東庁御門屋根修復評議書類 明治四年	横長112 二冊	綴け 七〇		
宮繕司伺書 大工入札共〔広場休息小屋落札取調〕 明治三年一〇月	宿紙153 (四冊)	綴け 七六	1 宮繕司見積書 四月	横長112 二冊	綴け 七六		
器械製造方量表替評議書類 明治三年		け 五	2 計監御尋物答書 四月二〇日	155	一通		
1 宮下力伺書 計監答書貼紙 七月	宿紙155	一通	修復兩件評議書類 明治四年	155	け 五		
2 宮繕司御尋物答書 八月	宿紙147	一通	1 武庫司事再伺書 〔二之丸拾三番蔵屋根修復〕 監答書貼紙 五月	155	一通		
3 宮繕司入料見積書 八月	横長110 一冊		2 武庫司事再伺書〔大銃置場屋根修復〕 五月	156	一通		
宮繕庶務伺書 仕様帳・図面・大工入札共〔学校 剣術所模様替落札取調〕 明治三年六月	宿紙150 ほか (二冊五通)	綴け 七五	3 武庫司事伺書写〔1の初伺〕 明治三年一月	156	一通		
御幣川村高札場屋根修復伺書類〔冥加として自 普請願出〕 明治三年		け 七五	4 武庫司事伺書写〔2の初伺〕 明治三年一月	156	一通		

東京屋敷

藩邸風破ニ付御殿向其外御手入伺書類 明治三年

宮繕方伺書 左官積り書添〔表通長屋破損壁修復〕 九月

宿紙150
(一通) け 六四

宮繕方伺書 瓦師仕様積り書添〔御殿長屋并御厩瓦葺修復〕 九月

宿紙150
(一通) け 六五

宮繕方伺書〔御手入修復入料見積〕 一〇月

169 一通 け 六六

宮繕方伺書 大工積り書添〔深川邸所々修復并不用分御拂〕 一〇月

宿紙152
(四通) け 六七

宮繕方伺書〔南部坂邸長屋古畳御拂〕 一〇月

宿紙150 一通 け 六五

南部坂御守役伺書案〔御化粧之間床張替〕 一一月

159 一通 け 五二

道橋方

出役人村方賄御手充請取渡証文〔御林并野石持届出役〕 春日千左衛門・吉池与市 磯田音門外五人宛 慶応三年四月

247 一通 け 四六

災害

地震

松代大地震御届書類 弘化四年

袋入 け 六〇

1 地震御届書写〔江戸留守居より老中・大目付へ〕 三月二六日・四月朔日・同六日

堅 248 一冊

2 他大名御届書写〔松平伊賀守、堀長門守、本多豊後守、松平丹波守、榊原式部大輔〕 三月二六日・四月二日 横長123 仮一冊

3 被害件数届書案〔死人・怪我人・潰家・死牛馬〕 182 一通

4 幕府御書付写〔二万両拝借被仰付〕 四月 188 一通

5 追加御届書写〔鹿谷村被害状況〕 五月 横長123 仮一冊

6 信州地震瓦版〔略地図〕 331×454 一枚

7 信州地震瓦版〔三枚統〕 288×910 三枚

地震変災之節町外人足出辻〔各町・組より提出した犀川御用人足の請書・免除願等の綴合〕 弘化四年三月 袋入 一通 け 六九

地震格別御手充金請取証文 増田邦治郎ほか三人町奉行所宛 弘化四年五月 275 一通 け 六八

広瀬村上組三役人訴書〔大地震ニ付御用箱書類焼失〕 郡奉行所宛 弘化四年七月 275 一通 け 六七

犀川筋岩倉御普請入料請取書綴 出紙添〔新町・上条・久保寺村ほかの材木・工具・大工作料・賄料・縄代・俵代その他請取〕 弘化四年一月〜二月 278 ほか (一冊六四通) 一通 け 七六

地震ニ付町方町外御手充米評議書類 嘉永七年十一月 (一通欠) け 六二

1 斎藤友衛用状 関田莊助宛 150 一通

2 御賄所御勘定帳書抜 宿紙149 一通

3 初掛日記書抜 十一月五日、七日 宿紙154 一通

4 斎藤友衛用状写 勘左衛門宛 七月四日 宿紙154 一通

5 御收納郡奉行・町奉行・御勘定吟味申上書写 〔町方・町外潰家人数〕	竪 283	仮一冊	焼失御手充請取勘定一紙 町検断 町奉行所宛 寛政二年七月	293	一通け三五三
6 町外白米被下方員数差引調書	竪 283	仮一冊	焼失御手充請取勘定一紙〔馬持馬指共〕 同前 同前宛 寛政二年七月	298	一通け二五四
7 町別被下俵数覚	146	一通	町方焼失御手充請取勘定文案 堤一郎右衛門 拂方御金奉行宛 寛政二年九月	233	一通け二五三
8 焼失人別被下米調	宿紙 124	一通	居宅類焼御手充請取勘定一紙 紙屋町名主・長 町人 町奉行所宛 文化一四年四月	290	一通け二五五
9 焼失人別被下米積り下調	宿紙 124	一通	町方焼失御手充請取勘定文案 入安兵衛・矢野 倉惣之進 拂方御金奉行宛 文化一四年六月	226	一通け二五五
下宮野村三役人願書〔弘化大地震にて倒潰の名主 儀兵衛居宅改築〕 郡奉行所宛 文久元年八月	228	一通け六三	居宅焼失御手充請取勘定一紙 中町名主 町奉 行所宛 文政四年二月	316	一通け二五
江戸屋敷地震大破修復評議書類写〔安政二年一 〇月〕	145	一通け二三	居宅焼失御手充請取勘定一紙 荒神町名主・長 町人 同前宛 文政六年四月	316	一通け二六
水災			居宅焼失御手充請取勘定一紙 馬喰町・紙屋町 名主 同前宛 嘉永二年一〇月	竪 277	仮一冊け二五
町方町外御手充金請取渡証文扣〔出水手充〕 春 山磯治・宮本慎助 関山平治ほか拂方御金奉行宛 万延元年六月	244	一通け三三	町方焼失御手充請取勘定文案 春山磯治ほか 拂方御金奉行宛 嘉永三年三月	217	一通け二六〇
火事			御厩町肝煎役御訴書〔出火類焼屋〕 水道奉行所宛 文政二年一二月	278	一通け二二〇
御町居宅焼失之者御手充被下置人別割合覚帳 町検断 町奉行所宛 天明八年七月	横長 139	一冊け二四六	矢代宿問屋願書〔類焼ニ付葺萱頂戴〕 郡奉行所宛 天保一五年一二月	279	一通け二六
居宅焼失御手充請取勘定一紙 同前 同前宛 天明八年七月	300	一通け二五	肴町出火類焼之節書類 文久元年		
御町居宅焼失之者御手充被下置人別割合覚帳 同前 同前宛 寛政一二年閏四月	横長 139	一冊け二四六	肴町仮名主繰り書 奉行所宛 七月	277	一通け二四
類焼御手充請取証文 此原之一 堤一郎右衛門宛 寛政二年五月	245	一通け二五	中町名主繰り書 同前宛 七月	274	一通け二五

肴町・中町名主訴書綴〔焼失人別・居宅間数等届出〕 町年寄宛 七月	278	一通 け三美	肴町火災ニ付間掛御手充頂戴人別御請印帳 請取渡証文写共 肴町・中町名主ら町年寄 奉行所宛 文久元年七月	袋入 220	一冊 け三七
当夜御賄被下人別書上 玉井恒之助 七月	287	一通 け二七	中町・鍛冶町長町人等願書〔類焼御手充金拝借〕 町年寄宛 文久元年九月	283	二通 け二四
紺屋町飯島彦兵衛願書〔困糶五十俵内献上〕 奉行所宛 七月	279	一通 け二六	御城番類焼御手充評議書類〔関屋村出火ニ付同村及欠村居住人〕		け三六
焼失人御救書類綴 七月		一綴 け二九	1 御城同心頭伺書 御勘定吟味答書貼紙 三月	167	一通
1 成沢勘左衛門申上書案〔小屋掛材木拝借〕	180	一通	2 伊木億右衛門申上書 三月	152	一通
2 藁縄拝借願 小三郎 柳原柳左衛門・内山富治宛	140	一通	3 御城代答書 三月二三日	149	一通
3 雑丸太拝借願 同前 同前宛	140	一通	管下村々焼失人御手充評議書類 明治四年		け三三
4 御手充糶請取一札 中町名主 同心宛	255	一通	1 民事方伺書 民事掛添伺貼紙 六月	214	一冊
5 御手充糶請取一札 肴町名主 同前宛	255	一通	2 民事懸伺書 八月	155	一通
斎藤友衛用状〔被下米人別取調方〕 成沢勘左衛門宛 七月四日	150	一通 け二四	3 會計掛御尋物答書 八月	156	一通
町奉行伺書写 家老差図書書込〔出火之節御賄被下方〕 宮下主鈴・成沢勘左衛門 八月	252	一通 け二四	4 會計掛再御尋物答書 八月二三日	156	一通
家老差図書〔前号本紙〕 赤沢助之進 成沢勘左衛門宛 八月二九日	宿紙 150	一通 け二四	5 民事掛伺書〔御手充金中借〕 九月二三日	155	一通
肴町名主等願書〔御救小屋木品被下方〕 名主・長町人 奉行所宛 九月	279	一通 け二五	6 民事方伺書 民事掛添伺貼紙 九月二四日	127	一通
町奉行伺書写〔同前〕 九月一六日	255	一通 け二四			
町奉行再伺書〔同前〕 九月二二日	150	一通 け二四	産物		
肴町名主等願書〔御手充拝借〕 町年寄宛	280	一通 け二七	産物会所		
町年寄申立書写〔同前添状〕 米山弥右衛門外	152	一通 け二四	産物会所御用始御酒被下評議書類 天保五年		け二八
			1 産物会所掛伺書 産物掛添伺貼紙 正月	154	一通

2 御勘定吟味御尋物答書	宿紙152	一通	1 売買所友古等願書 喜八覚書写共 産物方会所宛 二月	275・150	一通
3 御台所見合書	宿紙155	一通	2 産物会所掛伺書 (売買締向設置、同冥加銀上納許可) 一二月	155	一通
産物会所地代増評議書類 (玄関前普請にて拡張分地主木町惣兵衛へ増額之件)		け 一五	3 産物会所掛御尋物答書 一二月	宿紙156	一通
1 産物会所懸伺書 一二月	宿紙155	一通	4 産物掛申上書 御勘定吟味添書貼紙 一二月	152	一通
2 産物懸添伺書 一二月	150	一通	5 御用達答書 (唐糸御貸下金取計方 専助・治助・彦兵衛 産物会所宛 一二月)	147	一通
3 御勘定吟味御尋物答書	151	一通	福島新田村大治郎・村役人・取締答書 (無鑑札にて蚕種買取之儀) 産物方役所宛 元治元年六月	堅279	仮一冊 け 一五
産物会所移転場所伺書 二月	宿紙150	一通 け 一三	福島新田村新平・村役人・取締答書 (上田領洗馬村仙七郎外二人蚕種買取宿賃) 同前宛 元治元年六月	堅279	仮一冊 け 一六
産物方関所手形評議御尋物答書案	125	一通 け 一七	生糸蚕種御締出役附書上 斎藤孝作 慶応三年一二月	147	一通 け 一七
産物改所取締役退願書 上山田村宮原喜右衛門	281	一通 け 一〇	林徳左衛門書状 (領内白糸買入之儀御下命札状) 富岡良右衛門・田中権之助宛 巳九月三日	182	一通 け 一七
産物役所宛 明治四年正月	157	一通 け 一六	産物会所懸申上書 并伺書 (堺糸屋六兵衛へ為登糸代金差引勘定) 八月、一二月	堅126 155・147	仮一冊 け 一三 一通 け 一三
松代産物問屋内願名面			郷原力作内願書 (三井との生糸取引に付東京へ出る件) 四月	151	一通 け 一六
○			内々申上書下書 別紙共 (甲府出兵等軍用金調達に蚕種生糸売込之儀) 兩人 八月二六日	宿紙150	三通 け 一五
金子預り証文写 (産物方要用金) 関新右衛門 大坂小西彦七宛 安政六年五月	270	一通 け 一五	東京産物懸申上書 (生糸生産引立方) 二月	151	一通 け 一六
産物会所当座借入金請取証文 添状共 小野唯之進 水野清右衛門宛 慶応三年一二月	271・157	一通 け 一六	蚕種製造規則布告取扱書類 明治四年		け 一七
拝借掛伺書 (産物掛入料中借金返納滞製品代納之儀) 七月	宿紙154	一通 け 一六			
御中借之内返納請取証文 (産物会所掛生糸買上代) 徳高馬・上村何右衛門外 富永新平宛 明治四年五・八月	283ほか	四通 け 一八			
生糸・蚕種					
唐糸改方評議書類 (馬喰町文三郎同居喜八製し来る唐糸を産物会所にて売捌之儀) 天保四年		け 一五			

1 小野善四郎申上書〔鑑札願之儀通商司御達之旨〕 二月晦日	160	一通	岩下左源太書状〔山付之品々郡方・道橋方所掌心覚〕岡嶋莊藏宛 八月二十九日	160	一通	け 二六
2 松代藩庁打合状案 同庁 須坂藩外宛	165	一通	銅山役伺書〔試掘申付〕 文政五年七月	266	仮一冊	け 二五
3 松代藩進達状案 須坂藩宛 三月一九日	165	一通	関屋村三役人差出書写	260	仮一冊	け 二〇
4 商法掌伺書〔蚕種世話役撰出のため川北通へ出役伺〕 三月一九日	宿紙 164	一通	金山師惣兵衛願書〔拜借金返納仕法〕 関田慶左衛門外二人宛 天保一四年一〇月	276	一通	け 二六
伊藤佐右衛門内々申上書〔山方百姓ニ山蚕飼育採用方〕 九月	162	一通	北徳間村源右衛門願書〔江府御買上銅附送り方〕 片桐重之助宛 弘化二年正月	278	一通	け 二六
銀銅山方			御買上銅差送方評議書類 弘化二年		け 二七	
関屋村分地前桂銅山問掘之儀書面 御郡方	袋入		1 北徳間村源右衛門代武右衛門申上書写 正月	160	一通	
関屋村三役人答書写〔差当たり差支無之旨〕 道橋奉行所宛 文政四年一二月	263	一通	2 御勘定吟味掛合取調書 正月	宿紙 168	一通	
関屋村三役人答書〔銅山開発差支之旨〕 代官所宛 文政四年一二月	291	一通	3 坂本常左衛門・中島宇吉御尋物答書	宿紙 165	一通	
関屋村三役人答書案〔同右〕 同前宛	261	一通	4 御勘定吟味伺書 正月八日	163	一通	
欠村三役人答書〔同村繁之助銅山出願書ニ奥印し難き旨〕 代官所宛 文政四年一二月	294	一通	5 評議伺書 小山田老岐 望月主水宛 正月一〇日	141	一通	
関屋村三役人御訴書〔田中村願人甚兵衛問掘之儀道橋奉行より被仰渡之旨〕 郡奉行所宛 文政五年八月	282	一通	6 御勘定吟味申上書 二月一四日	163	一通	
関屋村三役人答書〔問掘場所之儀〕 代官所宛 文政五年八月	300	一通	7 評議伺書 小山田老岐 望月主水宛 二月一四日	167	一通	
関屋村新旧三役人答書〔去十一月及十二月差出書類之問合〕 同前宛 文政五年九月	283	一通	8 家老用状 同前 恩田頼母宛 二月一四日	143	一通	
関屋村三役人願書〔問掘故障之儀申立替〕 代官所宛 文政五年一二月	306	一通	銅差送上乗者手充金評議書類〔上乗の松原者へ御手充被下之義〕 弘化二年		け 二七	
			1 評議伺書 小山田老岐 望月主水宛 二月二八日	169	一通	
			2 割番伺書 二月	163	一通	

3 御普請方添伺書 二月	150	一通	惣兵衛御訴書〔中切所掘方職人賃金等下渡〕 銀銅山掛り宛 嘉永三年七月	277	一通 け 三
4 御勘定吟味御尋物答書 二月二七日	163	一通	炭焼受負願書下書 書状共 嘉永三年十二月	277 ほか	一通 け 三
5 御勘定吟味申上書 二月二七日	163	一通	但州生野銀山半左衛門差上証文〔品物調代金費消託△ 惣兵衛宛 嘉永四年十二月〕	279	一通 け 三
6 家老用状 小山田老岐 恩田頼母宛 二月二八日	158	一通	惣兵衛御請証文〔銅山問掘中止之上御手充金請取〕 関田慶左衛門他宛 嘉永五年十二月	320	一通 け 三
北徳間村源右衛門答書〔大坂表買入錫品位之儀〕 水野友作・片桐重之助宛 弘化三年閏五月	276	一通 け 元	下中込村惣兵衛銀銅山掘方再願之儀評議書類		け 一
古銅質上内談書類〔北徳間村源右衛門直段書上、同検討〕 弘化三年閏五月	277 ほか	一綴 け 五	1 内藤豊後守家来添翰 惣兵衛願書写共 牧野林平・神津虎蔵 松代郡奉行宛 一〇月	288 179	一冊 一通
赤柴銅山採掘関係書類			2 惣兵衛願書 銀銅山掛奉行所宛 安政二年一〇月	289	一通
出銅諸人料御書上帳 銅山稼人惣兵衛 掛り役人宛 弘化三年二月	279	一冊 け 七	3 御勘定役御尋物答書 関田慶左衛門・野中喜左衛門 一二月	154	一通
下中込村惣兵衛拝借金証文 真田信濃守役人宛 弘化三年九月〜嘉永元年二月〔三通〕、銅山御掛り役人宛 嘉永二年三月〜七月〔六通〕	277 ほか	九通 け 八	4 惣兵衛歎願書写〔赤芝銅山休山願〕 嘉永五年一〇月	288	一冊 け 一
惣兵衛御前借金証文 銀銅山掛宛 嘉永二年二月	248	一通 け 三	5 御下ケ金請書写 惣兵衛 関田・野中宛 嘉永五年二月	250	一冊 け 一
惣兵衛拝借金願書〔山方人用道具代〕 銀銅山掛り奉行所宛 嘉永二年二月	278	一通 け 九	6 内藤豊後守役人江御返翰下案 一二月	154	一通
惣兵衛申上書〔山方諸小屋普請着手見込〕 同前宛 嘉永三年二月	278	一通 け 二〇	7 郡方伺書〔江戸留守居津田転へ尋合すべき旨〕 正月	147	一通
銀銅山小屋普請受人受負一札 平林村弥曾右衛門・田町品吉 銀銅山会所宛 嘉永三年三月	258	一通 け 二	8 津田転御尋物答書〔惣兵衛を手職人とし御手掘にて続行旨〕 正月	153	一通
			9 家老用状 勘返状 望月主水 恩田頼母宛 二月二一日〔四月七日返〕	164	一通

下中込村惣兵衛銀銅山掘方再願之儀再評議書類 安政三年

け二

- 1 御勝手元ノ回状（一件書類回付） 竹村金吾
山寺源大夫・高田幾太宛 三月七日 147 一通
- 2 御勝手元ノ回状（惣兵衛受人方取扱） 同前 同
前・宮下兵馬宛 三月二十六日 147 一通
- 3 御勘定役再御尋物答書（留守居役申立の如く休
山御手掘、惣兵衛人別取扱、山方会所設置） 関田・
野中 三月 150 一通
- 4 御勘定役御尋物答書（前号添） 同前 四月 宿紙154 一通
- 5 郡方再伺書 四月七日 145 一通
- 6 津田転再御尋物答書（先答書の内竹村申条同意）
五月二十四日 160 一通
- 7 御勘定奉行へ伺書案（前号添） 宿紙141 一通
- 8 御用番へ届書案（同前） 宿紙140 一通
- 9 御勘定吟味御尋物答書 五月二十七日 150 一通
- 10 家老評議書 玉川左門 岩崎玄蕃宛 五月二十七日 161 一通
- 11 江戸家老用状（再評議書回付） 同前 恩田頼母・
望月主水宛 五月二十八日 161 一通
- 12 御勝手元ノ回状（許可条件等再確認） 竹村
山寺・宮下・高田宛 六月一日 150 一通
- 13 惣兵衛請書下案（前号添） 奉行所宛 147 一通
- 14 御勝手元ノ評議申上書 竹村 六月十六日 151 一通
- 15 御勘定吟味再御尋物答書 六月十七日 149 一通

- 16 御收納郡方内々申上書（再応考慮を求む） 七
月 148 一通
- 17 惣兵衛願書（旧来之仕法にて荷物継送方） 奉行
所宛 七月 278 一通
- 18 御勝手元ノ回状（入山条件再考） 竹村 山寺・
宮下宛 七月二十日 147 一通
- 19 御勝手元ノ伺書（入山届提出替） 竹村 七月 147 一通
- 20 津田転再御尋物答書 八月 159 一通
- 21 御勘定吟味御尋物答書 八月四日 151 一通
- 22 家老評議書 玉川 岩崎宛 八月四日 153 一通
- 23 家老用状 勘返状 望月・恩田 玉川宛 七月
二十二日（八月四日返） 148 一通
- 24 磯田音門取次状 恩田宛 八月二日 142 一通
- 25 家老差図書（伺済） 恩田 竹村宛 八月三日 148 一通
- 26 内藤豊後守役人書状 神津虎蔵・牧野林平 竹
村・山寺他二入宛 八月二十四日 182 一通
- 27 惣兵衛請書案 岩村田役所宛 八月二十四日 235 一冊
- 銅山稼入惣兵衛死去跡清助引拂一件書類 安政
四年（八年） 袋入 け三
- 1 惣兵衛忤願書（惣兵衛大病養生之ため在所引取
方） 角五郎 奉行所宛 安政四年七月 276 一通
- 2 下中込村清助届書（惣兵衛死去ニ付掘方休止引
揚之旨） 奉行所宛 安政五年七月 276 一通
- 3 故惣兵衛跡役申上書（来月初旬引拂予告） 銅
山清助 掛り宛 安政六年正月 275 一通

4 御勘定役伺書〔清助山方引拂ニ付岩村田藩役人へ通報之件〕 関田・野中 二月	148	一通
5 岩村田役人宛添状案〔同前、次号別紙〕 高田他四人 牧野林平・神津虎蔵宛 二月	竪241	仮一冊
6 御勝手元ノ伺書 竹村 二月	153	一通
7 家老差図書〔伺済〕 望月主水 竹村宛 二月一日	宿紙145	一通
8 清助請書〔引拂及領主役場宛添翰受取〕 関田・野中宛 安政六年三月二日	279	一通
9 御勝手元ノ回状〔次号申上方内覧〕 竹村 山寺他三人宛 三月二五日	宿紙153	一通
10 御勝手元ノ申上書下案〔前号別紙、清助山方引拂及休山御届之儀〕 竹村 三月	宿紙154	一通
銅山方雜書類 万延元年一〇月調改 。道具調書、差引勘定書	袋入 155ほか〔四通〕	綴け 三
下渡銅鉛請取手形綴 後町藤八、鍛冶町万吉等野中・関田宛 万延元年	279~148 〔一通〕	綴け 三
北徳間村源右衛門江戸表にて飛騨信濃越後三ヶ国古銅取集締方被仰付一条 文久二年〔元治二年〔け四九〕五六一括〕		
源右衛門願書〔御領分内御觸流及び会所取立之儀〕 郡奉行所宛 文久二年二月	278	一通 兎
源右衛門願書写〔前号別紙、古銅取集方仕法案〕 御留守居役所宛 文久二年一月	266	一通 兎
江戸御留守居用状 役人書状添〔源右衛門処分猶予依頼〕 津田転 斎藤友衛宛 二月三日	153 162	一通 兎

源右衛門願書〔松本表役人へ添翰願〕 代喜太郎郡奉行所宛 元治二年三月	275	一通 兎
郡奉行内状案		
水野丹波守家臣連署内状〔添翰返書、源右衛門早々引拂方〕 板橋由之助他三人 磯田音門他二人宛 三月一日	151	一通 兎
郡奉行返状案〔前号了承回答〕 三人宛 三月一日	宿紙156	一通 兎
北徳間村三役人組合親類請書〔松本より源右衛門召連之儀〕 郡奉行所宛 元治二年三月	280	一通 兎
銅山師源右衛門歎願筋御手充被下評議書類〔銅座会所用として修復普請中に産物会所開設のため引拂を命じられた賠償請求〕〔け五九〕六八一括〕		
修復普請入料書上 源右衛門 産物方掛宛 慶応元年八月	横長136	一冊 兎
銅山師藤沢源右衛門願書 同前宛 慶応元年一月	275	一通 兎
木町富作等縋り書 同前宛 慶応元年一月	275	一通 兎
産物懸伺書 草間一路 一二月	148	一通 兎
産物方掛御尋物答書 同前 二月二日	148	一通 兎
御勘定吟味御尋物答書	152	一通 兎
産物会所懸御勘定役御尋物答書 七月	148	一通 兎
尚申上書	148	一通 兎
御勝手元ノ御尋物答書 七月二日	157	一通 兎
産物懸御目付御尋物答書 七月三日	146	一通 兎

越後国魚沼郡清水瀬村字黒又沢鉛山一件書類
弘化四年（け八七）九五一括

越後国鉛山御引請始末申上書 金児忠兵衛・
牧野大右衛門・和合院 弘化四年二月

黒又沢鉛山稼方為替規定一札 越後六日町与
左衛門・治左衛門 上州原町久平・鍛冶町万吉・
藤吉ほか宛 弘化四年二月

山先歩割対談書（前号添付） 同前 同前宛 弘
化四年二月

小千谷役所へ差出願書写 弘化四年二月

1 上州原畑村五郎左衛門等願書案（休山願）

2 六日町村与左衛門等願書案（松代万吉等へ
稼方委譲）

3 鍛冶町万吉等願書写（五十日試掘）

札目録相渡候人別覚

鉛山譲渡趣意金請取一札 与左衛門他 万吉他
宛

越州魚沼郡清水瀬村鉛山一件扣 御飛脚才領
組宮下清五郎 弘化四年二月

黒又沢鉛山一件元帳・諸人料拂方覚帳 同前
弘化四年二月

入料請取切手綴（宿料・駄賃・目録） 与左衛門
他 清五郎宛 弘化四年二月

○勘定書類

銀銅山方勘定書類綴

け 三

1 北徳間村源右衛門御手充金請取証文 関田・
野中宛 嘉永四年七月

2 惣兵衛拝借金上納請取手形 野村権兵衛・久
保孫左衛門宛 嘉永元年二月

3・4 内借金御礼金請取手形 宮沢善治他三名
関田・久保宛 弘化四年二月 嘉永元年二
月

5 赤柴銅山立入人差入一札（吹立職人賄賃時借才
覚御下金請書） 喜伝治 銅山懸り役人宛 弘化四
年七月

6 赤柴銅山立入人差入一札（同前） 鍛冶町万吉
同前宛 弘化四年

銀銅山方勘定書類綴 嘉永二年〜同五年

。買物代拂金請取書 銀銅山役所宛
（用筆筒、薬罐、ふとん、椀、花色木綿、蕨、
牛くら、銅鍋、簀白、硯、墨、綿、真綿、紙、
杉皮等）

。請取渡手形 野中喜左衛門
（貸蒲団仕立料、惣兵衛拝借金、鉋目利人雇手
充、牛方給金、生野銀山吹大工賃金并手充金）

。小屋掛受負金請取証文 保科村万吉 嘉永二年、
同三年

。支拂切手（炭山見分之節炭焼人へ酒代） 嘉永三
年四月

。金子請取手形 惣兵衛
（江戸表端代拝借分御下金、掘方職人呼寄路用
手当拝借金、惣兵衛娘病氣見舞江戸行路用拝
借金、職人前借金格別手充金）

266 一通

196 一通

123・125 一通

248 一通

294 一通

宿紙混 275 一綴け 三
118 ほか（二冊八六通）

。銀銅山詰手充請取手形 宗右衛門・清十郎
 。金掘其他雇入人届書
 。買上物代料覚・同書出し〔小盤紙、黒半紙、不端切〕 野中
 。江戸買上灰吹銀代差送覚 関田・野中 嘉永三年
 。奉公人請状 関屋村権兵衛 会所宛 嘉永三年二月
 。欠落職人前借金返弁有免願書 惣兵衛 嘉永三年一〇月
 。銀座前借年限中ニ付中元祝儀立替分請取上納証文 斎藤善左衛門 北沢彦大夫宛 嘉永三年九月
 。送付品請取手形〔金子、灰吹銀、荒銅〕 彦大夫 関田・野中宛 九月七日
 。送付荷物預り手形〔辛銅・荒銅、同駄賃積〕 荒井松三郎 関田・野中宛 嘉永三年八月
 。松平出雲守家来銅山見分品々入料覚 嘉永三年一〇月
 。賄入料書出し并請取書〔同前ニ付〕
 。上田入用扣帳 嘉永三年他
 。手充金請取手形 野中・関田 嘉永三年七月、同十二月、同四年七月
 。出張旅籠料請取手形〔炭山一件にて上田表へ罷越〕 宗右衛門 嘉永四年二月
 。土産物代請取手形 同前

横長188(二冊)

。黒炭焼出入用請取手形 宗右衛門 嘉永四年七月
 。銀座前借金御用内々手充送付書〔津田転、北沢彦大夫分〕 野中・関田
 。拝借金返上延納願 惣兵衛 銀銅山掛宛 嘉永四年一二月
 ○
 銀銅山方諸普請入料請取証文綴 関屋村藤作、平林村弥曾右衛門、鍛冶町万吉等 銀銅山役所宛 嘉永二年一二月、同三年一二月
 銀銅山役所普請金前借中借証文綴 嘉永二年八月、同四年三月
 東条村小三郎銀銅山普請勘定差引書類
 1 小三郎願書〔前借金御拂切〕 銀銅山掛宛 嘉永四年四月
 2 小三郎受負金前借証文 関田・野中宛 嘉永二年一二月
 3 賃銀受取通 嘉永二年八月
 4 受取金手形綴 嘉永二年一二月、同三年正月
 銀銅山方前借中借証文綴〔中借及前借金請取手形白銀買付金請取手形〕 関田宛、会所宛 嘉永三年、同四年
 灰吹釜代金請拂書類 釜屋浅右衛門 下金屋儀兵衛宛、下金屋儀兵衛 北沢彦大夫宛 嘉永三年一二月、同四年正月

熊太郎願書（病親見舞に帰郷ニ付前借并滞役金を以て充当 兄久四郎 銀銅山会所宛 嘉永四年四月	263	一通	け	三	買上物代請取手形綴（ござ、縄等） 鍛冶町万吉 同前・野中宛 嘉永二年〜同四年	126 ほか	一綴	け	三
金子請取証文（銀座前借上納延期願ニ付御仕向入料） 北沢彦大夫 関田・野中宛 嘉永七年三月	271	一通	け	四	買上物代請取手形綴（龍吐水、風呂桶、ふいご、ぬり板等） 中村屋長兵衛等 惣兵衛宛 嘉永二年九月、一〇月	128 ほか	一綴	け	四
中借金返上納請取手形綴（銀銅山御用、御居間壁方入用） 佐川元左衛門・斎藤善藏他 関田・野中宛	宿紙混 153~248	一綴	け	五	買上物代請取手形綴（米、紙等） 鍛冶町紙屋重藏 銀銅山役所宛 嘉永二年一〇月〜同三年二月	144・253	一綴	け	三
銀座御前借金年賦返納金請取証文（惣兵衛御救拝借金共） 野中・関田 慶応三年一〇月	246	一綴	け	五	買上物代請取手形綴（炭代他） 岡保村藤太 同前宛 嘉永二年一二月	125 ほか	一綴	け	三
買上鉛銀代請取手形綴 伊勢屋平作等 銀銅山役所等宛 嘉永二年〜同四年	宿紙 312 154	一綴	け	四	銅山方入料書出并請取手形綴（桶、木鉢、駄賃等） 与惣右衛門、山城屋京助等 同前宛 嘉永二年八月〜同四年四月	123 ほか	一綴	け	六
買上物代請取手形綴（草履・わらじ、紙、蠟燭、桶、釜、晒、駄賃等） 鍛冶や万吉 銀銅山掛宛 嘉永二年七月〜同四年四月	150 145	一綴	け	三	買上炭代請取手形綴 鍛冶町万吉、須坂金三郎、下田町金十郎等 同前宛 嘉永三年六月〜同四年四月	宿紙混 152 ほか	一綴	け	三
買上油代請取手形綴（油、種水油） 鍛冶町万吉、保科村保左衛門 同前宛 嘉永二年七月〜同四年三月	150 125	一綴	け	四	買上物代其他請取手形綴（茶わん、人足賃、片口、餅、むじな皮、てん皮、畳表等） 保科村房八、関屋村東作等 同前等宛 嘉永三年七月〜同四年五月	宿紙混 140 ほか	一綴	け	五
買上物代請取手形綴（瀬戸物、筆墨、小刀、はけ、足駄、豆腐、菓子等） 水熊屋文左衛門、三河屋新兵衛等 野中 銀銅山掛宛 嘉永二年八月〜同三年二月	150 ほか	一綴	け	四	買上物代請取手形綴（白米、蕨、職人手充等） 鍛冶町万吉、保科村富弥等 同前宛 嘉永四年七月〜同六年	228 ほか	一綴	け	六
買上塩代請取手形綴 鍛冶町万吉、塩屋安左衛門 銀銅山役所宛 嘉永二年八月〜同三年一〇月	153 ほか	一綴	け	六	買上物代其他請取手形綴 嘉永六年二月〜安政三年八月	宿紙混 126 ほか	一綴	け	四
買上味噌代請取手形綴（宗右衛門取次手形二通を含む） 美濃屋市重郎 銀銅山役所宛 嘉永二年八月〜同四年七月	153 ほか	一綴	け	七	。買上物代請取手形（紙、食物、蠟燭等）				
買上物代請取手形綴（白米、玄米、餅） かじや万吉他 同前宛 嘉永二年〜同四年	153 ほか	一綴	け	六	。泊賃請取手形				
					。親死去見舞金請取手形				
					。人足賃請取手形				

。御手充金請取手形

。銅山方送物駄賃帳 安政三年八月

。八月廿五日夜大風雨にて押出之砂利片付人足帳

買上物代書出し〔手拭地、晒木綿、真綿等〕きく
屋伝兵衛等 銀銅山役所宛 嘉永六年十二月〜同七
年七月

買上物代請取手形綴〔往返駄賃、米代、塩代、油
代〕山屋友藏 宗右衛門等 同前宛 嘉永七年二月
〔安政三年九月

金子受取手形 関谷武右衛門 小池清十郎宛 嘉
永七年六月

諸入料差引御下金願書 平林村弥曹右衛門、瓦や
喜伝治、美濃屋市重郎 銀銅山掛り宛 嘉永三年七
月、十二月

拂下銅請取手形 北徳間村喜太郎 片井京助宛
嘉永三年七月

○

嘉兵衛書状〔鉛買上代為替支拂方〕(役屋カ) 草
間一路・佐藤為之進宛 七月二十九日

松本嘉十郎申上書〔江戸本町古銅吹所松田甚兵衛
ニ銅山見立方并駒形内田屋甚右衛門へ麻荷出方問合〕
一〇月四日

銀銅玉筒調書

横長 36

横長 127

150 (一綴) け 四

150 (一綴) け 元
136 (一〇通)

133 一通 け 四

160 三通 け 七

246 一通 け 三

160 一通 け 四

236 仮一冊 け 三

宿紙 133 二通 け 三

薬園方

薬園方御手段金拝借証文 力石村塚田太右衛門
西沢久吾・鈴木藤太宛 嘉永元年六月、同三年二月 274 一通 け 九四

薬園方御手段金拝借証文 力石村塚田五左衛門
薬園方役所宛 嘉永三年二月 275 一通 け 九五

薬園方御手段金拝借証文 知行所蔵本請書綴 中
村周徹 西沢・鈴木宛 嘉永四年三月 279 一通 け 九六

薬園方御手段金拝借証文 引当切米糶差出一札・
前借分差引調書共 大塚谷平 西沢総吾・池田三七
宛 安政六年十二月、文久二年二月 300 四通 け 九七

薬園方御手段金拝借証文 寺沢大之輔 同前宛
安政六年十二月 304 一通 け 九七

薬園方御手段金拝借証文 引当切米糶差出一札共
松沢文之助 同前宛 文久二年四月 274 一通 け 九八

薬園方御手段金拝借証文 同前共 相沢龍太郎 306 二通 け 九八

薬園方御手段金勘定一紙 証文添 薬園方元ノ助鳥羽
李左衛門 池田三七・西沢総吾奥印 慶応元年〜二
年 240 一通 け 一七〇
279 - 156 (一通)

(添証文)

。焚炭・茶入料渡

。墨半紙入料渡

。酒・朶入料渡

。鰯・ぜんまい等入料渡

。花鋏・紙・蠟燭等入料渡

。人參植付入料請取証文	上八町村役人	233	仮一冊	廿
。人參生根代請取証文	町川田村			
。繩等入料渡				
。しゅたん代請取証文	戸隠村藤右衛門	132	一通	廿
。人參畑小作代請取証文	上八町村役人	132	一通	
。御用筆筒入料渡				
。人參小屋手入等入料渡		144	一通	
。菓園方足輕初代金請取証文	柘植彦四郎外	148	一通	
御菓園入料勘定一紙	証文添 慶応二年〜三年	240 ほか	一綴(六通) け	一七
(添証文内容はほぼ同前)				
御菓園入料勘定一紙	証文添 慶応三年〜明治元年	241 ほか	一綴(三通) け	一三
御菓園入料勘定一紙	証文添 慶応四年〜明治二年	240 ほか	一綴(八通) け	一三
御菓園入料勘定一紙	証文添 明治二年〜三年	245 ほか	一綴(八通) け	一四
御菓園入料勘定一紙	証文添 明治三年	244・160 165	一綴(三通) け	一五
明 礬 方				
小市村馬之丞答書〔倅惣助明礬製之次第〕	郡奉行・道橋奉行宛 天保三年十一月	276	一通	七
明礬稼人等答書〔江戸表へ荷送方〕	小市村清三郎・山村山村吉蔵・小松原村運右衛門外三人 産物会所宛 天保一四年九月	280	一通	八
明礬稼人等綴り書〔売捌直段区々御尋之儀〕				
同前宛	天保一四年閏九月	233	仮一冊	廿
江戸出明礬取調書類				
1 佐竹周蔵内々申上書〔明礬荷物送方、直段並売捌方、売捌世話料〕	十一月	132	一通	
2 佐竹周蔵・野村権兵衛御尋物答書〔江戸出明礬取扱手続〕	十一月	132	一通	
3 宮下兵馬用状〔取調報告〕	岡嶋莊蔵宛 二月朔日	144	一通	
4 野村権兵衛申上書〔売捌世話料〕		148	一通	
杏 仁				
八幡村願人・三役人願書〔杏干売買所〕	吉太郎 産物方会所宛 天保一五年二月	260	一通	八
杏仁代御借入之上産物方へ御貸下ケ取計書類	安政二年	袋入	け	二
1 内借・中借証文綴	高野覚之進ほか七人 宮沢善治・宮本慎助宛 七月〜一〇月	246 276	四通	
2 才覚金預り手形	八田喜兵衛 西沢惣吾宛 八月	144	一通	
杏仁買上代金御下ケ金請取証文	八田慎蔵 宮沢善治・高野覚之進宛 安政三年二月	276	一通	三
杏仁代金内借証文	八田本之進・八田喜兵衛外三人 片桐重之助宛 安政四年二月	280	一通	四
後町村太助・村役人綴り書〔杏仁買付ニ鑑札不所持之件有免願〕	産物方役所宛 慶応三年七月	276	仮一冊	八

紙方

専納村康平紙方一条願出評議書類（領内紙漣人
6買集方願出、糸会所内ニ紙方設置）（け一一三ま
では原本配列番号順）

郡奉行用状 楮麻商人名面共（左伊治願出之儀
取調依頼） 北沢源次兵衛 興津権右衛門宛 七月

左伊治願書写（紙方再願） 中島三右衛門宛 文
政一一年八月

専納村左伊治差出書面写（文政一〇年二月以降
提出願書類再録） 左伊治改康平 文政一一年一〇
月

康平書取申上書写 文政一二年八月

糸方内掛り内々申上書（紙漣村方意向、糸方取
扱等） 文政一二年九月

康平内願書（新町村勘左衛門共同商売、会所出
張所開設） 文政一二年一〇月

泉屋勘左衛門書状（康平差支之折は紙会所引請
之旨） 堀内康平宛 一〇月七日

康平へ申渡并紙場村々へ觸書案

康平申上書（紙漣村觸達方、出張場所替、紙
荷前渡仕法） 文政一二年一二月

勘定役取調申上書 下案共（康平内願事情調査）
水井忠蔵・春日儀左衛門 一一月

康平願書（紙方出張所） 水井・春日宛 文政一
三年九月

新町村勘左衛門親類願書（病臥中御召出断り）
市之丞 同前宛 文政一三年一〇月

夏和村元右衛門御請一札（康平差支中代役引請）
同前宛 文政一三年一二月 277 一通け一〇元

郡方伺書并附札（康平願之儀試行承引、一件書
類添付伺出） 一一月 宿紙 148 一通け二〇

康平江口達申渡案（前号添付） 宿紙 146 一通け二二

表山中村々江口達申含案 宿紙 144 一通け二三

御勘定吟味申上書（郡方案に同意） 一一月 145 一通け二三

郡方伺書写（手続のため御勝手方・職方へ伺の
草稿） 一〇月 142 一通け二六

郡奉行用状 岡野弥右衛門 金児丈助宛 一一
月二二日 147 一通け二四

夏和村松本元右衛門書状（紙方之儀勘左衛門代
人引請） 堀内康平宛 一一月四日 折紙 143 一通け二七

新町村久右衛門書状（勘左衛門病中見合願）
水井忠蔵宛 四月七日 151 一通け二八

同役回状（康平申立書回付、評議依頼） 春日儀左
衛門 中島三右衛門・水井忠蔵外五人宛 一一月二
三日 宿紙 145 一通け二四三

楮紙市場取立願書（紙漣助成のため） 天保五年一
一月 け二四三

1 栃原村庄兵衛願書（楮紙市開設） 産物会所宛 275 一通

2 大岡宮平村郡右衛門等願書（同前） 同前宛 278 一通

3 新町村源之丞等願書（楮問屋取立） 同前宛 277 一通

陶 器 方

柳沢新田村役人願書〔村内産白土陶器方御用之外
ニ出荷〕 御勘定所元ノ役所宛 嘉永二年十一月
陶器方御借入金内借証文綴 引当念書共 家中及
村方 御賄役・陶器方内借役所等宛 嘉永四年ノ明
治二年

馬喰町定右衛門陶器方内借金書類〔内借証文、
返納年賦割合請書、年賦返納綴り書 吉野勝之進宛
嘉永四年、万延元年、文久元年

諸 産 業

栗苗木仕立方御書付写 藤田右仲外二人 小河原
村源左衛門宛 宝曆六年閏二月

湯田中村三役人 并問掘人請書〔同村内蟬石問掘及
同所御留山〕 問掘人彦右衛門・伴七 郡奉行所宛
文政四年七月

本鹿谷村願人・村役人請書〔焰硝焼渡世許可〕
願人弥兵衛 同前宛 文政八年六月

布施高田村願人等願書〔上野村山抜跡に生育之蓮
根試掘〕 和吉・東福寺村嘉平太 高橋牧右衛門・竹
内六郎兵衛宛 文政一〇年三月

地方掛同書〔佐野村竹細工習得、上野村蓮根試掘、
馬曲村入会山杉植、菅ノ平御林ニ新道付、鷹小屋諸
道具調〕 高橋牧右衛門 〔文政一〇年カ〕 六月

東寺尾村三役人答書〔子姥母懐石灰見込場所御用
山仰付差支有無〕 御勘定所元ノ役所宛 天保一五年
十一月

犬飼左次兵衛書状写〔木綿製造所地面貸渡〕 丹波
島宿本陣宛 戊辰四月

鍛冶炭通手形 荒町村春太郎 御堂垣外村炭改所
宛 慶応四年正月

産物助成拜借金返済延期願 水野清右衛門・酒井
市治宛 慶応四年六月

1 稻積村伊左衛門・北徳間村庄左衛門外

2 北徳間村伊助

3 北東条村市右衛門

4 北東条村甚八

水道役へ申付書類〔立田玄通宅人參製ニ付代官町
用水不浄監視之旨〕

1 被仰渡書 水道役宛 六月二五日

2 家老申付書 真田志摩 水道役宛 七月四日

3 家老申付書 赤沢助之進 村田新五兵衛宛 七
月一八日

4 申付書 水道役宛

戸隠支配所ニテ拵来候竹細工売捌方評議書類
〔後町村取締役引受、善光寺荒町彦八方ニテ売捌之上
冥加金上納〕 七月

1 申上書

2 同書

3 計政副主事添伺書

4 差図書 計政副主事宛

口留

大豆類他領出吟味答書綴〔当七月他領穀留被仰出 ニ付〕郡奉行所宛 天保四年十一月	278	け	二四
1 和田吐頃村勘左衛門	一通		
2 牧野嶋村勝蔵	一通		
3 北山松尾村文太夫・和田吉	一通		
4 川口村清十郎・喜十郎	一通		
5 大岡宮平組善吉	一通		
6 小祢山村役人	一通		
有旅村宮原案右衛門願書〔口留肝煎役切米并郡役 被下〕明治四年九月	310	一通	け 五八

京坂役場

大坂御用場

大坂御内用調懸品々草稿 嘉永七年〜安政三年	袋入	け	五三
1 三人書状扣 増田孝兵衛・岡本松兵衛宛 安政 二年十一月	宿紙 123	一通	
2 宮本慎助・宮沢善治・松本嘉十郎書状扣 一 二月	宿紙 123	一通	
3 宮本慎助外三人書状扣 別紙共 山家屋熊次郎・ 津国屋友七・炭屋孝兵衛外宛 安政三年十一月	123	一通	
4 宮本慎助外三人書状扣 白山彦五郎宛 安政三 年十一月	宿紙 154	一通	

5 白山彦五郎等扶持被下高調書 安政三年一二 月	123	一通	
6 扶持被下高申上書案 松本嘉十郎外三人 安政 三年二月	175	一通	
7 扶持被下高下調	宿紙 123	一通	
8 大坂懸勘定役伺書〔炭屋手代江戸行へ目録被下 方〕一二月	宿紙 123	一通	
9 三人書状扣 白山彦五郎宛 一二月	宿紙 123	一通	
10 山家屋熊次郎へ送金添状〔扶持代金及借入金利 足〕一二月	175	一通	
11 大坂懸書状扣留 松本嘉十郎・宮下兵馬 白山 彦五郎・同手代宛 一二月	横長 123	一綴	
安政三辰年〆品々書類	袋入		

大坂御用場守書状

1 津国屋友七書状 松本嘉十郎宛 一二月	123	一通	け 五三
2 津国屋友七書状 松本嘉十郎・宮本慎助宛 九月	123	一通	
大坂西町奉行附同心書状取扱方書類			
1 同心連署書状〔暑中見舞〕 宇野善三郎外 松 本嘉十郎外三人宛 六月一三日	折紙 123	一通	
2 宮下兵馬申上書〔前号書状到来ニ附取扱方〕	123	一通	
3 御收納方懸同役回章〔御用場として同心等と 接触の可否〕 宮下兵馬 竹村金吾外三人宛 七月一〇日	123	一通	
善光寺上後町与助之儀問合書類			け 四四

1 大坂町奉行所書状〔与助儀大坂にて不審行状ニ付召捕之上、申口を内掛合〕 嶋田栄太郎外二人 松本嘉十郎外二人宛 正月	233 175	二通
2 大坂来状写留〔前号のほか坂本常之丞用状、炭屋孝兵衛書状の写〕 一月	268	一通
大坂為登漆評議書類〔領内産漆売捌方〕		け 四五
1 松本嘉十郎・漆方掛御尋物答書 一月	127	一通
2 大坂御内用調懸御尋物答書	148	一通
3 大坂御内用調懸再御尋物答書 一月	宿紙 154	一通
国産取引方評議書類 明治二年〜同三年		け 三五
1 関田恭蔵用状〔平野町唐物商長崎屋安兵衛長州三田尻塩運送之儀〕 酒井市治宛 三年二月	160	一通
2 関田莊助内々申上書〔長崎屋安兵衛方時借及び樟木有無〕 二年九月	163	一通
3 長崎屋安兵衛申聞之次第 関田莊助	堅 254	一冊
4 関田莊助申上書〔前号誤字訂正〕 一〇月	163	一通
5 前島友之進添申上書 一〇月	163	一通
6 計政方御尋物答書 一〇月二七日	160	一通
7 御勘定吟味御尋物答書 一〇月二八日	156	一通
8 高野広馬御尋物答書 一〇月二八日	156	一通
9 計政方再御尋物答書 一月朔日	163	一通
10 家老回状〔前号答書により試用承認之旨〕 鎌原溶水 真田桜山ほか四人宛 一月一八日	168	一通
江州三上藩より養蚕手馴人差向方一件書類 関田恭蔵拔 明治三年〜同四年		け 三五
1 文通写〔次号添別紙。関田方富岡宛、神山方関田宛 関田方神山宛〕	堅 241	一綴
2 関田恭蔵用状 富岡良右衛門・八田慎蔵宛 七月二三日	157	一通
3 三上藩神山雪江用状 関田恭蔵宛 七月二〇日	168	一通
関田恭蔵申上書〔旧松代藩士及領民在坂中の不法を出訴されし件等の通報〕 酒井市治・水野清右衛門・鈴木富治宛 明治四年一〇月	堅 246	仮一冊 け 四六
○		
大坂御用場近火報知状留〔松本嘉十郎用状、同人申上書、駆付人名面〕（安政三年力） 四月	堅 244	仮一冊 け 四二
大坂御蔵屋敷買入并普請評議書類		
関田莊助申上書 前編	袋入	け 三九
1 永代売券証文写 江州八幡新町大文字屋徳蔵 江川庄左衛門宛 慶応三年十一月	堅 237	一冊
2 家屋敷惣絵図	641×805	一鋪
3 町役人へ差入書類写〔二ヶ条法度等請書、名代人請合証文、家守請書、張紙雛形〕 慶応三年十一月	堅 236	一冊
4 屋敷買受届書写 関田莊助 東町奉行所宛 慶応三年十一月	165	一通
5 屋敷買受再届書写〔一新ニ付再提出〕 同前 大坂府宛 明治元年十二月	165	一通

6 掛屋敷借受再届書写 (白山彦五郎所持綱島町町屋) 同前 同前宛 明治元年一月	152	一通
7 関田荘助申上書 (前号書類提出報告) 六月	155	一通
関田荘助申上書 次篇	け 三〇	
1 大東象五郎書面写 (関田宛屋敷普請引受書状) 五月	155	一通
2 普請引請証案 大東象五郎 関田宛 明治二年六月	159	一通
3 屋敷普請届書写 関田 大坂府宛 明治二年五月	165	一通
4 屋敷普請図面	380×225	一枚
5 冠木門図	400×206	一枚
6 関田荘助申上書 (御蔵屋敷標杭之儀) 六月	159	一通
7 関田荘助申上書 (御蔵屋敷取建) 六月	159	一通
評議書類	け 三三	
1 関田荘助申上書 (買上事情上申) 明治二年六月	165	一通
2 前嶋友之進添伺書 (御蔵屋敷普請) 七月	157	一通
3 家老用伏 勘返状 赤沢助之進 真田志摩宛 七月八日	156	一通
4 高野広馬御尋物答書 七月一日	179	一通
5 御勘定吟味御尋物答書 七月一日	151	一通
6 玉川一学御尋物答書 七月一日	158	一通
7 家老評議書 (変動期にて不分明に付京地滞在可宜) 真田志摩 望月帰一郎宛 七月	167	一通
8 家老用伏 赤沢助之進 鎌原伊野右衛門宛 八月九日	156	一通
9 関田荘助再申上書 八月	163	一通
10 前嶋友之進添申上書 九月	162	一通
11 御勝手元ノ御尋物答書 一〇月	160	一通
12 御勘定吟味御尋物答書 一〇月五日	157	一通
13 高野広馬御尋物答書 一〇二八日	157	一通
14 計政方再御尋物答書 一一月朔日	161	一通
15 家老用伏 鎌原溶水 真田桜山外四人宛 一一月一八日	169	一通
16 計政副主事用伏 (普請承済ニ付大東象五郎・長崎屋竹村安兵衛ノ借入金調達方) 岸善八・岡野敬一郎 関田恭蔵宛 一一月一八日	158	一通
17 酒井殿書状切抜 (酒井市治カ。前後切断) 一一月一九日	160	一通
18 前嶋友之進添申上書 八月	163	一通
19 関田荘助書状 (一 新後も大坂にて会所を可取立事) 長岡茂市宛 八月八日	156	一通
20 関田荘助伺書 (御蔵屋敷普請) 八月	165	一通
御蔵屋敷普請伺書類	袋入	け 三三
1 御普請仕様帳	罫 352	一冊
2 御普請仕様帳	罫 351	一冊

3 御普請仕様帳	竪 263	一冊		
4 屋敷差図	655×768	一鋪		
5 屋敷表通り五拾分一図	261×790	一鋪		
6 蔵屋敷普請引請一札 大東象五郎・同権右衛門 関田莊助宛 明治二年八月	295	一通		
7 普請入札綴 珠数屋元七外 明治二年八月	261ほか (一通)	一綴		
大坂御用場引拂一条書類（大東御借入金、白山へ返済金、屋敷普請等）				
1 水野清右衛門用状 関田恭藏宛 七月五日	158	一通		
2 関田恭藏用状 酒井市治・水野清右衛門宛 九月朔日	158	一通		
3 酒井市治用状別紙 関田恭藏宛 三月一六日	153	一通		
4 関田恭藏用状 酒井宛 九月朔日	158	一通		
5 関田恭藏用状（阿藤隆岱医学修業御手充） 酒井宛 九月朔日	158	一通		
6 阿藤隆岱拝借金証文写 関田宛 二月九日	240	一通		
7 阿藤隆岱拝借金返納延期願書写 河野藤作宛 六月	240	一通		
8 返納金請取手形 河野藤作 阿藤隆岱宛 八月一日	240	一通		
9 関田恭藏用状（大熊権大参事宛津山藩書状取次添状） 酒井・水野宛 九月朔日	158	一通		
10 関田恭藏用状（勘定所附久米吉盜賊被害を受く） 酒井宛 九月朔日	158	一通		
け 三 兎				
11 酒井市治用状 水野宛 一〇月一〇日	162	一通		
12 酒井市治用状 水野宛 一〇月一五日	165	一通		
13 関田恭藏用状并伺書書留 十一月	竪 242	一冊		
14 酒井市治用状切抜 一二月一五日	148	一通		
15 関田恭藏用状 裏司馬町宛 正月二日	158	一通		
16 御用場引拂届書案 関田恭藏 一月	158	一通		
17 関田恭藏伺書（御用場引拂） 一月	158	一通		
18 家守引替届書案 関田恭藏 一月	158	一通		
19 関田恭藏伺書（蔵屋敷家守引替） 一月	158	一通		
20 家守退役願 穂積屋与市 関田恭藏宛 明治三年五月	250	一通		
21 大坂府往復書類写留 正月一八日、二三日	竪 241	一冊		
22 関田恭藏用状 小野善四郎・青木貫一郎宛 正月二六日	158	一通		
23 関田恭藏用状 同前宛 正月二六日	158	一通		
24 小野善四郎・青木貫一郎用状 酒井・水野宛 二月二日	167	一通		
25 関田恭藏用状 富永新平宛 二月二八日	158	一通		
26 酒井市治・水野清右衛門用状 関田宛 正月二三日	166	一通		
27 水野清右衛門申上書添状 三月四日	165	一通		
28 大坂府差紙 元松代藩宛 明治五年五月二〇日	265	一通		

29 蔵屋敷造作等引渡目録写 関田恭藏 明治五年五月三十一日	274	一通	10 大坂掛御勘定役書状案 孝兵衛・松兵衛宛 九月二十四日	宿紙 153	一通
30 諸道具買取目録写 九月二十四日	横長 128 仮一冊		11 大坂掛御勘定役書状案 関田莊助・酒井市治 同前宛 九月二十四日	宿紙 153	一通
31 関田恭藏用状〔引拂一件報告〕 酒井宛 六月八日	181	一通	12 家老差図書 赤沢助之進 草間一路宛 一〇月二一日	宿紙 148	一通
○			下坂ニ付書状案 卯一〇月一五日		け二六
原彦八郎・荻野丈左衛門書状 別紙共〔御用場所用にて上坂之者木曾路通行人馬繼立行届方及宿宛觸書写〕 宮下兵馬宛 午二月三十一日	折紙 152	三通 け 四四	1 宮下兵馬書状案 白山彦五郎宛	147	一通
松本嘉十郎用状〔宮下在坂中の礼及近情報告〕 宮下兵馬宛 四月一〇日	160	一通 け 四三	2 宮沢善治・松本嘉十郎書状案 増田孝兵衛・岡本松兵衛宛	147	一通
御勘定所附弁次郎滞坂之儀評議書類 慶応元年		け 四二	3 宮沢善治・松本嘉十郎書状案 津国屋友七宛	149	一通
1 家老差図書 御勝手元ノ宛	宿紙 151	一通	4 高野寛之進書状案 増田・岡本宛	147	一通
2 御勝手元ノ伺書 九月	151	一通	5 御用場家賃等入料積	145	一通
3 大坂懸御勘定役申上書 九月	150	一通	関田莊助上坂ニ付草間一路伺書類		け二五
4 大坂懸御勘定役申上書	150	一通	1 〔上方用達商人へ土産物之儀〕 一〇月	宿紙 154	一通
5 長谷川三郎兵衛用状 酒井市治・関田莊助宛 九月一四日	182	一通	2 〔同前〕 一〇月	150	一通
6 大坂掛御勘定役申上書案〔4の案紙〕	宿紙 156	一通	3 〔御手充金被下〕 一〇月	145	一通
7 大坂掛御勘定役申上書案〔3の案紙〕	宿紙 154	一通	4 〔下役として中門拜借之儀〕 一〇月三十一日	宿紙 155	一通
8 大坂掛御勘定役書状案 白山彦五郎宛 九月二四日	宿紙 154	一通	御勝手元ノ御尋物答書〔関田莊助在坂之件〕 九月	宿紙 153	一通 け 三九
9 先触取消状案 麻績宿より伏見宿迄 九月二四日	宿紙 153	一通	酒井市治内願書〔郡政方附飯嶋久米吉在坂交代方〕 六月	155	一通 け 三七
			藤田新太郎親類願書〔同人謹慎中の処金談のため上坂許答方〕 明治五年三月	153	一通 け 四六

○

京都役所評議書類（け一四九三～一五〇二） 明治二年カ

取計済諸書類

け一四四四

1 家老用伏（書類回付添状） 赤沢助之進 鎌原
伊野右衛門宛 正月二三日

164

一通

2 御刀番伺書 前島答書貼紙（床机袋等損傷ニ付新調） 正月

155

一通

3 陣場方杖突申上書 御普請方助添伺貼紙・前島答書貼紙（竹長持新調） 正月

164

一通

4 御台所目付・御買物役伺書 吟味役添伺貼紙・前島答書貼紙（御預人參着之用意物）

宿紙143

一通

御預人江酒被下方評議書類

け一四九三

1 御台所目付伺書 正月一六日

宿紙143

一通

2 前嶋友之進御尋物答書 正月

160

一通

3 差図付札

一枚

広間向其他入用物渡方評議書類

け一四九五

1 取次役伺書 正月

150

一通

2 前嶋友之進御尋物答書 正月

159

一通

定押伺書 御刀番添伺貼紙・前嶋答書貼紙（術手房・塗笠の修理） 正月

宿紙143

一通

榎本純達帰郷ニ付御借人被下評議書類 正月

け一四九六

1 榎本純達願書（薬籠持人足賃銭被下方）

154

一通

2 前嶋友之進御尋物答書

156

一通

3 割番伺書 足輕奉行添伺貼紙（御借人松原者道中手充被下方） 一二二日

宿紙154

一通

4 前嶋友之進御尋物答書并附札

156

一通

足輕并下役時雇評議書類

け一四九六

1 割番伺書 足輕奉行添伺貼紙 正月

宿紙154

一通

2 御勘定吟味御尋物答書并附札

161

一通

公御用人伺書 前島答書貼紙（初参内ニ付向々被下物） 正月

157

一通

公御用人伺書 前島答書貼紙（着京御迎語士へ目録被下方） 正月

156

一通

本陣并下陣へ被下物評議書類

け一五〇二

1 家老評議附札（赤沢助之進）

155

一通

土井民部へ被下物評議

2 関田莊助・駒村佐十郎伺書 正月九日

151

一通

3 前嶋友之進添伺書 正月

156

一通

4 家老評議書 赤沢助之進 真田志摩・望月帰一郎宛 正月一二日

157

一通

下陣并同町役等へ被下物評議

5 関田莊助・駒村佐十郎伺書（本陣借入町内年寄等へ被下物） 正月九日

151

一通

6 関田莊助・駒村佐十郎伺書（下陣軒別弁当料被下方） 正月一二日

151

一通

7 前嶋友之進添伺書

京坂出入人

山本要左衛門屈書 (主人方隠居) 竹中万寿藏内
松代役人宛

京坂用達金

金子預り証文 宮本慎助・宮沢善治・松本嘉十郎
山家屋平七宛 嘉永六年十二月

金子預り証文 (け二九五〜三〇五一括)

宮下兵馬、菅沼九兵衛、竹村金吾、高田幾太、山
寺源大夫 炭屋彦五郎宛 嘉永六年十二月

同前 同前宛 嘉永七年六月

同前 同前宛 嘉永七年六月

同前 同前宛 安政二年十一月

銀子預り証文 同前 同前宛 安政三年三月

同前 同前宛 安政三年四月

同前 同前宛 安政三年六月

同前 同前宛 安政三年六月

同前 同前宛 安政三年七月

同前 同前宛 安政三年八月

借銀証文返却添状 白山彦五郎 宮下兵馬宛
六月九日

銀子預り証文 宮下兵馬・竹村金吾外二人 炭屋
彦五郎宛 安政三年八月

129 一通

122 一通 け三六

340 一通 け二五四

335 一通 け三二

340 一通 け三二

338 一通 け三三

336 一通 け三四

315 一通 け二五五

316 一通 け二六六

300 一通 け二七七

(虫損不明) 一通 け二六六

320 一通 け二九

317 一通 け三〇〇

165 一通 け三〇五

220 一通 け二四三

銀子預り証文 高田幾太・宮下兵馬外 同前宛
安政三年九月、十一月、十二月 316 三通 け一〇六

* 金子預り証文 関新右衛門 小西彦七宛 安政六
年五月 270 一通 け一五

* 金子預り証文 (御金掛証文入に使用の袋の紙背文
書) 草間一路・斎藤友衛外二人 炭屋彦五郎、山家
屋権三郎宛 慶応元年十二月、同二年一〇月 314 二通 け三七

利足金請取手形 小西彦七 高野寛之進外二人宛
安政七年正月 186 一通 け三二

鴻池屋貞助外三人方御借入金返済請取証文紛失
一件書類 明治三年

金子借用証文写 引請証文写共 高山純一郎・
柘植彦六外一名 鴻池屋貞助・松尾金之助外二人
宛 三月一七日 281 一冊 け四三

利足金請取証書写 鴻池屋貞助 松代役人宛
三月一六月 150 一通 け四六

借用金証文預り一札写 柘植彦六 松屋金之助・
鴻池屋貞助・西田屋忠治郎宛 六月 248 一通 け四九

金子拝借証文写 松屋金之助 佐藤美与喜・柘
植彦六宛 六月九日 250 一通 け四〇

月岡善平・水野清右衛門用状 佐藤則善宛
五月四日 242 一通 け四二

大塚谷平申上書 五月 151 一通 け四七

宗利用状 佐藤則善宛 四月二八日 123 一通 け四六

忠政用状 同前宛 四月二九日 宿紙 160 一通 け四九

忠政用状 同前宛 五月一日	宿紙150	一通け四〇	扶持代金請取証文綴 増田孝兵衛、岡本松兵衛、津国屋友七、山家屋権三郎、同嘉兵衛、同為助、綿屋小兵衛 松代役所宛 慶応四年正月〜三月	275	一綴け三六 (七通)
某用状 同前宛 六月一日	152	一通け四二		281	
某用状案 兩人宛 六月一〇日	折紙153	一通け四六	扶持代金請取証文〔寅卯両年分〕和泉屋儀兵衛、油屋嘉七、大和屋吉次郎、大和屋喜久松 御勘定所宛 慶応四年正月	334 280	四通け三六
三人用状 別紙共 兩人宛 六月一五日	159	一通け四二			
三人用状 兩人宛 六月一七日	159	一通け四三			
大塚谷平用状 佐藤則善・某宗利宛 六月一七日	162	一通け四四	扶持代金預証文〔山本要左衛門分〕内林平蔵 草間元司宛 文久元年一二月	288	一通け三五
三人用状 兩人宛 六月二三日	宿紙165	一通け四五	扶持代金預証文〔山本要左衛門・土屋卯兵衛分〕綿内右門 斎藤友衛宛 文久二年二月	285	一通け三六
某用状案 小野宛	125	一通け四七	御徳居宇兵衛願書〔亡父同様扶持被下方〕役人宛 慶応三年五月	281	一通け三七
扶持(↓用達人書状)			脇差入料代請取証文〔白山彦五郎へ被下物〕山浦昇 上様宛 安政五年八月	302	一通け三三
扶持代金請取証文 伊藤源太郎 酒井市治・水野清右衛門宛 万延元年一二月	270	一通け三四	白山彦五郎等へ被下物之儀評議書類〔関田莊助上坂ニ付〕		け二四
扶持代金請取証文 増田孝兵衛 松代役所宛 文久二年一二月	270	一通け三七	1 草間一路伺書 一〇月二日	149	一通
扶持代金請取証文 津国屋友七 大坂掛役所宛 文久二年一二月	251	一通け四〇	2 草間一路伺書案	宿紙154	一通
扶持代金請取証文 海老屋定八、増田孝兵衛、岡本松兵衛、津国屋友七、山家屋権三郎外三人 松代役所等宛 文久四年正月〜二月	274 179	五通け三三	3 家老差図書 赤沢助之進 草間一路宛 一〇月	宿紙146	一通
扶持代金請取証文綴 同前 松代役所等宛 元治二年正月	276 193	一綴け三五 (八通)	用達人書状		
扶持代金請取証文 小川勘七 松代勘定所宛 慶応三年一二月	278	一通け三三	大坂用達人書状綴〔扶持代金受領札〕白山彦五郎 増田孝兵衛、岡本松兵衛、津国屋友七 高野寛之進 外宛 (安政七年カ) 正月	188	一綴け四六 (四通)

炭屋手代書狀 別紙共〔扶持代配分及山家屋利足取計返報〕 増田孝兵衛・岡本松兵衛 高野寛之進外二人宛 申〔安政七年カ〕正月	182	一通 け 四〇	1 山家屋権三郎書狀〔年始祝詞〕 宮沢善治宛 正月二日	178	一通
用達人書狀綴〔扶持代金受領札〕 白山彦五郎、増田孝兵衛、海老屋定八外 宮沢善治外二人宛 万延二年正月	178	一通 け 三三 (六通)	2 山家屋権三郎書狀〔去亥扶持代受領札〕 野中喜右衛門・酒井市治宛 二月五日	178	一通
炭屋手代書狀綴〔同前〕 同前 文久二年二月	178	一通 け 三三 (二通)	3 某書狀〔用達金假証文返却〕 不明 同前宛 二月	178	一通
白山彦五郎・同手代書狀綴〔同前〕 同前宛 亥正月	162	一通 け 三六 (五通)	4 綿屋小兵衛書狀〔去亥扶持代受領札〕 同前宛 二月五日	178	一通
白山彦五郎・同手代書狀綴 手形請取一札共〔同前〕 酒井市治外一人宛 子正月	162	一通 け 三三 (五通)	5 小西彦七書狀〔年始祝詞〕 酒井市治宛 正月二日	180	一通
炭屋手代書狀〔宛名人等帰国後出金之件など〕 酒井市治・関田莊助宛 丑八月一三日	162	一通 け 三三	6 小西彦七書狀〔同前〕 野中宛 正月二日	180	一通
白山彦五郎書狀〔暑中見舞〕 松本嘉十郎・宮本慎助外二人宛 六月	181	一通 け 三〇	海老屋定八書狀綴 口上覚共〔用達金返済受領札并寒中見舞、書狀伝達方依頼〕 酒井市治宛 十一月九日	180	一通 け 三〇 (二通)
白山彦五郎書狀〔同前〕 同前宛 六月	181	一通 け 三六	播磨屋治兵衛書狀 添状共〔六月參上之礼、無事帰宅通知〕 松本嘉十郎宛 八月一八日	179	一通 け 二六六
山家屋為助外書狀綴〔扶持代金受領札〕 山家屋嘉兵衛 綿屋小兵衛 海老屋定八 宮沢善治外二人宛 文久三年正月	170 ほか	一通 け 三三 (五通)	○御用場守書狀		
山家屋熊次郎書狀〔扶持方利足及調書受領札〕 松本嘉十郎外三人宛 正月	177	一通 け 三三	津国屋友七書狀 炭屋家賃勘定書添〔大坂借家普請 大豆・杏仁等売捌〕 松本嘉十郎宛 卯八月	160	一通 け 一三三
山家屋熊次郎書狀〔暑中見舞〕 同前宛 六月一三日	184	一通 け 三二	津国屋友七書狀〔御用場近火報知〕 宮沢善治外二人宛 酉二月	163	一通 け 三五
山家屋熊次郎書狀〔寒中見舞〕 松本嘉十郎宛 二月	176	一通 け 五四	津国屋友七書狀〔暑中見舞〕 酒井市治宛 六月	181	一通 け 三四
用達人書狀綴 文久四年	176	一通 け 三六	津国屋友七書狀〔寒中見舞〕 松本嘉十郎宛 一一月	181	一通 け 三六

給地被下・松代廻勤

白山彦五郎手代逗留中取扱方評議書類 安政四年

け二五

1 大坂懸り勘定役伺書 七月

堅151 仮一冊

2 大坂懸り勘定役御尋物答書 七月

堅139 仮一冊

3 取扱箇条手充扣（寝具・食事案） 七月二八日

149 一通

4 御勝手元ノ回状（祭礼当日被下物案添状） 宮下兵馬 高田幾太・竹村金吾外宛 八月一三日

148 一通

5 御勝手元ノ伺書（同前） 宮下兵馬 八月一四日

148 一通

白山彦五郎へ給地被下ニ付見分人応接書類（同人手代増田孝兵衛等松代人） 安政四年

け二六

1 宮本慎助用状 宮下兵馬宛 八月八日

148 一通

2 窪田某用状（増田氏出立之餞別渡方） 松本嘉十郎・高野寛之進宛 九月二日

146 一通

3 松本嘉十郎用状 宮沢善治宛 九月二日

159 一通

4 西沢軍治用状 水井忠藏宛 九月二日

154 一通

5 松本嘉十郎覚書（孝兵衛宛礼状案） 九月三日

152 一通

6 松本嘉十郎外二人用状 勘返状 高野寛之進宛

158 一通

7 宮沢善治用状 松本嘉十郎宛 九月三日

158 一通

8 高野寛之進用状 宮沢宛 九月三日

155 一通

9 大坂御用懸御勘定役伺書案（引渡給地支配代官等へ挨拶向調） 九月三日（次頁け二六三参照）

158 一通

10 高野寛之進用状 松本外三人宛 九月三日

155 一通

11 松本嘉十郎・宮本慎助伺書（孝兵衛同道人罷出之儀） 九月四日

150 一通

12 先触案 宮本・松本 東寺尾村役人宛 九月四日

148 一通

13 炭屋・同手代へ土産物目録案 九月八日

151 一通

14 炭屋等へ土産物目録案

152 一通

15 松本嘉十郎用状 水井忠藏外三人宛 九月一日

301 一通

16 菊月三日献立書

151 一通

増田孝兵衛廻勤関係書類 八月一六日

け四二

1 大坂懸御勘定役申上書（旅宿到着通報）

153 一通

2 大坂懸御勘定役伺書（明十七日廻勤）

158 一通

3 宮下兵馬用状（廻勤二十日に延期） 松本嘉十郎宛

148 一通

4 善三郎内用状 宛不明

152 一通

5 八月十六日出迎要領

158 一通

増田孝兵衛廻勤之節献上物并被下物等打合書類 八月二〇日

け二五

1 大坂御内用懸勘定役伺書（家老以下へ土産献上物）

148 一通

2 大坂御内用懸勘定役伺書 朱書差図入（御酒被下）

150 一通

3 大坂御内用懸勘定役伺書 朱書差図入（両御勝手方茶席御菓子之儀）

150 一通

4 大坂御内用懸勘定役追加状〔前号の追記〕	158	一通
5 赤池書状〔菓子之事〕 宮本慎助宛	155	一通
6 宮下兵馬用状 松本・宮沢宛 八月二〇日	148	一通
増田孝兵衛滞在中諸書類	け三六	
1 大坂御内用懸勘定役伺書〔献上物并配物〕 八月一九日	150	一通
2 大坂御内用懸勘定役伺書〔祭礼中被下物〕 八月一九日	153	一通
3 宮下兵馬用状〔炭屋の給地見分に同道依頼〕 宮沢善治・高野覚之進宛 九月	148	一通
4 宮沢・高野伺書案〔前号による廻村同道之儀〕	148	一通
5 大坂御内用懸勘定役申上書〔菊屋伝兵衛召仕へ贈物之件報知〕 九月	148	一通
6 炭屋并孝兵衛方贈物目録	175	一通
7 土産物目録 増田孝兵衛 関新右衛門宛 九月	148	一通
8 土産物目録 同前 同前宛 九月	149	一通
9 土産物目録	148	一通
10 大坂御内用懸勘定役御尋物答書〔帰坂ニ付贈物銭別等之儀〕 九月	148	一通
大坂御内用掛勘定役伺書〔祭礼両日之差出物〕 八月	149	一通 け三六
大坂懸勘定役伺書〔増田孝兵衛旅宿賄、同被下物等〕 八月一八日	153	三通 け三七〇

大坂懸勘定役伺書〔白山彦五郎へ引渡給地支配代官へ挨拶之儀〕 九月三日〔前頁け二四八の九参照〕	148	一通 け二六三
書状追而書案〔二五日照請之件〕	151	一通 け三六
借入金勘定		
大坂表借入金勘定書類 安政五年	一綴 け二九	
1 炭屋彦五郎勘定書〔返済金取替勘定〕 松代役所宛 一〇月晦日	179	一通
2 返済残金取調書	宿紙 153	一通
3 端銀銭相場覚	宿紙 153	一通
4 上納残金調書 四月一三日	148	一通
大坂表借入金元利返済書類	け三五	
1 関田莊助用状 酒井市治・水野清右衛門宛 二月八日	151	一通
2 関田莊助用状 同前宛 一月五日	151	一通
3 用達金元利勘定覚 奥村権三郎、山家屋為助 関田莊助宛 辰一二月	135	一通
大坂借入金諸向拂出積	宿紙 153	一通 け三六
大坂懸勘定役伺書〔炭屋借入金返済之支出〕 西四月	158	一通 け三六
高田幾太用状別紙〔炭屋方借入の為替証文返添状〕 竹村金吾宛 一月六日	160	一通 け四五
京坂調達借入金評議書類	封筒入 け六	
評議送達書類	封筒入 け六	

1 長岡茂市申上書 (当用并臨時入用金調達) 七月	164	一通	5 関田莊助用状 酒井宛 八月八日	162	一通
2 長岡茂市申上書 (熊野三山御借入金) 七月	164	一通	前島有年内々申上書 (京坂へ御金出之事) 一二月	160	一通 け三七
3 前島友之進添申上書 七月	168	一通	大坂御借入金返済出入下調	横長110	一冊 け一五三
4 家老用状 赤沢助之進 鎌原伊野右衛門宛 七月一七日	167	一通	京地借入金返済書類 明治三年・四年		一通 け四〇
御勝手元ノ御尋物答書 八月一三日	166	一通 け六	1 前島有年申上書 (返済計画立案要請) 六月	147	一通
御勘定吟味御尋物答書 八月一四日	166	一通 け六〇	2 駒村佐十郎申上書 別紙共 六月	164	一通
前島友之進申上書 九月	161	一通 け六二	3 小川勘七・近江屋久兵衛書状 (用立金返済依頼) 駒村佐十郎宛 三月三日	165	一通
長岡茂市申上書 (借入金并利足取計方) 一〇月	166	一通 け六三	4 近江屋久兵衛書状 同前宛 三月二日	119	一通
長岡茂市申上書 (十月中御当用引当積) 一〇月	166	一通 け六三	5 長岡茂市申上書 正月	166	一通
長岡茂市申上書 (小川勘七借入金) 一〇月朔日	166	一通 け六四	午未申三ヶ年御借入金請拂ノ出	横長108 仮一冊 け四七五	
前島友之進添書 一二月	167	一通 け六五	御用場勘定		
駒村佐十郎取調書 (小川勘七・近江屋久兵衛借入金残高) 酒井・水野宛 辰九月一三日	163	一通 け六三	借入金預り証文 (炭屋彦五郎ノ借入金) 西村源蔵	245	一通 け六三
山家屋権三郎ノ借入金利上ケ評議書類 明治二年		け六六	片岡十郎兵衛宛 安政二年一二月五日		
1 岡野敬一郎伺書 御勘定吟味答書貼紙 九月一四日	160	一通	大坂御借入金送金請取手形 竹村金吾、高田幾太 草間元司宛 安政六年二月、同七年正月	242	一通 け六〇
2 酒井市治伺書 九月	宿紙161	一通	唐大黃代金請取証文 播磨屋治兵衛 松代御用場 役人宛 午一〇月	242	一通 け三三
3 関田莊助用状 酒井宛 五月二八日	159	一通	大坂為替金請取証文 池田富之進 柘植嘉兵衛宛 文久二年八月	243	一通 け一五
4 山家屋借入金調 山家屋平七 関田莊助宛 五月	181	一通	品々御拂物代上納勘定一紙 見合受取書添 (尺時計、大豆、干草、鐵等) 関田莊助 祢津刑左衛門外 三人宛 文久三年一二月	246	一綴 け三三 (五通)

御手充金請取一札〔亡父大坂表御内用骨折手充〕 水井忠治 草間一路宛 元治二年四月	310	一通 け 二四	1 山家屋権三郎書狀〔為替金送付〕 代嘉兵衛 酒井市治・水井忠藏宛 八月一〇日	162	一通
大坂入料金請取証文〔借入金返済及御用場家賃其 他人料分〕 関田莊助 酒井市治・水野清右衛門宛 明治二年四月	243	一通 け 二四	2 坂本常之丞用狀〔大坂より送金受領〕 宮沢善 治・酒井市治宛 八月二六日	宿紙 164	一通
現金請取手形〔炭屋借入金返済分〕 草間元司 高 田幾太宛 明治二年八月	244	一通 け 二六	3 坂本常之丞用狀〔御用金繰合方〕 酒井市治宛 閏八月一日	155	一通
京坂往復書狀			4 別紙 八月二九日	148	一通
大坂懸難手紙	貸入		大坂御用場書狀		け 二五
津国屋友七書狀〔松代行延期挨拶〕 宮本慎助宛 八月四日	折紙 152	一通 け 二六	1 津国屋友七書狀〔為登漆請取及同売値相談〕 宮 沢善治・宮本慎助宛 九月一六日	165	一通
宮沢善治用狀		け 二六	2 大坂宛用狀〔炭屋借入金取扱〕 宮沢・宮本 松 本嘉十郎宛 九月二五日	158	一通
1 高野覚之進・宮本慎助宛 八月一八日	150	一通	3 大坂宛用狀追伸案〔前号の追記、1号書狀に対 し安値に付売拂見合〕 同前宛 九月二七日	158	一通
2 宮本慎助宛 八月二二日	156	一通	4 返書案〔1号返書〕 (宮沢・宮本カ) 津国屋 友七宛 九月二七日	宿紙 152	一通
3 松本嘉十郎・高野覚之進・宮本慎助宛 八月晦日	177	一通	京都方来狀入 慶応三年〓四年	貸入	
4 松本嘉十郎宛 九月二日	147	一通	関田莊助用狀 水野清右衛門・鈴木富治宛 二 月二五日	160	一通 け 二六
5 松本嘉十郎・宮本慎助宛 九月四日	宿紙 154	一通	酒井市治用狀 水野宛 一二月二〇日	158	一通 け 二七
高野覚之進用狀 八月二二日	153	一通 け 二八	関田莊助・酒井市治用狀 水野宛 五月二五日	163	一通 け 二八
窪田某用狀〔増田孝兵衛献上配物取調〕 松本・ 高野宛 八月	177	一通 け 二九	丑年殿様御月割金差図書 取調覚共 御收納方 郡奉行宛	宿紙 152	一通 け 二九
大坂内用懸勘定役申上書〔白山彦五郎代理とし て手代増田孝兵衛参上之旨〕 巳年	158	一通 け 三〇	長谷川深美用狀 郡方宛 正月	180	一通 け 三〇
孝兵衛滞在中賄方案		一綴 け 三〇	長谷川深美用狀 郡方宛 正月二三日	180	一通 け 三一
大坂御用場書狀綴 文久二年		け 三五			

関田莊助用状 水野宛 二月五日	161	一通 け 三
関田莊助用状 酒井市治宛 二月五日	161	一通 け 三
関田莊助・駒村佐十郎用状 水野・酒井宛 二月五日	161	一通 け 三
関田莊助用状 水野・鈴木宛 三月一日	161	一通 け 三
京坂用状綴 明治元年〜同二年		一綴 け 六
1 前島友之進用状(会計官御下ケ金送付) 草間一路・佐藤為之進・岡野弥右衛門宛 正月一〇日	156	一通
2 駒村佐十郎用状(此表借入金取計) 酒井市治・水野清右衛門宛 正月六日	156	一通
3 御在京中入料一ヶ月大積	156	一通
4 関田莊助・駒村佐十郎用状(京大坂品々入料并借入金元利勘定申上) 二月	156	一通
5 関田莊助・駒村佐十郎用状(前号追記) 酒井・水野宛 二月	156	一通
京坂用状綴 明治元年〜同二年		一綴 け 六
1 駒村佐十郎用状(熊野三山借入金其他) 酒井・水野宛 二月一日	157	一通
2 駒村佐十郎外用状(生糸出荷之件) 利左衛門・相原音五郎 坂本斎助・酒井市治・水野清右衛門宛 二月一日	157	一通
3 駒村佐十郎外用状 酒井・水野宛 正月五日	156	一通
4 大塚谷平用状写(郡代・熊野三山貸付金取扱方) 相原音五郎・駒村佐十郎宛 二月二日	157	一通
5 駒村佐十郎用状(諸財用之件) 酒井・水野宛 正月九日	156	一通
6 駒村佐十郎用状(十二月十八日付来状返答) 同前宛	156	一通
7 駒村佐十郎・関田莊助用状(御上京一件其他) 同前宛 正月七日	156	一通
京坂到来用状 明治二年		
駒村佐十郎・長岡茂市用状 別紙共 酒井市治・水野清右衛門宛 四月二七日、同二九日	156	二通 け 六
柘植嘉兵衛用状 草間一路・佐藤為之進外宛 六月七日	152	一通 け 六
京坂用状		け 六
1 駒村佐十郎・長岡茂市用状 別紙共 酒井・水野宛 五月二八日	161	二通
2 前島友之進用状 別紙共 草間一路外二人宛 四月二九日	161	二通
3 関田莊助用状 佐藤為之進・岡野弥右衛門外二人宛 六月五日	165	一通
西京用状		け 七
1 駒村佐十郎・長岡茂市用状 別紙共 酒井・水野宛 六月二三日	162	二通
2 駒村佐十郎用状 酒井宛 八月一〇日	162	一通
3 駒村佐十郎用状 酒井・水野宛 七月二六日	162	一通
4 長岡茂市用状 酒井・水野宛 七月一八日	163	一通
5 長岡茂市用状 同前宛 八月四日	166	一通

前嶋友之進用状 佐藤為之進・岡野弥右衛門宛 四月尽日	157	一通 け 六六	坂本常之丞・同斎助用状綴 片桐重之助・高野寛 之進宛 嘉永七年 (差出・宛名ともに連名あるいは 単記のもの混在、末尾に正月六日付の「去暮御借 入金調」あり)	153 ほか (三五通)
京都用状 明治二年		け 100	坂本常之丞用状 (炭彦借入金返済之件) 松本嘉十 郎・宮沢善治宛 一一月二九日	165 一通 け 三七
1 長岡茂市用状 酒井・水野宛 九月一七日	158	一通	田中八十七書状 同前宛 一一月二五日	172 一通 け 三七
2 長岡茂市用状 同前宛 九月一七日	158	一通	坂本常之丞・同五一郎用状 高野寛之進・片桐重 之助宛 嘉永七年 安政二年	け 六五
3 京都入料金請取証文 前嶋友之進 草間一路・ 佐藤為之進宛 九月	200	一通	1 (四時江戸地震) 一一月四日	166 一通
大坂往返用状 明治五年			2 (松代地震見舞) 一一月七日	166 一通
関田恭蔵用状 (年始祝詞) 酒井・水野宛 正月 七日	160	一通 け 三五	3 (買置玄米) 一一月一三日	163 一通
関田恭蔵・長岡茂市用状 別紙共 (当暮積書抜 写) 同前宛 正月一日	160	一通 け 三三	4 (御台場蒙仰) 一一月一六日	165 一通
関田恭蔵用状 (大蔵省拝借金返済之件) 同前宛 正月二二日	160	一通 け 三六	5 (諸借入金事情) 一二月朔日	164 一通
関田恭蔵用状 (藩債取調) 酒井宛 正月一三 日	166	一通 け 三三	6 (常照院仁恕講) 一二月一二日	159 一通
水野清右衛門・酒井市治用状 (大坂御借入金 其他) 関田恭蔵宛 正月二三日	154	一通 け 三〇	7 (当用金繰廻) 一一月一七日	158 一通
水野清右衛門・酒井市治用状 勘返状 (藩債 取調) 関田恭蔵宛 七月二五日	149	一通 け 三三	8 (婦府道中勘定仕切吟味) 一二月二三日	152 一通
出精一件申立	150	一通 け 三二	9 (送り金融通) 一二月二七日	154 一通
東京出火報知状	247	一枚 け 三七	10 (炭屋彦五郎借入金返済) 二月二四日	164 一通
長野県御達留書抜写 一一月二八日	240	一通 け 三八	11 (郡代・常照院借入金) 三月二日	164 一通
小野善四郎・海沼辰男用状封筒 一一月	174×65	一枚 け 三九	12 (炭彦借入金返済取延) 三月一八日	156 一通
			13 (三村借入金、村上英俊御手充拝借) 三月一九日	156 一通

14	〔御金出〕 四月七日	157	一通	関田荘助用状綴 坂本斎助・酒井市治・水野清右衛門宛 明治元年(同二年)	151 ほか	一綴 け 六〇
15	〔奈良屋預金切手〕 四月十五日	155	一通	関田荘助用状綴 酒井・水野宛 明治二年三月(九月)	152 ほか	一綴 け 六二
16	〔芝御借入金其他〕 五月一日	149	一通	在坂役人用状類綴 明治二年		け 六四
17	〔御殿長屋向修復〕 五月八日	149	一通	1 関田荘助用状 水野清右衛門・野中喜左衛門外宛 六月五日	159	一通
18	〔大坂表返済、小西御館人〕 高野宛 五月晦日	150	一通	2 拝借証書写 関田荘助 会計役所宛 五月三日	165	一通
19	芝御借入金未返済高取調書	156	一通	3 渡辺良助書状 関田荘助宛 五月三日	181	一通
20	寅年中利足出不足調 片桐宛 六月二五日	153	一通	4 会計官差紙 真田家留守居宛 六月三日	190	一通
21	内預ケ金請取切手 西村源蔵 坂本常之丞宛 嘉永五年一〇月	157	一通	5 拝借証書写 関田荘助 会計役所宛 六月	164	一通
22	三村晴山借入金請取切手	157	一通	6 関田荘助用状 酒井宛 八月七日	165	一通
23	内預ケ金請取切手 金井弥惣右衛門 草間元司宛 安政二年三月	157	一通	関田氏用状書抜〔拝借金返納〕 七月一九日	160	一通 九元
24	〔臨時金御金出、腰村和十郎為替取扱方其他〕 九月五日	163	一通	関田恭蔵用状〔新規御立入取立、大東象五郎一件〕 酒井宛 明治三年二月二日	161	一通 二六
25	〔水主看板木綿送付依頼〕 九月七日	163	一通	関田恭蔵用状 水野宛 明治三年二月二日	160	一通 七元
26	〔郡代其他御金出〕 正月七日	154	一通	関田恭蔵用状写〔岡本松兵衛6借入金俸兵作御下ケ願之件〕 明治三年八月二日	241	一綴 け 六五
	坂本常之丞用状〔配財取調一条〕 高野寛之進・片桐重之助宛 卯〔安政二年カ〕	151	八通 け 六三	関田恭蔵用状 酒井・水野宛 明治三年閏一〇月	159	一通 け 三五
	坂本常之丞用状〔大坂用状送付添状〕 宮沢善治・酒井市治外宛 酉八月二四日	宿紙 149	一通 け 二五	関田恭蔵用状 別紙共 同前宛 明治三年閏一〇月一〇日	159	一通 け 二五
	関田荘助用状〔生糸出荷御下金一条〕 酒井市治・水野清右衛門宛 一一月一二日	151	一通 け 二五	駒村佐十郎用状〔借入金之件其他〕 酒井市治・水野清右衛門宛 慶応四年五月二二日	160	一通 け 六二
	関田荘助用状〔生糸出荷督促〕 同前宛 辰一一月一八日	152	一通 け 六八			

5 長谷川深美用状 関田莊助宛 三月八日	160	一通	4 対談之趣書取〔竹村金吾・綿貫新兵衛対談〕 安政四年八月	161	一冊
6 御目付御尋物答書 四月	147	一通	地之部〔関係諸書類〕	け二六	
7 郡奉行回状 草間一路 磯田音門ほか四人宛 四月三〇日	149	一通	1 真田志摩用状〔新兵衛申立書之回答〕 恩田頼 母宛 二月一九日	163	一通
8 郡奉行再申上書 五月	149	一通	2 真田志摩用状 恩田頼母宛 二月一九日	163	一通
9 申渡状案	147	一通	3 竹村金吾御尋物答書 七月五日	147	一通
10 家老回状 赤沢助之進 鎌原伊野右衛門外四人 宛 五月二日	157	一通	4 竹村金吾申上書 二月一七日	148	一通
11 申渡状扣 原権右衛門親類宛 五月六日	148	一通	5 磯田音門用状〔二件書類返却添状〕 殿町某宛 一一月五日	148	一通
12 家老用状 赤沢助之進 玉川左門宛 五月五日	157	一通	6 竹村金吾請書〔別紙見込申上書添状〕 六月一 六日	151	一通
13 御目付御尋物答書〔帰藩後の身柄預置場〕 一一 月	147	一通	7 家老用状 望月主水 竹村金吾宛 一〇月一 三日	148	一通
14 御勘定吟味御尋物答書 一一月七日	152	一通	8 家老内状〔別紙送付添状〕 望月主水 宛不明 六月五日	149	一通
原権右衛門親類願書〔大坂和泉屋幸吉塩荷船高田 表売捌〕 一〇月九日	152	一通 け五七	玄之部〔評議書類〕 安政四年	け二六	
綿貫新兵衛一件			1 新兵衛歎願書 一〇月	146	一通
綿貫新兵衛大坂一件書類〔在坂借入金交渉及産物 取扱中の入料金弁済願出〕	袋入		2 拝借金高調書 新兵衛〔御勝手元へ返上貼紙〕 一一月二日	148	一通
天之部〔新兵衛嘆願書類〕 安政四年	け二〇		3 宮下兵馬御尋物答書 一一月七日	150	一通
1 愚意書取〔泉屋弥三兵衛手代利助願立一条〕 嘉永七年三月	150	一通	4 竹村金吾御尋物答書 一一月	150	一通
2 新兵衛願書〔入料分御下金〕（恩田頼母宛） 安政一年二月	148	一通	5 竹村金吾答書別紙〔兵馬書面へ附札申上箇 条〕	150	一通
3 新兵衛願書〔御下金再願〕 安政三年二月	148	一通			

6 宮下兵馬再御尋物答書〔前号簡条への回答〕 一二月	151	一通	13 宮下兵馬添状〔評議結果を内覧に供する添状〕 八月一四日	149	一通
7 竹村金吾再御尋物答書 一二月一八日	146	一通	14 郡奉行回章 宮下兵馬 竹村金吾・山寺源大 夫外二人宛 八月一二日	149	一通
8 新兵衛歎願書 一二月	147	一通	15 長谷川藤藏答書 八月一九日	144	一通
黄ノ上之部〔評議書類〕安政五年	け二六三		16 新兵衛・泰藏存念書〔上坂見込不首尾之節入 料金返済案〕八月一四日	153	一通
1 新兵衛書状 恩田頼母宛 三月二七日	152	一通	17 長谷川藤藏添状〔前号添〕馬場弥三郎・竹村 金吾外七人宛 八月一六日	143	一通
2 家老回章 恩田頼母 小山田老岐外三人宛 四月一〇日	147	一通	18 家老用状 恩田頼母 宮下兵馬宛 八月二〇 日	152	一通
3 竹村金吾再御尋物答書 五月一七日	147	一通	19 宮下兵馬申上書 八月二六日	147	一通
4 宮下兵馬再御尋物答書 五月	148	一通	20 新兵衛歎願書 九月一日	153	一通
5 宮下兵馬再御尋物答書 五月二四日	148	一通	21 長谷川藤藏回状 弥三郎・竹村金吾外五人宛 九月三日	152	一通
6 宮下兵馬再御尋物答書〔前号添書〕六月五 日	153	一通	22 長谷川藤藏書状 弥三郎・山寺源大夫宛 九 月八日	147	一通
7 新兵衛へ口上にて御尋之ヶ条扣〔拝借金依 頼高、入料処理計画〕	151	一通	23 長谷川藤藏回状 弥三郎・齋田虎尾外四人宛 九月一四日	147	一通
8 新兵衛返答書〔前号回答〕六月	150	一通	24 長谷川藤藏御尋物答書 九月二三日	147	一通
9 某添状〔前号回答之評価〕	146	一通	25 新兵衛歎願書 一〇月二日	150	一通
10 竹村金吾申上書〔高田幾太申談之都合悲敷に より評決方申立〕六月二八日	150	一通	26 家老用状 恩田頼母 祢津刑左衛門宛 一〇 月一九日	148	一通
11 綿貫近親者答書 名前書共 綿貫泰藏・長谷 川藤藏 七月	153	一通	27 御目付再御尋物答書 一一月	145	一通
12 家老用状〔評議申付〕恩田頼母 宮下兵馬宛 七月二六日	148	一通	28 祢津刑左衛門添状 一一月一三日	145	一通

29 竹村金吾用状 恩田頼母宛 二月二〇日	152	一通	家老用状(一件書類送付) 恩田頼母 河原舍人宛 二月四日	148	一通 け 六
30 長谷川藤蔵回状 弥三郎ほか五人宛 二月五日	153	一通	宮下兵馬用状(一件書類送付) 斎藤友衛宛 正月一七日	151	一通 け 六
31 長谷川藤蔵答書 二月二一日	147	一通	綿貫新兵衛歎願書追記(入料高内訳説明)	堅 230	仮一冊 け 五
32 長谷川藤蔵答書 二月	146	一通	綿貫新兵衛出金高委細書訳 綿貫泰蔵 子四月	堅 274	仮一冊 け 五
黄ノ下之部(評議書類) 安政六年		け 六四			
1 新兵衛書状 竹村金吾宛 正月九日	154	一通	綿貫新兵衛大坂表借入金一条評議書類(借入金取扱入料御下金之利分加算 用向引継之折謝礼入料御下ケ金願)		け 三
2 家老用状(大坂御用被仰付) 新兵衛宛 正月	153	一通	1 新兵衛内願書 子七月二二日	153	一通
3 竹村金吾用状(手先之者を上坂せしむべき旨) 恩田頼母宛 二月二五日	151	一通	2 差引取調大意 子七月二二日	堅 274	仮一冊
4 家老回章 恩田頼母 望月主水・河原舍人外二人宛 正月一七日	147	一通	3 御勝手元ノ御尋物答書(入料御下金渡済ニ付不採用) 九月	153	一通
5 竹村金吾申上書(新兵衛上坂答書) 二月二八日	151	一通	4 新兵衛書状 一場茂右衛門宛 八月二八日	153	一通
宇之部(評議書類) 安政五年		け 六五	5 文久二年三月十八日御書取写(父新兵衛骨折大儀ながら今後は郡方にて取扱之旨) 綿貫泰蔵宛 綿貫宛 六月	宿紙 156	一通
1 家老用状 勘返状(新兵衛へ百両拝借承認) 恩田頼母 望月主水宛 八月晦日	145	一通	6 山家屋嘉兵衛書状写(調達御断願書提出の報知) 綿貫宛 六月	宿紙 156	一通
2 新兵衛歎願書(別段拝借再願) 八月二五日	153	一通	7 見合書	宿紙 155	一通
3 郡奉行回状(前号願書評議案) 竹村金吾 山寺源大夫・磯田音門外一人宛 八月二八日	149	一通	8 一場茂右衛門申上書(新兵衛取扱中入料御下金一条取嚙之儀) 二月二四日	175	一通
4 御勝手元ノ御尋物答書 八月	150	一通	9 一場茂右衛門申上書(御勝手元ノ御答之儀) 二月二四日	175	一通
綿貫新兵衛歎願書(上坂入料御下金願) 八月	148	一通 け 六	10 御勝手元ノ再御尋物答書 三月七日	153	一通
一件書類引継請取書 山寺源大夫 綿貫泰蔵宛 嘉永五年五月	149	一通 け 六			

11 一場茂右衛門へ御達振 151 一通

12 御勘定吟味御尋物答書 三月九日 146 一通

13 岡野弥右衛門御尋物答書 三月二六日 166 一通

14 某新六御尋物答書 四月朔日 164 一通

15 家老廻状 赤沢助之進 真田志摩外三人宛 四月四日 150 一通

16 一場茂右衛門へ御達案 148 一通

17 新兵衛へ御達案 一二月 151 一通

18 某小右衛門書状 一場茂右衛門宛 一六日 152 一通

19 一場茂右衛門書状 祢津繁人宛 四月一日 151 一通

20 嘉永六年正月日記書拔〔專納村德藏等三人居所不明ニ付除帳承済〕 菅沼九兵衛 一六日 149 一通

21 磯田音門御尋物答書〔同前〕 四月二四日 145 一通

22 某内々申上書〔山家屋権三郎借入内借〕 一二月 152 一通

綿貫新兵衛大坂一件評議書類 け三七

1 綿貫泰藏へ御達案〔御下金ニ付取延中之御趣意拝借并内借金元利上納すべき旨〕 146 一通

2 御勘定吟味御尋物答書 二月二日 158 一通

3 御勝手元へ御尋物答書 一二月二四日 152 一通

綿貫新兵衛申上書写〔前項書類の一部カ〕 一二月 152 一通

月 152 一通

大蔵省・通商司借入金

送金為替添状〔生糸出荷一条ニ付会計官前借分〕 150 一通 け一四

関田莊助・駒村佐十郎 坂本斎助・丸山龍藏外三人宛 明治二年正月三〇日 150 一通 け一四

拝借金請取証文〔大坂表生糸蚕種等出荷仕入金〕 羽尾村大谷幸藏 産物方役所宛 明治二年正月 334 一通 け一六

横浜表買上物代金請取手形 岩村寅松 水野清右衛門宛 明治二年正月、二月 244 一通 け一〇

内預金請取証文綴〔生糸代前借貸下ケ金返納分内預金〕 明治二年五月、同三年四月 252 一通 け一四

東京表正金上納御用金調達評議書類 明治二年 250 一通 け一五

1 御勝手元へ御尋物答書 七月一日 宿紙 153 一通

2 別紙附札御尋書 七月一六日 165 一通

3 再御尋物答書 七月一六日 165 一通

4 岡野弥右衛門用状 佐藤為之進宛 七月二六日 150 一通

5 家老用状 鎌原伊野右衛門 佐藤為之進宛 七月一七日 167 一通

松代藩産出蚕種紙仕込手当金太政官拝借金返済一条 明治二年 け一〇

1 産物掛大塚谷平願書写〔当四月大坂会計役所へ拝借金之内返納及延納〕 大蔵省役所宛 九月二日 163 一通

2 大塚谷平願書写〔前号残金一部返納〕 同前宛 九月四日 163 一通

3 産物懸小野唯之進願書写〔同返納地大坂へ変更ニ付前二号取消〕 同前宛 九月一三日 163 一通

4 大蔵省達書〔大蔵省へ返納之事〕 松代藩公用人宛 九月二三日	165	一通	19 用状写 四月（関田カ）	166	一通
5 民部省達書〔前項明日中回答の旨〕 同前宛 九月一日	194	一通	20 小野善四郎外二人用状 関田恭藏宛 一二月一四日	166	一通
6 拝借金御貸下ケ調書	150	一通	21 小野善四郎別紙〔前号別紙〕 一二月一四日	166	一通
7 大塚合平・小野唯之進用状〔二万両納付及昨年分未納之事〕 関田莊助・長岡茂市宛 一〇月三日	150	一通	22 小野善四郎願書写〔返納残金諸入料差引高を以て上納願 民部省宛 一〇月二七日	200	一冊
8 小野唯之進用状〔大蔵省納付証文回送方変更通知〕 同前宛 一〇月四日	160	一通	23 上納証文案 小野善四郎 一〇月二七日	203	一通
9 小野善四郎用状〔大蔵省納付証文送付〕 同前宛 一〇月一三日	180	一通	24 小野善四郎願書写〔返納残金上納高〕 大蔵省宛 一二月一〇日	206	一冊
10 小野善四郎用状〔返納御礼金及残金返納取計方依頼〕 同前宛 一〇月一五日	150	一通	25 大谷幸藏外二人書状〔返納延期出願助力依頼〕 塚田一郎・和泉屋直治 関田莊助宛 一二月二三日	155	一通
11 大蔵省中川出納権大佑用状〔生糸買元直段付差出方掛合〕 関田莊助宛 一〇月一三日	175	一通	大蔵省拝借金返済方用状	け166	
12 関田恭藏返書扣〔前号答書、長岡茂市へ送付〕 一〇月	161	一通	1 関田恭藏用状 別紙共 坂本斎助・水野清右衛門・酒井市治・丸山竹阮宛 一一月四日	162	一通
13 長岡茂市用状〔通商司出頭報告〕 宛不明 一一月三日	165	一通	2 小野善四郎用状 関田用状写共 在所産物掛宛 一一月二日	147	一通
14 長岡茂市用状〔大蔵省出頭報告〕 一一月	165	一通	3 小野善四郎用状〔大陽寺借入金〕 酒井宛 一一月二日	166	一通
15 小野善四郎用状 関田恭藏宛 一一月二四日	151	一通	4 小野善四郎用状〔降伏入料送金依頼〕 酒井・水野宛 一一月二日	149	一通
16 〔別紙依頼状〕〔借入拝借金下渡期日取調依頼〕 借入拝借金返納之件 関田恭藏宛 一二月一〇日	152	一通	拝借金年割返納猶予願書并附札 松代藩公用人長谷川平次郎 大蔵省宛 一二月一二日	166	一通
17 小野善四郎願書写〔拝借金札返納相場見直シ願〕 大蔵省宛 一二月	159	一通	拝借金年割返納猶予再願書并附札 同前 同前宛 一二月二七日	160	一通

三輪村宇兵衛東京産物会所へ出頭督促書類 明治二年			明	け 一七
1 小野善四郎用状 (宇兵衛支障ニ付代人差出之旨) 酒井市治宛 一月一四日	146	一通		
2 小野善四郎用状 (なまこ二樽送付) 同前宛 一月一五日	148	一通		
3 酒井市治用状 勸返状 (三輪村北島文蔵東京出頭之件) 山口孝助宛 一月三〇日	154	一通		
大谷幸蔵生系仕入拝借金返納残金取計評議書類 明治三年	け 一四			
1 大谷幸蔵請書写 (拝借金返納残金を来正月二月中に商品にて皆納之旨) 明治二年十二月	243	一通		
2 拝借金返納差引調書	149	一通		
3 東京産物懸申上書 (幸蔵拝借金取扱方) 五月	148	一通		
4 玉川一学調書 (拝借高用立上納高差引取調) 五月	157	一通		
5 玉川一学申上書 (四月分月割上納金取計方) 五月	157	一通		
大谷幸蔵書状 (蚕種購買付商社札御下ケ其他) 酒井市治宛 五月二三日	146	一通 け 一五		
通商司御借入金願書写 (賞典高を以て返済) 松代藩公用人玉川一学 大蔵省宛 明治三年三月一三日	156	一通 け 一七		
生系代前金拝借返納方評議書類 断片 計政副主事 明治三年四月	154	一通 け 一七		
通商司為替会社方借入金関係書類 明治三年	け 一七			

1 為替会社方御借入金願書并証文写	横長128 仮一冊
2 借入金証文并返済引当差入一札写 六月	竪230 一冊
3 引当金高差引残金取調書	171 一通
蚕種紙前借金返納取計書類	け 一五
1 小野善四郎申上書 一〇月	157 一通
2 佐藤美与喜用状 岡野敬一郎・岸喜八宛 閏一〇月二二日	158 一通
蚕種紙仕入拝借金返納書類 明治三年閏一〇月	け 一三
1 小野善四郎申上書	155 一通
2 塚田仙四郎請書 東京産物役所宛	310 一通
3 児島孝之助請書 代人会津屋弥兵衛 同前宛 一〇日	310 一通
梅田屋宇兵衛へ御貸下ケ金上納方評議書類 (元商法司より拝借金返納督促) 明治三年	け 一三
1 竹内大属申上書 閏一〇月一日	164 一通
2 近藤貫一郎申上書 (小野善四郎代理にて通商司へ出頭の報告) 閏一〇月一日	166 一通
3 通商司差紙 小野善四郎宛 閏一〇月九日	155 一通
4 通商司達書 松代藩宛 閏一〇月一〇日	155 一通
生系仕込拝借残金於東京返納願出書類 明治四年	け 一三
1 松代藩願書并附札 大坂大蔵省宛 六月	198 一通
2 大坂大蔵省差紙 旧松代藩宛 七月二四日	187 一通

3 関田恭蔵用状 小野善四郎外一人宛 七月二七日	158	一通	横浜一条伺書案〔矢代村安兵衛・紺屋町繁之丞滞在延期〕 明治四年三月	宿紙 150	一通 〇七
佐藤美与喜用状〔横浜商人等〆借入金返済方〕 富永新平宛 七月二五日	161	一通 一〇五	商 法 社		
伊勢町渡辺九蔵外届書〔買附生糸売却之上代金上納〕 会計出納掛宛 明治四年一〇月一三日	278	一通 一〇四	御預官札紛失有免願〔産物方商法会社引替掛〆預金之内〕 水井市治外一人、佐川又八郎 一〇月	156	一通 一〇九
堀谷直治外願書〔拜借金上納仕法〕 力石村塚田一郎、内川村北沢平五郎 同前宛 明治四年一〇月一四日	278	一通 一〇五	商法元建金借用書類写 明治四年五月	152	一通 〇三
草間一路外用状〔増田孔平為替金納入不能〕 佐藤為之進・岡野弥右衛門宛 二月二六日	158	一通 一〇六	1 塚田一郎外四名借用証文 横浜五十四番キネフル宛		
大塚谷平用状〔力石村塚田孔平為替金入金差支〕 水野清右衛門・鈴木富治宛 二月二六日	157	一通 一〇八	2 約定為取替一札 同前宛		
玉川一学伺書 願書写共〔京坂御貸下金返納方、大蔵省宛猶予願書写〕 三月二三日	161	一通 一〇三	3 小野善四郎外受合一札 会計方佐藤美与喜・小野北沢屋惣兵衛外二人宛		
小野善四郎用状 別紙共〔三輪村宇兵衛上納金督促〕 水野清右衛門宛 六月二八日	165	一通 一〇五	商社取建借金証文類雛形	150	一通 一〇四
東京商社掛申上書 酒井市治申上書添〔横浜表へ蚕種充込及借入金申入〕 七月九日	165	一通 一〇五			
出納掛内々申上書〔横浜藤屋善十郎用達金上納御賞筋〕 一〇月	163	一通 一〇五			
手代万吉書状〔上田表生糸買入〕 大黒屋幸蔵宛 一一月二二日	256 156	一通 一〇六			
横浜 商 易					
玉川一学申上書〔小野善四郎横浜開店申立〕 明治三年二月	156	一通 一〇三			

財政

諸役方

御勝手元

御手充金預り証文 祢津繁人・草間一路外二人 十河彦治郎宛 慶応元年一〇月	333	一通 け 四
御下ヶ金請取納切手 佐藤為之進外三人 鎌原伊 野右衛門宛 明治元年八月〜同年五月	133・140	一綴 け 五 (八通)
中借金請取証文(岩村田出張用) 河原理助 佐 藤為之進宛 明治元年一二月	242	一通 け 八
東京表品々入料引当金請取証文 柘植嘉兵衛 草間一路外二人宛 明治二年三月〜六月	260	九通 け 七
○		
豆板銀請取証文(銀細工職にて吹直しのため) 吉田孫兵衛外 関口忠兵衛外宛 元禄一〇年〜同 六年	312	継一通 け 五 (七通)
御用金等請取証文(拝借上納金及刀箱) 窪田十 八 入十助外五人宛 明和六年一二月	袋入 132	一通 け 三
御勘定帳請取証文(辰巳午三年分南部坂御勘定帳 外三筆) 三井寿一郎・長谷川金藏外 窪田岩右衛 門宛 天明七年九月	236	一通 け 六
地代金請取証文(深川小松町旗本近藤彦八郎拝領 屋敷地借用) 近藤彦八郎 久保左十郎宛 寛政八 年文化二年	333 ほか	一六通 け 五

臨時金子不足分受取手形 西村源兵衛 宮下兵馬
宛 嘉永四年一二月 260 一通 け 五〇
亥子兩年臨時御入料調(京都守衛、和宮通行道固
其他) 元治元年 宿紙混 132 ほか (八枚) け 九八

臨時御入料金預り証文 草間一路 鎌原伊野右衛
門宛 慶応四年五月 318 二通 け 六三

*臨時御入料金預り証文 佐藤為之進 同前宛 明
治二年四月 320 一通 け 八

御用金請拂覧帳写(戊亥兩年分精算) 祢津甚平
丑二月 327 一冊 け 七五

御用金送金添状綴 長谷川深美・佐藤為之進外
草間一路外宛 辰八月〜一〇月 一綴(八通) 一通 け 三六

東京御藩邸入料調(人件費及藩邸入料)
宿紙 134 一通 け 六

郡奉行

下水鉋村彦三郎願出口上覚写(讓渡地所に蔵本立
入にて地頭へ半高讓渡之件) 文政六年三月 横長 157 仮一冊 け 三三

郡奉行申立扣(御勝手向難渋ニ付諸向省略方)
文政七年閏八月 328 仮一冊 け 四六

五海道宿々助郷御救差出金請書 天保四年 袋入 け 五九

1 差出金請書写 今里村勇左衛門・山平林村半平
今井太郎九郎宛 天保三年 298 一通

2 差出金請書写 杭瀬下村儀太夫・新田村万右衛
門外二人 同前宛 天保三年一〇月 277 一通

3 身上書 半平 同前宛 天保三年一〇月 270 一通

4 身上書 田野口村治右衛門 同前宛 天保三年一〇月	276	一通	2 岡野敬一郎用状〔預所借入金取調〕 八月一四日	152	一通
5 下東条村清之助答書〔御趣意に応じ二百兩を三年割賦にて上げ切りに上納之旨〕 松代役所宛 天保四年六月	333	一通	3 吉池与市用状〔前職中金銭拂残取調書送付添状〕 計政出納掛宛 八月一五日	150	一通
6 郡方申上書〔前号上申〕 七月	宿紙 155	一通	4 月岡善平用状〔病氣欠勤通知〕 水野・井堀勇右衛門宛 八月一六日	147	一通
7 家老用状〔差出証文返戻添状〕 恩田鞆負 岡嶋莊藏宛	148	一通	5 水野清右衛門用状〔法円寺用達金献金切替〕 宮原有三畏宛 八月一六日	158	一通
紙屋町源兵衛願書〔中借金にて買上物未納中に出府願〕 元治元年九月 郡奉行所宛	275	一通 け 四七	6 岡野敬一郎用状〔東京借財等取調〕 一二月二九日	157	一通
片岡源右衛門用状 別紙共〔宮平組団右衛門山論一条〕 草間一路宛 慶応三年八月	147	一通 け 二六	7 出金滞り人名面〔内容不明〕	163	一通
勘 定 役			借用金証文〔才覚金返済用貸下ケ〕 駒村佐十郎・入弥左衛門 水野・月岡宛 明治三年一二月	宿紙 149	一通 け 四〇
善光寺町中町嘉十郎願書〔御貸下初代金上納〕 水井忠藏・春日儀左衛門外一人宛 天保五年二月	328	一通 け 五三	吟 味 役		
御趣意金預り証文 水井忠藏 吉沢十助・池田良右衛門外二人宛 弘化二年八月	247	一通 け 四〇	内借証文綴 綿貫泰藏等宛 嘉永元年四月、元治元年七月、慶応元年七月	一綴 け 四三	
宮沢善吾用状〔小市村酒造人上納金報知〕 水野清右衛門宛 一二月一九日	159	一通 け 三二	(貞松院様・御前様入用唐紙并引手釘隠類品々買上代、南部坂組合辻番所番人給金増手充、横浜表へ罷越入用、貞松院様参府通人足雇賃、斎藤房吉堀坂道中入用、上坂往来手充)	宿紙 混 240 ほか 152	(一四通)
御預入入料請取証文 大塚谷平 酒井市治宛 明治二年三月一六日	157	一通 け 五五	内借証文綴 同前宛 文久三年一〇月、元治元年一二月	一綴 け 四七	
水野清右衛門宛用状類		け 六四	(太田陣屋詰用意金、長滞府拝借金、急立帰御供入用、御帰城道中御開葉種料、日光使者手充、イギリス小銃買上代、外科伝授品々入料、砲術修業入料)	143・283 (五六通)	
1 北沢用状〔送金受領、別途金依頼〕 (職之助力) 八月二一日	162	一通	内借証文綴 元治一年正月、二月	一綴 け 二七	

(御前様出府入料、日光表使者道中入用、役方用紙筆墨代、貞松院様出府入料、御用ニて出立入用、立帰出立入用、小銃買上代、御台場勤手充、貞松院様賄料、槍術修業謝金、荷物才領道中入料、奥女中在所行道中入料、貞松院様附女中切米手充、御前様賄料、療治入参代、芝山内借入金利足、御手許入料、帰国路用、産物方御内用、御切米前借)

149 ほか (九九通)
298

内借証文綴 慶応二年正月〜二月

二綴け二六

(貞松院様新御奥御移徒祝儀入料、産物方御内用、手寄才寛金利足、郡代借入金内渡、国役普請願内用、小銃買上代、御養君様用意道具入料)

290 ほか (六通)

内借証文綴 慶応二年三月〜四月

一綴け二七

(大御前様付女中菜銀、借入金利足、産物方御内用、御預所御内用、御前様賄料前借、大銃船送上乗内借、清水一郎内借)

192 ほか (一九通)
298

内借証文綴 慶応二年四月〜五月

一綴け二七

(太殿様賄料、日光表使者手当拝借、上京御供入用、夫給金拝借、御上京道中諸入用、大殿様湯治道中入用) 中借証文混入

296 ほか (四六通)

内借証文綴 慶応二年六月〜八月

一綴け二六

(御内借金請取通 慶応元年一〇月
大御前様・貞松院様賄料前借、時借金利分、立田秀英医学修業拝借、郷原力作内借)

横長123 (一冊)
275 ほか (三六通)
145

内借証文綴 慶応元年二月〜二年七月

一綴け二〇

(御居間屋根葺替賃金、御殿修復請負金、飛脚路錢手充、上京之御長持其外日雇賃錢、上京御関札并荷物賃金、大殿様御発駕御用荷物賃金)

245 ほか (二三通)

内借証文綴 慶応二年八月〜九月

一綴け二四

(いせ屋熊蔵借入金利足、熊野三山御貸附金返済金、銃買上代、奥女中等在所差送道中入料)

290 ほか (二五通)

内借証文綴 慶応二年一〇月

一綴け二四五

(大御前様賄料、小銃買上料、貞松院様賄料、紀州様御供入用)

290 ほか (一九通)

内借証文綴 慶応二年十一月

一綴け二四七

(紀州御用途金利子、松本八郎右衛門借入金利足、産物会所普請入料、猿楽配当米上納、砲術稽古衣類出来入料、上京廻船上乗御用ニ付)

290 ほか (四通)

内借証文綴 慶応二年十二月

一綴け二四六

(産物会所入料、貞松院様賄料、早追宿継箱差立賃錢、水戸様御借入金利分、紀州様御借入金利分、上田安左衛門へ利足、向々返済金利足、小銃買上代、国役金上納、修業手充金、大御前様御手許入料、貸馬買上代)

290 ほか (一九通)

内借証文綴 慶応三年正月

一綴け一〇八

(借入金元利返済、小銃買上代)

198 ほか (一六通)

内借証文綴 慶応三年二月

一綴け一〇八

(借入金利足、日光使者相勤手充、御前様当用)

290 ほか (一八通)

内借証文綴 慶応三年三月

一綴け一〇八

(借入金利足、御前様当用、貸馬買上代、佛蘭西字書買上、貞松院様賄料、勢州代参道中囲金)

290 ほか (三五通)

内借証文綴 慶応三年四月

一綴け一〇八

(借入金利足、産物方内用、宿継用状等差立入用、日光使者道中拂方、貞松院様賄料、御前様当用、奥女中等在所帰り道中入料)

290 ほか (四三通)

内借証文綴 慶応三年五月 (大御前様松平讃岐守様へ被為入当用差支、諸借入金利足、桑名理内病氣差支)	一綴け10金	元ノ夫喰申合方 (夫食拝借願出ニ付御勘定所元ノとしての取計方)	宿紙49 け1四六
内借証文綴 慶応三年六月 (番種紙改冥加金上納、西丸大手御門番用意金、貞松院様賄料、大御前様御当用差支)	一綴け10金	元方御金奉行	
内借証文綴 慶応三年七月 (産物方御用、貞松院様賄料、御前様御当用差支、西丸大手番所勤番人へ葉種料、借入金元利返済)	一綴け10金	中借証文綴 (差掛り御用) 斎藤善藏・佐川又左衛門外宛 文政一三年、安政三年ノ明治二年	246 ほか 一綴 け10金
内借証文綴 慶応三年八月 (宿継人足賃錢、柳沢甚三郎御暇ニ付御手充拝借、大御前様御当用、大御前様女中道中入料、西丸大手番所勤番人葉種料、急上京品々入料、貞松院様賄料、上京御供ニ付)	一綴け10金	中借請取証文綴 (舞鶴山神領物成代金) 佐藤左金吾・徳嵩恒吉外宛 天保九年十二月ノ同一〇年十二月	246 ほか 一綴 け10金
内借証文綴 慶応三年十一月 (上京御供ニ付、弟御雇用意差支、貞松院様賄料、大御前様御当用差支、御手充拝借)	一綴け10金	中借請取証文綴 (差掛り御用) 三井源吾・矢野倉長左衛門外宛 天保一一年、同一四年正月ノ一五年十二月	246 ほか 一綴 け10金
内借証文綴 慶応三年正月ノ十二月 (荷物会所御用、足輕砲術稽古入料、西丸大手番所入料、御目録金銀差掛入料、宿継御用箱差立、台場入料)	一綴け10金	中借請取証文綴 (差掛り御用) 徳嵩恒吉・大嶋富作外宛 天保一五年六月	248 一通 け10七
御勘定所元ノ		預り金証文 岡嶋莊藏・竹村金吾 佐藤安喜宛 天保一五年一月ノ弘化二年四月	246 ほか 一綴 け10三
御勘定所御用達中借証文 (塩・銅買上代) 山輕井沢村藤沢兵藏・紙屋町源兵衛 御勘定所元ノ宛 文久三年三月ノ六月	246 ほか 三通 け10	中借証文綴 (内借及借入金内預金之内) 斎藤善藏・水井市治外宛 嘉永六年六月ノ慶応四年正月	247 ほか 一綴 け10三
		中借金証文 (才覚金返済) 高野覚之進 徳嵩恒吉外三人宛 嘉永六年九月	244 一通 け10七
		中借金証文 (同前) 高野覚之進・片桐重之助 斎藤善藏・佐川又左衛門外二人宛 安政二年十二月	246 一通 け10三
		諸入料拂切証文	244 一通 け10七
		1 武器手当操廻御礼金請取書 長谷川三郎兵衛 斎藤善藏外宛 安政六年正月	244 一通

2 貸具足仕立代請取書 一場茂右衛門外 同前宛 安政六年九月	243	一通	15 定府并品々御手充拝借拂切勘定一紙 証文添 万延元年二月	245	一綴 (一二通)
3 鉄砲修復入料勘定一紙 証文四通添 同前 同 前宛 安政六年五月	245	五通	16 去戌御無尽山里村々三会分割返請取渡証文 安政七年二月	245	一通
4 武器修復入料勘定一紙 岸太五之丞外 同前宛 安政七年三月	243	一綴 (一一通)	中借証文 斎藤善藏・水井市治外宛 万延元年正月 二月		一綴け1040
5 村々借入金利分請取渡証文 南沢甚之介 同 前宛 文久二年一〇月	252	一通	(借入金利足返済、国役普請入料、才覚金預り之内、 銅小銭引替)	245 ほか(七六通)	
6 村々借入金利分請取渡証文 中嶋渡浪 同前 宛 文久二年一〇月	243	一通	御用金出申立之綴(当用臨時江戸御用金を荷物会 所掛へ相渡) 斎藤善藏外 文久元年八月一〇月	宿紙145 (八通) け 443	
7 村々才覚金請取渡証文 長岡富五郎 同前宛 安政七年三月	246	一通	中借証文 同前 文久二年一〇月明治二年三月 (別段借入内預ヶ金之内村々献上ニ付願下ヶ分、居 宅焼失ニ付願下)	243 (一四二通)	一綴け1040
8 村々借入金請取渡証文 野本力太郎 同前宛 文久二年一〇月	250	一通	中借証文(焼失ニ付書替差出) 水井市治 草間一 路宛 文久三年二月	246	一通け 83
9 村々借入金請取渡証文 細田久作 同前宛 文 久二年一〇月	250	一通	武器手当操廻御礼金請取証文 文久三年正月	254	一通け 46
10 村々借入金請取渡証文 同前 同前宛 文久二 年十二月	246	一通	武器修復并新造入料勘定一紙 証文綴込 武具 奉行 元方御金奉行宛 元治元年五月	275 ほか (一七通) け 44	
11 村々借入金請取渡証文 同前 同前宛 文久二 年十二月	247	一通	武器修復御定金之内銅板水銀買上入料勘定一紙 証文綴込 同前 同前宛 元治元年五月	275 ほか (五通) け 47	
12 村々借入金請取渡証文 伊東賢治 同前宛 文 久二年十二月	237	一通	諸向御拂金請取渡証文 同前宛 慶応二年四月 二月		一綴け 6元
13 才覚金利足請取渡証文 水井忠藏外 同前宛 安政七年三月	241	一通	(村方借入金利分、別段借入金利足、大三ッ俣其他 武器新規出来入料、武器手当操廻礼金)	245 ほか (一一通)	
14 借入金利足中借金請取証文 倉田三之丞 同 前宛 万延元年一〇月	243	一通	才覚金勘定一紙 水井市治外三人 慶応三年一一 月	243	一通け 5元

辰御借入留帳 返済分中借証文添 御元方 慶応四年三月〜明治二年正月	253 ほか (冊) 一綴 け 六
金子証文綴 慶応四年	253 ほか (冊) 一綴 け 六
1 中借金請取証文 佐藤為之進 佐川又左衛門外宛 一一月	245 一通 一綴 け 六
2 中借金請取証文 同前 同前宛 一一月	248 一通 一綴 け 六
3 借入金請取証文 酒井・水野 伊勢町峯吉・茂七郎宛 七月	245 一通 一綴 け 六
4 御納戸御余慶方預り証文 谷口左仲 佐藤為之進宛 明治二年二月	245 一通 一綴 け 六
5 中借金請取証文 佐藤為之進 元方御金奉行宛 一一月	245 一通 一綴 け 六
6 才覚金請取証文 水野・酒井 春日栄作宛 六月	245 一通 一綴 け 六
課業錢之内中借請取証文〔御手充拝借、上納課業錢願下ケ〕 水井市治外 嘉永七年〜慶応三年	262 ほか (冊) 一綴 け 六
村町課業錢請拂勘定調書 文久三年三月	宿紙 153 (七通) け 三〇
○本上納証文	
本上納書類 安政七年正月〜文久元年四月	252 ほか (冊) 一綴 け 六
(本上納留帳 御收納方 安政七年正月	252 ほか (冊) 一綴 け 六
家中拝借金、冥加粉代金、公事方役所附仲間被下粉代、船銀、舞鶴山両宮祭礼入料、学校掛手充其他、薪藥入料等)	254 ほか (冊) 一綴 け 六
本上納証文綴 水井市治・上村何右衛門外宛 文久三年三月〜元治元年六月	
(納藥代、舞鶴山両宮祭礼入料返納分、学校入料返納分、拝借米代金上納、船銀、飯米被下粉代)	245 ほか (冊) 一綴 け 六
本上納書類 慶応三年二月〜明治二年一〇月	245 ほか (冊) 一綴 け 六
(本上納留帳 御收納方 慶応四年	245 ほか (冊) 一綴 け 六
樹芸方雇世話役被下粉、紙役金、舞鶴山両宮祭礼入料内預分、公事方役所附仲間被下粉、冥加粉代金、船銀、被下粉代金)	243 ほか (冊) 一綴 け 六
御余慶方	
上納金御余慶方へ相収証文〔喰違小作地品々拂木代金〕 師田幾五郎・佐藤左金吾 御勘定所元宛 文政二年二月	251 一通 け 三六
上納金御余慶方へ相収証文 元方御金奉行 御勘定所元宛 天保五年一〇月〜嘉永七年六月	246 ほか (冊) 一綴 け 六
(御手伝御用差上金、村々節木代取立金、課業錢別段上納、御加増知収納差金、分量用達金、犀口急難普請群銀賃金残金、口留修復入料残金、被下扇子拂代)	246 ほか (冊) 一綴 け 六
御焼失ニ付取調一卷并被仰渡其外品々書類 御余慶方 嘉永六年	袋入 け 三三
1 御焼失金錢取調元帳 嘉永六年五月	横長 121 一冊
2 焼金錢取調書	横長 110 一冊
3 焼金錢御拂元帳 安政元年四月	横長 125 一冊
4 焼金銀引替残之分調	横長 110 一冊

5 御焼失之節焼金錢夫々調上一紙 月 安政三年三	横長110	一冊
6 御焼失ニ付焼金錢御減金御拂切伺 書共一元方御金奉行 安政三年四月 家老差図	横長135 147	一通
7 御焼失ニ付焼金錢御減金御拂切伺案 下書 〔前号〕	横長109	一冊
8 焼金銀引替取調書 西村源藏 一二月	横長135 飯一冊	
9 御拂銀請取手形 紺屋町儀助 元方役所宛 寅四月	148 ~ 242 二通	
10 御拂金銀請取手形 喜一郎・清七 寅四月	280	一通
11 拂下金銀入札覚 紺屋町儀助、馬喰町平七 元方役所宛 卯一〇月	132 152	四通
12 御拂金銀請取手形 儀助 同前宛 一〇月	245	一通
13 御拂金銀請取手形 平七 同前宛 一〇月	246	一通
14 御拂金物請取手形 鍛冶町渡辺万吉 金方役所 宛 安政三年四月	245	一通
15 焼金銀引替差引残悪金分差出覚 元方宛 三月六日 西村源藏	宿紙126	一通
16 焼金銀貫目代金下調書	宿紙151	一通
安政六未御勘定取調一卷 御余慶方 慶応二年六月	袋入 け二元	
1 午年御余慶方御借入金調帳 御收納方 元 治元年九月	横長109	一冊
2 午年御收納方御借入金調帳 御余慶方 元 治元年九月	横長109	一冊

中借証文綴 同前宛 慶応元年正月～二月、同年一〇月	一綴け100六	中借証文綴 佐川又左衛門・水井市治外宛 明治二年正月～七月	一綴け100六
(家中・村方手充拝借、借入金利息返済、学校御用、犀川辺広土地開普請入料、国役普請場所見分役入料、軍用米金国元送方之儀、献銅御用)	224 ほか (三九通)	(借入金・才覚金利息返済、学校御用、村方・家中手充拝借、上京御用、犀川除普請入料)	226 ほか (三三三通)
中借証文綴 同前宛 慶応元年五月～九月、同年四月	一綴け100七	中借留帳 并 中借証文綴 明治二年三月、一月	一綴け100五
(産物会所内預金、京都表へ罷越夫給金)	226 ほか (七通)	高掛借入金内預金	224 (二通)
中借証文綴 同前宛 慶応二年正月～二月	袋入 一綴け100五	中借証文綴 佐川又左衛門・水井市治外宛 明治二年八月～十二月	一綴け1010
(学校入料、村方・家中手充拝借、国役普請入料、上京御用)	226 ほか (三三四通)	(借入金・才覚金利息返済、学校御用、村方・家中手充拝借、既手段金、文聰院様五七日法事、諸買上代金、救民被下大麦代、出張農兵手充)	226 ほか (二七三通)
中借証文綴 同前宛 慶応三年正月～二月	一綴け100六	○御余慶方預り証文(↓預所・町方用達金)	
(同前、借入金元利返済、荷物会所にて紛失の預金返済)	226 ほか (一〇二通)	御納戸御余慶方預り証文綴 弘化二年二月～明治四年八月(書状・覚書等混入)	226 ほか (一六五通)
中借証文綴 水井市治・西村源兵衛外宛 慶応四年正月～七月	一綴け100九	(内預ケ、別段内預ケ、中借金返上)	
(同前、急出府入用、京都御用、善光寺本願上人護送手充)	226 ほか (一八二通)	御納戸御余慶方預り証文綴(松前様より借入金) 弘化四年	226 ほか (二一一枚) 一綴け100七
諸向中借留帳 并 中借証文綴 水井市治・谷口左仲外宛 慶応四年二月～明治二年一月	一綴け100三	御納戸御余慶方預り証文綴(才覚金・借入金) 嘉永二年二月～同五年二月	226 ほか (六通) 一綴け100六
(諸向御借入中借留帳 御余慶方)	226 (一冊)	御納戸御余慶方預り証文綴(銀座御借入金) 嘉永二年～同三年、文久元年	226 ほか (五通) 一綴け100四
村方・家中手充拝借、高掛り借入内預金、欠村居宅焼失者借入金御下)	226 ほか (一八通)	御納戸御余慶方預り証文綴(借入才覚金) 嘉永三年八月～同五年九月	226 ほか (七通) 一綴け100六
中借証文綴 同前宛 慶応四年八月～二月	一綴け100八	御納戸御余慶方預り証文綴(郡代及芝山内借入金其他) 嘉永六年十一月～安政四年五月	226 ほか (一〇通) 一綴け100八
(学校御用、家中手充拝借、才覚金借入金利息返済、下目付立入手充、犀川急難除入料)	226 ほか (一五〇通)		

御納戸御余慶方預り証文綴〔炭屋彦五郎より借入金及才賞金〕 嘉永六年二月〜文久二年二月	238 ほか	一綴 け 〇三	〔三八通〕
御納戸御余慶方預り証文綴〔大坂表借入才賞金〕 安政三年〜文久三年	239 ほか	一綴 け 三九	〔七通〕
御納戸御余慶方預り証文綴〔当用其他中借金返納善光寺上納分〕 安政三年〜文久四年	240 ほか	一綴 け 五八	〔七通〕
御納戸御余慶方預り証文綴〔才賞金〕 安政五年七月〜慶応元年一〇月	241 ほか	一綴 け 六八	〔二五通〕
御納戸御余慶方預り証文〔別段御借入金中借〕 万延元年二月〜明治二年三月	袋入 242 ほか	六〇通 け 〇九	〔六〇通〕
御納戸御余慶方預り証文綴〔別段借入金〕 文久元年七月〜同一年正月	243 ほか	一綴 け 八五	〔六通〕
御納戸御余慶方預り証文綴〔炭屋彦五郎借入金〕 文久三年二月〜慶応三年九月	244 ほか	一綴 け 八三	〔八通〕
御納戸御余慶方預り証文綴〔才賞金〕 慶応二年二月〜明治三年四月	245 ほか	一綴 け 六二	〔二八通〕
御納戸御余慶方預り証文綴〔越後米拂代〕 慶応三年七月〜明治二年五月	246 ほか	一綴 け 五〇	〔八通〕
御納戸御余慶方預り証文綴〔酒造冥加上納〕 慶応四年九月〜明治四年八月	247 ほか	一綴 け 五二	〔四通〕
御納戸御余慶方預り証文〔式朱金柳町分〕 明治二年六月	248	一通 け 五七	
御納戸御余慶方預り証文〔内預〕 明治二年二月	249	一通 け 五三	
○本上納証文			
本上納証文〔去酉年馬飼料方拂物代〕 天保九年三月	250	一通 け 四九〇	
本上納証文綴〔村方御手充拝借御礼金課業錢之内より上納分〕 嘉永四年九月〜安政六年十二月			
本上納証文綴 慶応元年七月	251 ほか	一綴 け 三六	〔一八通〕
安政五年〜同六年、文久二年四月、慶応元年七月	252 ~ 260	一綴 け 五九	
〔御用地小作人立初代、扶持代詰高差引返上納、紙役銀、船銀、家中拝借金返納、冥加初代〕	261 ~ 280	一綴 け 五九	〔一五通〕
本上納証文綴 寄出并証文添 安政六年三月〜万延元年八月	281 ほか	一綴 け 四六	
〔献上物・小米其他拂代、冥加錢、村方拝借礼金等〕	282 ほか	一綴 け 四三	〔一冊 六通〕
本上納証文綴 安政七年二月〜文久元年二月	283 ほか	一綴 け 四三	〔一冊〕
〔生焰硝代請取元帳	284 ほか	一綴 け 四六	〔一三三通〕
冥加金、飛脚旅役最合金、諸拂物代、無役金、操廻礼金等〕	285 ほか	一綴 け 四六	
本上納証文綴 安政七年正月〜文久元年三月	286 ほか	一綴 け 四六	
〔生焰硝代献上請取元帳	287 ほか	一綴 け 四六	
御飯米干減米代其他上納差出	288 ほか	一綴 け 四六	
飛脚最合金、諸拂物代、諸礼金、手充初番錢、被下金遣錢〕	289 ほか	一綴 け 四六	
本上納証文綴 万延一年正月〜文久二年三月	290 ほか	一綴 け 四六	
〔本上納留帳	291 ほか	一綴 け 四六	
御在所御飯米干減米代其他上納差出	292 ほか	一綴 け 四六	
家中寄荷益錢、諸冥加錢、諸拂物代等〕	293 ほか	一綴 け 四六	

本上納証文綴 万延二年正月～元治元年四月	一綴 け二五三	子年中御余計上納差出	堅250 一冊
（申年中御余計上納金差出	堅249 （一冊）	諸冥加金銭、諸組初代金、操廻礼金、諸拂物代）	248 ほか 一綴（四六通）
諸拝借御礼金、諸運上冥加金、諸拂物代、寄荷益 錢等）	246 ほか （一六通）	本上納留帳 御余慶方 元治二年正月	堅221 一冊 け二五三
本上納証文〔支配村々上納金〕 文久元年六月～八月	253 ほか 三二通 け二五五	本上納書類 元治元年（その一）二二七ページ い二〇二一、同二五六ページい二四二九参照）	堅200 一冊 け二五四
本上納書類 文久二年～同三年一〇月	袋入 一綴 け二五七	（子納村摺玄米御出米代其他上納差出	堅240 一冊
（本上納留帳	堅217 （一冊）	各組初代金、節木代上納銭、諸冥加金銭、諸拂物 代、繰廻礼金等）	245 ほか 一綴（三三三通）
諸冥加金銭、飛脚最合金、村々差上金、操廻礼金、 諸拂物代）	249 ほか （三六通）	寅本上納書類 御余慶方 慶応二年	袋入 け二五五
本上納書類 文久三年正月～元治二年正月	け二五八	（本上納留帳	堅218 一冊
（本上納留帳	堅223 一冊	丑納村摺玄米御出米代其他上納差出	堅246 一冊
西納村摺玄米御出米代其他上納差出	堅248 一冊	支配村々上納銭本上納証文	堅250 一冊 仮一冊
戌納御在所御飯米干減米代其他上納差出	堅245 一冊	諸操廻礼金、飛脚最合金、冥加金銭、諸拂物代等）	247 ほか 一綴（二四通）
亥年中御余慶上納金差出	堅245 一冊	本上納書類 慶応三年	け二五六
寄荷益金銭、諸冥加金銭、初代金、操廻礼金、諸拂 物代等）	255 ほか 一綴（四三三通）	（本上納留帳 御余慶方	堅218 一冊
本上納証文〔馬飼料明俵拂代、国役金等御余慶方預 け分〕 文久三年正月（後欠）	243 一一通 け二四五	諸拂物代、飛脚最合金、松原者減給金等）	243 ほか 一綴（一一一通）
本上納書類 文久四年正月～慶応元年一〇月	袋入 け二五〇	本上納書類 慶応四年	け二五元
（本上納留帳	堅218 一冊	（本上納留帳 御余慶方	堅220 一冊
亥納村摺玄米御出米代其他上納差出	堅252 一冊	冥加金、御借人被下物、諸拂物代、飛脚最合金、 足輕本詰給金、松原者病氣御暇給金上納）	242 ほか 一綴（一四通）

日本上納書類 明治二年

(本上納留帳 御余慶方

袋入 け一五〇
堅218 一冊

紙役銀、諸拂物代、玄米継合居俵冥加、本詰足輕減給金、舞鶴山御宮葺替其外修復入料)

228 ほか 一綴 (七通)

○拂切書類

申年御拂切書類 御余慶方 安政七年正月〜文久三年

袋入 け一五三

(申御拂切留 御余慶方

堅238 一冊

武器修復并新規出来品々入料、村々借入金利分、家中拝借、類焼手充等)

235 ほか 一綴 (五四通)

去子年中上納金請取証文〔月割初代、下綿・荏代小役代、前号一五三に同封〕 斎藤善藏外 依田甚兵衛宛 天保一二年一〇月

堅251 一冊 け一五四

戌年御拂切書類 文久二年正月〜同三年正月

け一五六

(御拂切留帳 御余慶方 文久二年正月

堅218 一冊

御拂切留帳 御余慶方 文久三年正月

堅221 一冊

借入金利足

240 一通

村々借入金利分返済、武器手当操廻礼金、犀川荒所見分諸色入料)

232 ほか 一綴 (二七通)

子年御拂切書類 御余慶方 文久四年正月〜慶応元年八月

袋入 け一五九

(御拂切留帳 御余慶方

堅218 一冊

操廻礼金、借入金利足返済、武器修復并新規出来品々入料)

230 ほか 一綴 (二九通)

寅年御拂切書類 御余慶方 元治二年正月〜慶応三年一〇月

袋入 け一五三

(御拂切留帳 御余慶方

堅217 一冊

御拂切留帳 御余慶方

堅222 一冊

操廻礼金、借入金利足返済、武器修復并新規出来品々入料)

233 ほか 一綴 (五〇通)

卯年御拂切書類 御余慶方 慶応三年正月〜明治二年五月

袋入 け一五七

(御拂切留帳 御余慶方

堅220 一冊

操廻礼金、借入金・才覚金利分

243 ほか 一綴 (二二通)

武器修復并新規出来品々請取渡拂切証文 請取証文一四枚添)

245 ほか 一綴 (一五通)

辰年御拂切書類 御余慶方 慶応四年正月

袋入 け一五六

(御拂切留帳 御余慶方

堅218 一冊

村々借入金利足、操廻礼金等)

255 ほか 一綴 (七通)

諸向内預御拂切留帳 証文添 御余慶方 慶応四年二月

堅220 一綴 け一四七
244 (一冊三通)

弘方御金奉行

被下物之内返上納金請取証文綴 鹿野外守・関山平治・湯本十学外 足輕奉行宛 嘉永六年九月〜安政五年六月

け一五五

(出府御借人両金拾代半額、御預所御用金出御手充、詰番出府被下物、持逃之松原者差送入料)

246 ほか 一綴 (一三通)

借入金内預証文綴 西村源藏 高田幾太、草間元司宛 嘉永六年七月〜同七年二月	248	(二綴) け 公三
焼失金銀銭引替 并 御拂切書類 嘉永六年六月〜安政二年(け一七六〜一八六一括)		
焼金銀御拂切書類		け 二五
1 御拂方伺書(先年元方御拂直段同様之處分方) 九月	宿紙 155	一通
2 金高書出 [未完、反古]	宿紙 155	一通
3 西村源藏用状(引替残焼失金銀差出添状) 御拂方宛 三月六日	宿紙 125	一通
4 焼金銀引替差引一紙 御拂方	横長 107	一冊
5 小納戸山上新作答書写[当夜当番出火事情] 嘉永六年六月	256	一通
6 御拂方焼失金銭取調書扣(御勝手方へ差出扣) 五月	横長 123 仮一冊	
7 到来焼失金銀送状扣 西村源藏 御拂方宛 三月六日	宿紙 125	一通
8 焼失金銀仕訳書扣	125	一通
9 焼失金銀仕訳書 一一月二日	136	一通
10 御拂焼失金銀請取書 紺屋町儀助 御拂方宛 卯一〇月	248	一通
焼金正金内突合書(五月〜十二月各月末ノ高)	横長 108 仮一冊 け 二〇	
御金掛用状(焼金之内拂立年月問合) 御拂方宛 八月二六日	宿紙 154	一通 け 二五
焼金御拂評議書類 安政二年		け 二七
1 御拂方伺書 八月	宿紙 155	一通
2 家老差図書 恩田頼母 弘方御金奉行宛 八月一日	155	一通
3 御拂方伺書 八月	宿紙 153	二通
4 家老差図書 恩田頼母 拂方御金奉行宛 八月一日	149	一通
5 御拂方伺書 家老差図書貼込 河原舍人 同前宛 一一月	宿紙 153	一通
御弘方申上書 取調書類共 [焼金銭御拂切願] 一一月	宿紙 153	五通 け 二六
焼金銭取調書	横長 109 仮一冊 け 二八	
弘方御金奉行用状 勘返状(深焼銀拂方協議) 三人 西村源藏宛 一一月一六日	宿紙 154	一通 け 二四
西村源藏用状(深焼銀除外、引替打歩、来月渡金為替) 三人宛 一一月二日	宿紙 124	一通 け 二三
焼金取調書 西村源藏 一一月六日	136	一通 け 二三
焼金銀引請入札 紺屋町儀助、馬喰町平七 御拂方役所宛 卯一〇月	151	一通 け 二六
中借金等差引高受取願書 山崎卓馬 七月	宿紙 150	一通 け 二五
借入金内預り証文(稲茂登弥一郎より借入金) 西村源藏 草間元司宛 安政六年九月	240	一通 け 八四
弘方御金奉行宛家老差図書綴	148	一綴
(役方物書早川鯉三郎誓詞ニ呼出) 望月主水 三月朔日		一通 け 五五
(詰番出府人へ被下物渡方) 恩田頼母 正月二日		一通 け 五六

〔役方物書小林茂治誓詞ニ呼出〕 同前 一〇月二四日

〔詰番出府人へ被下物渡方〕 同前 正月二日

〔役方物書三井久右衛門誓詞ニ呼出〕 小山田老岐 四月一〇日

〔勢州代参道中賄代渡方〕

〔同前〕

〔道中藥種料内借渡方〕

〔料理人へ庖丁代金渡方〕

〔勢州代参道中賄代渡方〕

〔詰番出府人へ被下物渡方〕

〔同前〕 恩田頼母 一二月晦日

〔勢州代参道中賄代渡方〕

〔伊勢町重太郎拂方御徳居申付〕 望月主水 安政三年一月朔日

〔出府人へ被下物之儀御徒士申上〕 寅一二月

〔詰番出府人へ被下物渡方〕 恩田頼母 正月八日

〔内容不明〕 同前 一二月三日

〔同前〕 望月主水 正月六日

〔同前〕 望月婦一郎 六月一八日

京都飛脚増入料勘定一紙 賃銭請取書添 田嶋久吉 勘番所宛 明治二年九月

○中借証文

御時拝借証文綴 西村源藏宛 天保七年六月〜文久三年二月

〔御遺骸在所御供、療養人参代、父母看病入用、医学修業、貞松院様在所御供、御参府御供、剣術免許料〕

中借証文〔御用〕 水井忠藏・春日儀左衛門 関口又十郎・小崎孝作外三人宛 天保九年一〇月

中借証文〔差掛御用〕 竹村金吾 関口又十郎宛 天保一五年一二月

中借証文綴〔同前〕 同前宛 天保一五年一二月 弘化二年二月

中借証文綴〔馬飼料刈大豆其他買上代〕 同前宛 嘉永六年一〇月〜一二月

中借証文綴 同前宛 嘉永七年正月〜二月

〔同前、学校入料、鉄砲角場普請入料、御厩飼料小屋屋根葺替入料〕

中借証文綴 湯本十学・鹿野外守宛 安政二年七月〜十二月

〔学校入料、馬飼料刈大豆其他買上代〕

中借証文綴 関山平治・三村大之助外宛 安政三年正月〜二月

〔馬飼料買上代、御殿向畳表替入料、篠原良意拝借物見窓其他普請大工賃〕

中借証文綴 同前宛 安政四年一〇月〜十二月

〔御参府入料、御進物御礼品々入料、馬飼料買上代、海老屋定八当已扶持代〕

226 ほか 一綴 け1000 (二五通)

228 一通 け 五九五

246 一通 け1045

249 ほか 一綴 け1046 (九通)

247 ほか 一綴 け1033 (二通)

250 ほか 一綴 け1033 (一六通)

247 ほか 一綴 け1034 (五通)

248 ほか 一綴 け1035 (六通)

245 ほか 一綴 け1036 (五通)

中借証文綴 同前宛 安政四年二月、安政五年一〇月～二月 （稻荷山・杭瀬下新田両村境論一件旅宿入料、馬飼料買上代、白山彦五郎・山家屋熊次郎當年扶持代） 255 ほか	一綴 け〇三 （五通）
中借証文綴 同前宛 安政五年二月～同六年二月 （海老屋定八去年扶持代、馬飼料買上代、御趣意拝借取延上納分） 256 ほか	一綴 け〇六 （四通）
中借証文綴（賄所入料） 西村源藏・谷口左仲外宛 万延元年二月 256	一通 け〇元
中借証文綴 同前宛 万延二年正月～二月 （賄所入料、白大豆・小豆買上代、西樂寺銅鐘鑄直入料、御趣意拝借取延上納分、滯扶持代金） 254 ほか	一綴 け〇四 （三通）
中借証文綴 谷口左仲・福田小平太外宛 文久三年正月～二月 256 ほか	一綴 け〇三 （二七通）
（滯扶持代金、飛脚手充金、武器新造代、御前様・貞松院様住居向普請入料、武靖大明神祭礼奉納料） 中借証文綴 福田小平太、池田富之進外宛 文久四年正月～二月 255 ほか	一綴 け〇四 （六六通）
（滯扶持代、普請方入用、可年姫様離棚大工賃、上京道中諸入用、御前様附女中江戸行道中諸入用、御前様・貞松院様御殿向其他普請入用、砲術修業手充、賄所入料、用夫給金、飛脚手充金等） 中借証文綴 西村源兵衛・池田富之進外宛 元治二年正月～二月 256 ほか	一綴 け〇五 （八六通）
（貞松院様住居向普請入用、武器類新規出来入料、用夫給金、丹波嶋村高札場普請入用、用水堰自普請村々へ被下木代等）	
中借証文綴 池田富之進・堤常之丞外宛 慶応元年一〇月～同二年一〇月 255 ほか	一綴 け〇五 （五八通）
（初切米代、用夫給金、御殿所々普請入料、武器類新規・買上代、和田橋普請入用、千曲川川除普請入用等） 中借証文綴 池田富之進・赤沢内藏助外宛 慶応三年正月～二月 256 ほか	一綴 け〇〇 （九四通）
（同前、犀川川除普請入用、大銃置場小屋受負大工賃金、寺院合力初代、京都詰初代、京都臨時夫役手充等） 中借証文綴 同前宛 慶応四年正月～二月 252 ほか	一綴 け〇〇 （三三三通）
（千曲川・犀川川除入用、武器類新規・修復入料、京都割返、家中扶持代、用夫給金、役料初代、用紙・蠟燭買上代等） 中借証文綴 同前宛 明治二年正月～五月 251 ほか	一綴 け〇六 （九一通）
（馬飼料買上代、初切米代、名主給初代、京坂御用達へ被下扶持代、寺院合力初代、諸川除普請入料、用紙蠟燭買上代、武器類修復入料、村町郡役被下代金等） 中借証文綴 池田富之進・長谷川直太郎外宛 明治二年五月～二月 250 ほか	一綴 け〇七 （六六通）
（甲府出張手充、初切米代、武器類修復入料、馬飼料買上代、松原者浮扶持、千曲川川除入料、用紙・蠟燭買上代等） 中借証文引替切手綴（焼失書替分） 鹿野外守・湯本十学・関山平治 250 ほか	一綴 け二七五 （一七通）
（千曲川・用水堰普請入用、銅山入料拝借金、武器類入料、白山彦五郎等へ被下扶持代等）	

○内借証文

内借証文預り手形綴 宮下但美・安藤右膳等 千喜良三吉・白井平左衛門等宛 文政九年十二月〜万延元年閏三月

一綴け二八六

(内借・時拝借・拝借各証文の請取、御腰物拵代、羽織合羽代金等)

122
243 (四七通)

内借証文綴 樋口一角、西村源藏、福田小平太等宛 天保七年二月〜文久二年十一月

一綴け二七二

(若御前様附女中切米并臨時入用、同常用、新規具足代、若殿様御用、鉄砲入料、御借馬道中入料、奥女中永暇被下金、蘭書買上代、日光參詣御供用意金、御預所役所附届御用、貞姫様・晴姫様賄料、晴姫様婚礼入料、郡代借入金上納包極料、御側御用、若殿様御乗出入用、陣羽織入用等)

245 ほか (八九通)

内借証文綴 長井主計・西村源藏等宛 天保八年〜文久元年

一綴け二七三

(御用、御内用、産物会所所用等)

宿紙混
131-172 (一六通)

内借証文綴 西村源藏等宛 天保一三年十二月〜文久三年正月

一綴け四八五

(旗新造入用、上納金改料、西洋訳書買上代、御留守居同席招待入料、長屋普請入料、長屋引移入用、馬具代、塩崎村康樂寺拝借分請取渡、藤田繁之丞妻死去入用、引渡入在所差送り入用、日光御使者道中困金、役方用紙代、鉄砲類新造入料、合葉買上代、領地利物差越道中手充、医術修業手充、大風雨災長屋潰損手充、太田陣屋詰用意金、勤向要用、短刀修復料、剣術修業入料、將軍宣下濟名代使用入用、豊隆院様葬送御供入用等)

132 ~ 317
(二二六通)

日光御一件御内借証文綴 御金方(若殿様日光供奉御供人等借用) 佐藤安喜宛 天保一四年四月

貸入 一綴け二九六
288 ほか (八通)

内借証文綴 弘化二年〜文久三年

一綴け二九六

(大砲入料、文武方入料、切米前借、臨時出役等入用、台所賄手充等)

288 ほか (八〇通)

内借証文綴 御拂方(関山平治、湯本十学外宛) 嘉永六年二月〜万延元年二月

貸入 一綴け二八二

(判物入箱等一式代、井戸梓請負手間代、教練角の入料、屋根葺料、学校入料、出府道中手充、荷物上包入料、買物所入料等)

288 ほか (一七通)

内借証文(荷物会所にて御用金類紛失に附送金各預主内借措置) 片桐重之助・高野覚之進宛 安政五年八月〜九月

288 ほか (一三通) け二四六

内借証文綴 万延二年三月〜二月

貸入 一綴け二九二

(順操院足輕出府手充金、奥女中婦府手充金、当用入料、買上物入料、参府品々入料、松月院厨子入料)

288 ほか (七通)

内借証文綴 文久元年二月〜慶応二年三月

一綴け二四六

(銀座前借返納金、切米金前借、日光御供荷物賃金、御在所出立手充、帰国道中路用雇人馬代、馬具買上代、御帰城道中困金、預所入料、産物開業入用、役方用紙代、大殿様湯治御供入料、英国銃買上代、台場詰手充)

288 ほか (三四通)

内借証文綴 文久二年五月〜二月

貸入 一綴け二七〇

(出府手充金、荷物給賃金、白鳥明神祭礼神楽入料、殿様御星供祈禱入料、銅錫買上代、上ヶ屋村高札場建替入料)

288 ほか (一一通)

<p>内借証文綴 文久二年二月〜同年二月 貸入 一綴け二三</p> <p>(荷物給賃金、貞松院様仮住居普請入料、急出府路用、雷火管粉製入料、順操院様住居向普請入料、御前様当用、大銃鑄造焚炭代)</p> <p>155 ほか (四五通)</p>	<p>内借証文綴 (急御参府) 文久三年三月 貸入 一綴 け二六</p> <p>155 ほか (四通)</p>	<p>内借証文綴 文久四年正月〜二月 貸入 一綴け二三</p> <p>155 ほか (三九通)</p>	<p>(荷物給賃金、帰城道中入料、御前様居間普請入料、飛脚増手充)</p> <p>155 ほか (三九通)</p>	<p>御上京道中入用内借証文 元治元年五月〜九月、同年三月 け二五 二二五</p>	<p>(道中囲薬種料、道中囲金、宿々問屋等へ被下目録金、人馬賃錢、道中賄代)</p> <p>225〜250 一通</p>	<p>内借証文綴 元治二年正月〜二月 貸入 一綴け二九</p> <p>155 ほか (五五通)</p>	<p>(荷物給賃金、上京諸入料、貞松院様出府荷物入料、蔵屋敷屋根葺手間賃)</p> <p>155 ほか (五五通)</p>	<p>内借証文綴 慶応二年正月〜二月 貸入 一綴け二六</p> <p>155 ほか (七一通)</p>	<p>(勢州代参道中囲金、荷物給賃金、台所入料、御殿御門長屋普請入料、水内橋修復材木杣賃金、長国寺屋根修復入料、買物所入料、飛脚手充金、御帰城品々買物代)</p> <p>155 ほか (七一通)</p>	<p>内借証文綴 慶応三年正月〜七月 貸入 一綴け二三</p> <p>155 ほか (五四通)</p>	<p>(買物所品々入料、荷物諸賃、御用状箱江戸差立入料、水内橋修復出役人賄入料、台所入料、諸川除普請入料、御殿其外普請入料、大銃修理入料、奥女中妊娠用意物入料)</p> <p>155 ほか (五四通)</p>
<p>内借証文綴 慶応三年七月〜二月 貸入 一綴け二三</p> <p>(新御殿普請大工賃、荷物給賃金、恵明寺稲荷宮・長国寺普請品々買上代、御用状箱江戸差立入料、お満佐様参宮御七夜祝入料、上京道中被下物、諸川除普請入料)</p> <p>155 ほか (九〇通)</p>	<p>内借証文綴 慶応三年五月〜同四年四月 一綴け二六</p> <p>155 ほか (一冊)</p>	<p>(宿々駄賃帳 真田保磨内高坂勝作 四月 横長125 (一冊)</p>	<p>御茶買上代請取、浮扶持方、臨時出府人数賄入料、大御前様賄料、貞松院様賄料、足輕砲術稽古入料、飛脚手充、深川屋敷辻番給金其外、殿様仕切金、道中供馬薬用并查代) 250 ほか (一五一通)</p>	<p>内借証文綴 慶応三年一月〜同四年三月 一綴け二五</p> <p>横長125 (四冊)</p>	<p>(御台場御手充内借受取帳、その他)</p>	<p>江戸御抱仲間給金、在所帰郷賄代、荷物会所入用、大御前様発駕入料、賄所手段金貸出、武具方調役給金、南部坂辻番給金、合衆代、砲術等修業人帰郷手充) 255 ほか (四六通)</p>	<p>内借証文綴 慶応三年一月〜同四年八月 一綴け二四</p> <p>155 ほか (一冊)</p>	<p>(武具方荷物才領道中路錢手充、官軍御用荷物、松買上代、買物所入料、御預所御用宿継賄代、松原者雇給金、玉川上水普請金、銃買上代、浮扶持代)</p> <p>255 ほか (一二三通)</p>	<p>内借証文綴 慶応四年正月分 貸入 一綴け二五</p> <p>横長125 (一冊)</p>	<p>(宿々駄賃帳、茶代并小拂勘定帳)</p>	<p>舶来紙并ライフル散彈買上料、臨時出府人数賄入料、貞松院様賄料、銃買上料、治療人参代、荷物会所入料、深川御貸附所御用) 255 ほか (三六通)</p>

内借証文綴 慶応四年正月〜四月

袋入 一綴け二七

(品々買物代、荷物給賃、臨時出府道中閉金、台所
入料、勅使下向人馬繼立入用、上京道中入料、川
除普請入料、東征官軍賄代品々買上代、牢屋敷修
復賃錢)

二五ほか(七〇通)

内借証文綴 慶応四年三月〜四月

一綴け二四

(江戸抱仲間給金等、大殿様附女中菜銀、諸色高直
手充、日雇賃金、甲府表荷物送り入料、御廄出方
手段金、在府役人松代帰国手充、諸銃買上料)

二〇ほか(三九通)

内借証文綴 慶応四年三月、明治二年四月

袋入 二綴け二四〇

(定府長詰之面々御在所表差遣候付拝借金相渡印判
帳

横長二四(一冊)

浮扶持方代金、荷物賃、玄米買上代、月給并帰り
手充、御用紙代、西洋馬具代、買物所入料、会津
降伏人預り入料)

二〇ほか(五九通)

内借証文綴 慶応四年四月

一綴け二三

(諸砲筒買上代、浮扶持方代金、在所へ荷物送入料、
賄所手段金貸出)

二〇ほか(三四通)

内借証文綴 慶応四年四月〜明治二年三月

一綴け二三

(諸銃砲買上料、合葉・銃磨紙買上料)

二〇ほか(九七通)

内借証文綴 慶応四年閏四月〜七月

包紙入 一綴け二四

(臨時出来物大工木挽雇賃金、飛脚賃錢手充、台所
入料、東山道総督へ使者出立入料、大銃製薬品々
入料、根附時計買入料、甲府出張賄代、荷物給賃
金、牢屋修復入料、買物所入料、於よし様箸祝用
意物入料、小銃・大銃品々入料、京都へ早足之者
遣入料、玉薬箱製作大工等賃金)

一五ほか
(二〇九通)

内借証文綴 慶応四年五月

一綴け二三

(飛脚手充路錢、浮扶持代、横浜出張入用、台所入
用、官軍荷物入料、足輕・松原者雇賃錢)

二〇ほか(四二通)

内借証文綴 慶応四年六月〜七月

一綴け二〇

(道中閉金、合葉買上料、繩莖買上料、荷物会所入
料、足輕・松原者雇賃錢、飛脚道中賄路錢手充、
武具方荷物才領道中路錢手充、台所入料、官軍御
用荷賃、雷火管鉛等品々買上料、元込銃買上料)

二〇ほか(六九通)

内借証文綴 慶応四年六月、一一月

一綴け二二

(飛脚道中諸入料、買物入料、武具方荷物賃、足輕
浮扶持代、短銃買上代、御台場賄方船手方入料、
官軍御用荷物賃、横浜表買上物代)

二〇ほか(一〇通)

内借証文綴 慶応四年七月〜一二月

袋入 一綴け二三

(飛脚路錢手充、買物所入料、荷物給賃、荷物上包
入料、越州へ早足之者遣入料、組下之者道中仕切
賄代、大小銃製薬入料、急出府・臨時出張入用、
玉薬箱製作入料、硝石製入料、領下高札板買上料、
台所入料、大検見昼泊雑用代、犀川川除普請入料、
学校文学所修復大工等賃金并買上物代、西洋館修
復入料、砲彈入料、於満佐様與服物其外入料、大
小銃彈藥入料、官軍通行助入足・手附等出役入料、
御出馬入料、上京御供入用、髮結手充、大病院買物
所藥種其他入料)

一五ほか
(三〇三通)

内借証文綴 慶応四年九月

袋入 一綴け二六五

(官軍御用荷賃、六月中買物方入料、南部坂御殿向
其外修復入料、荷物附添手充、舶来合葉買上代、
紙管込台買上代、繩莖買上代、銃鑄形買上代、鉛
買上代、松原者手充、御賄所御手段金、浮扶持方、
荷物会所入用、台所入用、佛蘭西書類買上代)

二〇ほか(五四通)

内借証文綴 明治元年一〇月

(日雇賃錢、官軍御用荷賃、買物入料、賄所入用、浮扶持方代、喇叭吹修業入料、書院等屋根修復入料、台所品々入料)

袋入 一綴け二七
255 ほか(五〇通)

内借証文綴 明治元年一二月

(南部坂御殿向屋根修復入料、表御門修復大工等賃銀、即刻立飛脚増手充、松原者日雇賃錢、荷物賃、喇叭修業手充、町人日雇代、台所屋根修復入料、御買物所入料、飛脚道中路錢、台所品々入料、足輕浮扶持方代)

袋入 一綴け二六
23 (五九通)

内借証文綴 明治元年一二月

(喇叭伝師道中仕切賄代、材木類入料、台所買上物代、玄米買上代、喇叭修業手充、飛脚路錢手充、足輕増扶持、御預人京都護送入用、足輕浮扶持方代)

袋入 け二六
22 ほか(二〇八通)

内借証文綴 明治二年正月

(飛脚路錢手充、荷物給賃金、北陸道總督通行入料、御側女中妊娠ニ付用意買上物入料、台所臨時入料、大小銃製藥所其他修復入料、大病院台所入料、大蓮院様位牌厨子入料、学校入料、御馬道中入料、京都往來入料、牢屋普請品々買上代、御出生様用意物入料、新御殿普請入料、大施餓鬼入料、土官学校入料、智光院様葬式入料)

袋入 け二三
125 ほか(二二四通)

内借証文綴 明治二年正月

(京都行道中入料、学校御用書物代、飛脚道中路錢手充、御役方入料、買物所入料、台所臨時入料、荷物会所入料)

袋入 一綴け二九
28 ほか(四一通)

内借証文綴 明治二年二月

袋入 一綴け二七

(台所臨時入料、即刻立飛脚増手充、足輕浮扶持方代、買物所当用并臨時入料、荷物才領路錢、台所買上代)

255 ほか(四〇通)

内借証文綴 明治二年三月、四月

(足輕浮扶持方代、台所入料、足輕・松原者日雇入料、買物所当用入料、玄米買上代、人民表論大意其他書物買上代、公議人集会入料、月給手充、会津降伏人御預困金、背広スホン等入料、サアベル代金、荷物送入料、横浜行人入料、御役方用紙代)

袋入 一綴け二五
255 ほか(二一九通)

内借証文綴 明治二年五月

(内預金受取、台所入料、買物所当用入料、浮扶持代、玄米買上代、荷物賃、町人日雇并月抱賃代、足輕・松原者日雇代并増手充、月給、御東行御供入料、御預人西京護送入料、御用紙買上代、荷物送入料、甲信越出兵入費御下ケ金入料)

255 ほか(六三通)

内借証文綴 明治二年六月

(買物所当用入料、在所表へ早追道中入料、道中両替相場難渋ニ付、台所入料、月給、玄米買上代、荷物送入料、彈正台筆生動向差支入用、金札相場差損難渋ニ付、飛脚道中手充、月抱給金出精相動候者手充請取証文)

255 ほか(八七通)

内借証文綴 明治二年七月

(飛脚并荷物才領道中往來手充、荷物送入料、外科療具購求ニ付、台所入料、御東行荷物、御供日雇賃金、御客招待入料、玄米買上代、十文字槍新調代、買物所当用入料、月給、西洋夏服新調代、砲并彈丸買上代、坂下御門等出張警衛入料、御乗切之節御供押以下御手充御内借寛)

255 ほか(八三通)

横長 128 (一冊)

袋入 一綴け二三

袋入 一綴け二四

袋入 一綴け二四

内借証文綴 明治二年七月〜一月 貸入 一綴け二五

(台所入料、大病院髪結手充入料、荷物給賃、招魂場石碑受負人足入料、ライフル修復入料、買物所入料、飛脚増手充、士官学校入料、智光院様石碑請負金、大検見昼泊雜用代、於よし様・於ます様呉服物其外入料、牢屋修復入料、小銃製業入料、大股様葬式ニ付職人賃銀并買上物代金、文聰院様葬式ニ付石棺代金大工等賃銀、諸銃修復入料、新道普請入料)

153 ほか (七七通)

内借証文綴 明治二年八月 貸入 一綴け二五

(御乗切之節御供押以下江御手充被下寛)

横長 21 (二冊)

荷物送入料、月給、台所入料、御帰藩荷物賃金、御東行道中入料、足輕・松原者日雇代、東京詰上下人数調業料、玄米買上代、御駕籠手廻之者着服類入料、坂下御門等警衛出張手充、道中筋両替相場ニ難渋手充)

255 ほか (九一通)

内借証文綴 明治二年九月 貸入 一綴け二五

(玄米代、月抱之者暇出被下金、台所入料、買物所入料、足輕・松原者雇代并増手充、用紙代、荷物送入料、施条砲并前車買上代、学校入料、坂下御門等警衛買上物入料)

244 ほか (三二通)

内借証文綴 明治二年一〇月 貸入 一綴け二五

(台所入料、引戸駕籠買上入料、瓦師雇御用代、坂下御門等警衛賄方入料、夫給金、銃買上入料、浮扶持代、買物所入料、蒲団買上料)

244 ほか (三五通)

内借証文綴 明治二年一一月 貸入 一綴け二五

(坂下御門等警衛買上物入料、北越御入費御下ヶ金、喇叭修繕代、飛脚等路錢手充、甲越出兵入費御下ヶ金、買物所入料、月給、台所入料)

245 ほか (五〇通)

内借証文綴 水野清右衛門・酒井市治宛 明治二年一一月〜一二月 一綴け二五

(町賄其他臨時台所入用、下筋手充、買物所入料、大病院台所入料、城地困川除普請入用、根来氏娘御産中被下物、帛宿取締所焚炭燈油入料、買上粉代受取書 宮下卯八郎 三年五月)

245 ほか (一〇通)

内借証文綴 明治二年一二月 貸入 一綴け二五

(坂下御門等警衛買上物入料、北越御軍費御下ヶ金、賄方入料、玄米買上代、月給、浮扶持代、台所入料、小銃組道中賄代、銃砲買上代、西洋馬具買上料、足輕・松原者増手充)

244 ほか (六二通)

内借証文綴 明治三年正月〜二月 貸入 二綴け二五

(深川万年町組合辻番請負金、借入金利分返済、預所御用着服料、鉄沓買上代、買物所当用入料、坂下御門等警衛賄方買上物代、月給、荷物送入料、浮扶持代、台所入料、歩兵演範仕立料、助郷一件願立入料、年中普請入料、玄米買上代)

宿紙混 248 (七三通)

内借証文綴 明治三年五月〜六月 貸入 三綴け二五

(日誌買上代、書物買上代、交際公費、台所入料、喇叭修業滞留中入料、諸銃入料、買物所入料、飛脚并才領手充、藩印新造入料、御預り村上落土帰藩拜借金、玄米買上代、公議人屋唐紙張替修復入料、桃灯新調料)

宿紙混 240 ほか (九六通)

内借証文綴 明治三年七月〜九月 貸入 一綴け二五

(役方用紙代、交際公費、月給、日誌其外書物買上代、荷物送入料、藥種買上代、蚕種仕込にて大蔵省拝借金上納分、出水地廻村才領組入用、囚人差立道中手充、買物所臨時入料、台所入料、花管買上入料、銃買上料)

244 ほか (一一一通)

内借証文綴 明治四年二月	一綴け二三	1 家老用状 望月主水 恩田頼母宛 八月八日	宿紙128	一通
(官員長野出張旅費、川普請検査役人賄入用、廻村役人賄料、旧藩献上金御下ケ、国役御普請入用金)	250 ほか (九通)	2 高田幾太伺書 (戌正月より四月迄品々臨時入用) 八月	宿紙128	一通
内借証文引替切手綴 (焼失書替分) 嘉永六年九月	袋入 三綴け二五	3 高田幾太伺書 (若殿様品々入用) 八月	宿紙128	一通
(差掛御用、石炭代、細工物入料)	宿紙128 ほか (三八通)	家老用状 (丑五月より八月迄入用御金出伺書回付) 望月主水 恩田頼母宛 三月二十四日	宿紙123	一通け九五
御金掛		御台所		
御金掛証文入袋 「袋のみ、紙背は金子預り証文」 慶応三年	二枚け三七	經節代料積書 (松本様答礼用) 肴屋中沢音治郎 台所役所宛 辰二月	275	一通け六
1 産物方助成金御貸出証文入		御買上物		
2 辰御上京御入料証文入		御用薦請取手形 御藏番半田藤右衛門 三井九郎 左衛門・金児総左衛門宛 文化二年三月	宿紙146	一通け七〇
御元方用状 (武具方買上代支拂金手当及有金報告) 御金懸宛 朔日	宿紙154 二通け四〇三	火事具注文書類 元治二年四月	袋入	け二三
御上京ニ付向々江相渡候印書入 御金掛 明治元年四月、同三月、同二年正月	袋入 け九三	1 買上物代見積書 并請取書 (火事羽織、烏帽子、其他) 坂屋嘉助、幾久屋伝兵衛等 丑十一月	277	二通
(出張内用金請取証文、同中借証文等)	270 ほか (一一通)	2 値段伺書	横長152 飯一冊	
御上京道中入料其他諸中借勘定書類 九月	156 ほか (一六通) 一綴け一〇五三	3 入札之内下直之方惣入料辻取調	122	一通
御勘定吟味		4 江戸・御在所掛合直段書写	187	一通
西正月方閏四月迄品々入用金調 寄出共 (品々臨時及若殿様分) 宮下兵馬 嘉永二年五月	162 二通け五五	5 火事羽織等仕様書	宿紙154 ほか	一通
品々御金出評議書類 嘉永三年	封筒入 け五三	6 葛籠取極直段書	宿紙142	一通
		7 葛籠細工内々申上書扣	150	一通
		8 海沼龍助口上書 文久二年閏八月	宿紙154	一通

9 羽織・頭巾寸法書并模様雛形 胴ノ代料積書 笹尾政次郎 正月 用状書拔 (鉛質上代繰廻方打合) 夏和村元右衛門歎願書 (御買上團蠟附送り方不行届之儀) 水野友作・片桐重之助宛 弘化二年七月 御金受拂書類 海沼辰男 明治二年二月 1 内借証文綴 高山純一郎宛 2 買上物請取書綴 (萌黄毛頭、江川笠等) 松本屋藤助、万年屋藤治郎、越前屋清治郎 御金受拂元 海沼辰男 明治二年二月二五日 1 内借証文綴 柘植彦六 高山純一郎宛 2 内借証文綴 (足輕松原者葬式料、飛脚手充・路錢、日雇代) 根井小右衛門 同前宛 3 已年夫給金請取書 榎本純達 同前宛 御奥元ノ役 御奥元ノ役勘定書類 山中鹿渡 万延元年 1 御用請取書類綴 (御納戸役用状、山中用状、表御納戸役用状を含む) 申閏三月〜九月 2 豊松様御出生日記書拔 御側御納戸 江府入料金請取手形 中俣一平 宮下謙大夫宛 万延二年二月〜五月 江府入料金請取手形 用状共 文久二年〜元治元年 1 中俣一平用状 (送金依頼) 宮下謙大夫宛 七月二二日 2 江府入料金請取手形 中俣一平 同前宛 戊辰四月、八月 3 江府入料金請取手形 同前 同前宛 亥三月、四月、八月 4 江府入料金請取手形 同前 同前宛 元治元年三月 時借金請取書 岡野弥右衛門 宮下謙大夫宛 文久四年二月 荷物会所 御用金才領入料勘定一紙 賃錢請取書綴込 飛脚才領組中村初右衛門外一人 荷物会所宛 安政六年正月 荷物会所掛り伺書 売上書添 (東京行荷物延代) 明治三年七月 計政庶務掌伺書 計政副主事貼添 (荷物会所返上代り場所) 明治三年九月 荷物會計掛申上書 (自普請箇所寸法) 明治三年九月 宮繕司伺書 入料積書并大工入札共 (二元御荷物会所火工所ニ模様替) 明治三年一〇月 計 監 近藤権右衛門伺書 竹内新七答書貼紙 (荷物増賃錢) 二月 1 中俣一平用状 (送金依頼) 宮下謙大夫宛 七月二二日 2 江府入料金請取手形 中俣一平 同前宛 戊辰四月、八月 3 江府入料金請取手形 同前 同前宛 亥三月、四月、八月 4 江府入料金請取手形 同前 同前宛 元治元年三月 時借金請取書 岡野弥右衛門 宮下謙大夫宛 文久四年二月 荷物会所 御用金才領入料勘定一紙 賃錢請取書綴込 飛脚才領組中村初右衛門外一人 荷物会所宛 安政六年正月 荷物会所掛り伺書 売上書添 (東京行荷物延代) 明治三年七月 計政庶務掌伺書 計政副主事貼添 (荷物会所返上代り場所) 明治三年九月 荷物會計掛申上書 (自普請箇所寸法) 明治三年九月 宮繕司伺書 入料積書并大工入札共 (二元御荷物会所火工所ニ模様替) 明治三年一〇月 計 監 近藤権右衛門伺書 竹内新七答書貼紙 (荷物増賃錢) 二月	四枚 一通け六三 一通け五三 一通け六 袋入 け四四 156〜一綴 245 (一〇通) 140〜一綴 247 (四通) 袋入 け一四三 158〜一綴 167 (一三通) 158 一綴 (三通) 243 一通 袋入 け五四 宿紙鹿 一綴 159 ほか (六通) 堅 352 飯一冊 143 五通け六〇	け五 一通 一通 一通 二通 二通 二通 一通け六三 一通け一五 一通け七七 一通け一三 宿紙 156 一通け六四 宿紙 156 一通け六四
---	---	--

計監伺書〔中借証文割印押捺可否〕	一二月	155	一通 け 六六	2 関田莊助用状〔贖金流布金札不通用之旨〕	八月九日	155	一通
計政副主事				3 酒井市治用状切抜		156	一通
内預証文〔会津降伏人御預り一条中借〕	佐川又八郎 岡野敬一郎宛 明治二年二月	251	一通 け 七三	酒井市治用状〔引替金札手段一条、川除普請入料其他〕	水野清右衛門宛 六月二八日	152	一通 け 五三
中借金之内返納請取証文	池田富之進、中島渡浪等 岡野敬一郎、岸善八等宛 明治三年正月、同四年七月	250 ほか	八通 け 八三	柘植嘉兵衛用状〔正金引換其他〕	草間一路・佐藤為之進外一名宛 七月朔日	150	一通 け 四〇〇
中借金之内返納請取証文	同前 同前宛 明治三年九月、一〇月	258 ほか	四通 け 八四	正金引換代金札内預証文	明治五年九月	袋入	
東京買上物代請取証文〔学生局書籍、稽古道具〕	酒井金太郎 岸善八宛 明治三年二月	244	一通 け 九四	内預り証文綴	岡野敬一郎外宛 慶応三年七月〔明治三年六月〕	245 ほか (一四通)	四綴 け 三六
御手許御下ヶ金内預証文〔山中筋窮民救助〕	水井市治 岸善八宛 明治三年四月	248	一通 け 九六	金札御中借通	鈴木富治外 酒井・水野宛 已六月	横長 124	一冊 け 元
上納金請取証文〔中沢村深合谷作手形御下ヶ金官札引替金〕	池田富之進 岡野敬一郎宛 明治三年閏一〇月	249	四通 け 九〇	金札正金引換評議答書留		126 (一枚)	一綴 け 五二
国役普請金官札引換中借之儀評議書類			け 六六	関田莊助用状	佐藤為之進ほか三人宛 六月五日	119	一通 け 五三
1 出納掛伺書	計政副主事添伺 五月	157	一通	保字小判預り証文〔才覚金差出之引当として〕	明治三年		け 六六
2 差図書	計政副主事宛	160	一通	1 計政方附弁治郎	酒井・水野宛 六月	246	一通
○金札・正金				2 紺屋町飯島新兵衛	計政役所宛 六月	277	一通
佐藤為之進宛用状	写共〔甲府表金札不通用〕 十郎兵衛 勘左衛門 明治元年十一月	157	三通 け 四二	3 堀内荘作	水野・月岡宛 六月	248	一通
前島友之進用状	添二通 明治二年		け 六七	4 須坂町牧新七	水野・野中宛 明治四年三月	320	一通
1 前島友之進用状〔関田氏用状回送添状〕	草間一路・佐藤為之進宛 八月一〇日	164	一通	保字判貨幣中借受取并返納証文〔高田表より官札借入引当用〕	明治四年		け 五八

1 中借請取証文 富永新平 徳高広馬・中島渡浪 外二人宛 四月	265	四通	4 (全国銭札引替中借渡し残分上納) 玉井浅之進・鈴木富治	一通
2 保字小判・小粒受取証文 徳高広馬 富永新平宛 十一月	220	一通	上納証文綴 同前宛 明治五年二月〜三月	263 ほか (一綴) け三五四
会計懸伺書 (上田表斎藤多十郎より借入金引当古金引戻) 三月	157	一通 け一五〇	(軍用之口、品々拂物代、拝借代金上納)	
司 金			会 計 掛	
辰二月中表御納戸品々入料勘定一紙 請取手形添 (木綿・筆炭等) 飯島与作 池田富之進・長谷川直太郎外宛 明治二年三月	244	四通 け九三	会計掛書類綴 (廃藩後諸入料拂金仕法、歳入歳出取調等) 明治四年	154~170 (三綴) け五九
内預ケ金引戻請取証文 中嶋渡浪・池田富之進・徳高広馬宛 明治四年		け九四	長谷川深美書状 (廃藩之儀対応) 富永新平宛 七月一七日	159 一通 け七六
1 (職祿并村々郡役初代渡残分) 入弥左衛門・青山喜平次 四月	248	一通	宮沢善治用状 (長野県へ引継事項問合返事) 同前宛 一〇月三日	160 一通 け二五二
2 (内容不明) 水井市治 一二月	255	一通	旧司取竹村安敏預ケ金御下ケ願書類	け五二
諸向上納金証文綴 中島・徳高・野本力太郎宛 明治四年八月	247 ほか (一綴) け一四六	一通 け一四六	1 竹村子習願書写 安敏代 九月	154 一通
(御駕籠手廻之者揚人手段金、商法方諸税金、諸職人冥加金、藪竹立木其他御拂冥加銭、職祿残等差出金、全国銭札製造残紙拂代、馬差遺道中入料中借分)			2 旧監督御尋物答書 一二月	158 一通
司金方へ上納証文綴 同前宛 明治四年一二月	255 ほか	一綴 け九五	3 旧会計方御尋物答書 六月	154 一通
1 (戸隠神領上野村等夫食拝借中借金返納) 矢野唯見		一通	4 手段金品々請拂御元帳 竹村慶次郎 明治四年五月	231 一冊
2 (軍用金中借返上) 水井市治		一通	5 御馬等御拂代金差引取調書写 玉井浅之進	148 一通
3 (諸職人冥加金上納) 佐藤伊与之進		一通	6 御馬并馬具拂代金上納請取手形 佐藤伊与之進 竹村慶次郎宛 明治五年四月	253 一通
			7 御拂馬代金上納請取手形 同前 同前宛 明治五年五月	251 一通
			8 御拂馬具類代金上納請取手形 佐藤則通 竹村安敏宛 明治五年九月	254 一通

9 真峰小三郎差上一札 (御拂馬具代金割賦上納請合) 竹村慶治郎宛 明治五年正月	28	一通	買上用紙御立直段改之儀伺書類 明治三年	け 五二
10 鍛冶町真峰小三郎願書 (御拂馬具代金延納) 同前宛 明治五年九月	274	一通	1 用度属伺書 用度司貼添 四月	宿紙 153 一通
11 真峰小三郎申上書 (未納代金一部切捨願) 竹村安敏宛 明治一三年九月	275	一通	2 会津屋喜作見積書 (一番札直段比較値を下ケ札) 用度方役所宛 三月二十七日	141 一通
青山忠兵衛御内用御入料御下ケ金評議書類 明治六年		け 五四	3 紙屋忠兵衛見積書 同前宛 三月二十七日	156 一通
1 水野清右衛門申上書 長谷川唯見添伺 一〇月	150	一通	4 丁字屋喜三郎見積書 同前宛 三月二十七日	148 一通
2 水野清右衛門申上書 一〇月二三日	150	一通	5 新町村金兵衛願書 (漣立御用紙新直段申立) 同前宛 三月	262 一通
3 明治二年差掛り借入金ニ付品々御入料御取替金調帳 青山忠兵衛	横長 126	一冊	6 志垣村岡本広太・栃原村仲右衛門願書 用度司役所宛 三月	261 一通
○會計用度属			7 里穂苅村要藏願書 用度方役所宛 三月	263 一通
各役所入料金請取証文綴 (学校、御勘定吟味、司金局、計監方、東芹門常番、計政局、兵政局、御厩における燈油・雜巾・焚炭・縄等の代料) 宮下三郎治・宮入半之丞宛 明治三年・同四年	宿紙 155 ほか (一通) け 五六		用度属再伺書 用度司貼添 六月	宿紙 153 一通 け 五三
買上用紙御立直段更改伺書類 明治三年 (け五四〇~五四二)			中借証文 (彈丸、銃鉄入料) 松橋岩吉 武庫方役所宛 明治三年四月、同四年七月	263 三通 け 二〇九
三ヶ村差出楮直段申上書 四月	一綴 け 五四〇		用度司伺書 筆墨代中借証文添 (御下金) 明治三年七月、一〇月	145 ほか 五通 け 一〇四
1 用度属申上書	宿紙 153 一通		御役人乗込ニ付御賄其外入料中借伺書類 (民部省・巡察役人来藩)	け 一〇六
2 牧野嶋村三役人差上一札 御用紙役所宛 二月	261 一通		1 用度司伺書 一二月一八日	155 一通
3 新町村三役人差上一札 用度方役所宛 三月	260 一通		2 用度司伺書 一二月	153 一通
4 八幡村・丈石村楮取締役差上一札 紙役所宛 四月	278 一通		3 用度司伺書 (焚炭燈油等買上入料) 一二月一日	156 一通
			4 紺屋町旭屋惣左衛門願書 (御買上挑灯桐油代御下ケ) 一二月	255 一通

高岡村上沢徳右衛門箱訴願書 御尋物答書共
〔納炭代金御下々願〕 明治四年四月、五月 156 三通 け三三

賄入料

妻科村三役人願書〔出役人賄入料御下金願〕 元
宛 明治二年十二月 271 一通 け五

本陣役等御下金願書 入料書出共〔上田藩桜井純
藏等酒肴入料〕本陣田中慎十郎・町年寄岡田莊之助
郡政・市政役所宛 明治三年五月 278 二通 け四
138

荒神町島田喜太郎外願書〔林民部大丞等出張之節
諸品料御下金願〕中町相原米三郎・小田切伸介 松
代藩役所宛 明治四年五月 279 一通 け六

財政方役人用状（“その三”一六頁追補）

家老用状 恩田頼母・大熊五郎左衛門 矢沢將監・
小山田平大夫・望月治部左衛門宛 （嘉永五年二月
調に宝永五年と推定しあり） 包紙入

〔半知借上ニ付無役金も半減之事、其他〕 正月五日 157 一通 け二五

〔倉賀野にて拂米尤之事、二万両調達送金方、半知
物成粉拂代送金方〕 正月一九日 157 一通 け二五

〔納金報知、不用之侍足輕共帰すべき事〕 正月一九日 159 一通 け二五

〔拂米代金受領〕 正月晦日 149 一通 け二五

〔御金荷到着、無油断米指出之旨〕 正月晦日 155 一通 け二五

〔公儀被仰付百姓御用金ニ御納戸金貸下之事〕 閏正
月一六日 159 一通 け二五

〔御普請出来ニ付大熊発足、米送付方依頼〕 閏正月
二一日 157 一通 け二五

〔御城米六千駄拂、初切米二月十五日渡〕 閏正月二
七日 159 一通 け二六

〔町中御用金集方、未進金上納督促方〕 七月六日 156 一通 け二六

江戸勘定方用状綴 文蔵 片桐重之助・高野寛之
進宛 嘉永三年四月〜十二月 宿紙 140〜151（四九通）

江戸勘定方用状綴 文蔵、権兵衛 同前宛 嘉永
四年正月〜同五年二月 147〜245 綴 け二五
（六一通）

財用向勝手役用状 （嘉永六年〜七年カ） け三六

1 高田幾太用状 岡嶋莊藏・竹村金吾宛 一〇月
二四日 146 一通

2 高田幾太用状 別紙共 岡嶋莊藏・長谷川深美
宛 二月二日 151 一通

3 岡嶋莊藏・長谷川深美用状案〔前号返書〕 両
人 高田幾太宛 二月一八日 宿紙 150 一通

4 高田幾太用状〔郡代貸附金新規拝借之件〕 竹村
金吾・磯田音門宛 二月四日 157 一通

5 高田幾太用状〔大坂表宮下兵馬來書にて二千両
用達受合〕 同前宛 二月四日 148 一通

6 高田幾太用状〔大坂來状転送添状〕 同前宛 丑
二月七日 160 一通

7 宮下兵馬用状〔借入金一件〕 山寺源大夫・長谷
川深美宛 二月九日 148 一通

8 宮下兵馬用状〔同前〕 竹村・長谷川宛 一月
二八日 148 一通

9 宮下兵馬用状〔大坂表借入金難行事情、二千両
受合〕 高田幾太宛 二月一八日 148 一通

10 坂本斎助・同常之丞用状（江戸事情等） 重之助・高野寛之進宛 寅正月二十九日	168	一通
11 宮下兵馬用状（臨時入料御金出） 宛 二月九日 山寺・長谷川	150	一通
岡嶋莊藏宛用状類	け 六	
1 道橋方用状（御城水除普請村々冥加人足） 宛 四月二日 郡方	142	一通
2 竹村権右衛門用状 六月二日	146	一通
3 金井左源太用状 六月三日	宿紙 143	一通
4 某用状（家中借財調） 岡嶋・金井宛 六月三日	宿紙 148	一通
5 恩田靱負用状（竹実と小豆の食合にて善光寺領 死者有之旨） 六月二三日	宿紙 150	一通
6 家老差図書 恩田靱負 七月朔日	宿紙 155	一通
7 岡野弥右衛門用状 六月二日	150	一通
8 岡野弥右衛門用状 七月五日	150	一通
9 勘助用状 七月二日	宿紙 146	一通
10 善兵衛用状 七月四日	宿紙 146	一通
11 勘助用状 七月四日	宿紙 146	一通
12 小山田采女用状（左源太引込之儀） 七月六日	宿紙 153	一通
13 小山田采女用状 七月一四日	宿紙 148	一通
14 小山田采女用状 七月一四日	宿紙 148	一通
15 宮下源助用状（御用鯉一件） 七月一四日	151	一通
16 岡嶋莊藏用状 勘返状（郡方・勘定吟味役勤方） 金井左源太宛 七月一四日	宿紙 150	一通
17 岡嶋莊藏用状 勘返状 石倉源五左衛門宛 七月一七日	宿紙 150	一通
18 小松義兵衛・同文治書状（忤被召出之礼） 七月二〇日	宿紙 140	一通
19 岡野弥右衛門用状 七月二七日	153	一通
20 海藏用状 七月〇日	宿紙 150	一通
21 村方触状写（城内水除土手普請御手伝） 1号参照 六月	142	一通
22 （金井左源太）用状	宿紙 150	一通
23 小山田采女添状（別紙返却） 八日	146	一通
24 覚書（椿峯村咎之事、其他）	宿紙 150	一通
25 別紙（惣之進御金拂見込）	宿紙 151	一通
26 別紙	宿紙 151	一通
27 居宅類焼御届写 文化一四年四月	宿紙 151	一通
岡嶋莊藏宛用状類	け 七	
1 石倉富治用状（扶持方手取之儀） 一一月一三日	宿紙 148	一通
2 岡嶋莊藏用状 勘返状（前借金送付） 木村縫殿 右衛門宛 一七日	宿紙 150	一通
3 木村縫殿右衛門用状（前借金督促） 一一月一 七日	宿紙 153	一通
4 常田金平用状（国役普請見分用紋付箱挑灯拝借） 一〇月二日	宿紙 148	一通

5 御口之者拝借申入書〔前号にて公辺役人等宿泊ニ付〕一〇月二一日	146	一通	7 関山平治用状 一〇月二七日	宿紙 162	一通
前嶋友之進用状〔岸助蔵出府帰着ニ付切米渡方〕	宿紙 149	一通 け ㊦	8 権右衛門用状〔焼硝蔵場所差問無之〕 一二月九日	宿紙 150	一通
岡嶋莊蔵宛 一二月七日			9 関山平治用状 二九日	宿紙 156	一通
右源太用状〔知行所世話人変更〕 一一月二五日	159	一通 け ㊦	10 金井左源太用状 一一月一四日	147	一通
岡嶋莊蔵用状 勘返状 関山平治宛 一二月一日	宿紙 156	一通 け ㊦	11 小松原村源七病氣名代人名面	127	一通
岡嶋莊蔵宛用状		け ㊦	12 (申年) 亥年迄代料覚	宿紙 154	一通
1 矢沢監物用状〔今晚立寄方依頼〕 一二月三日	宿紙 149	一通	13 桑根井村三役人名面印鑑	127	一通
2 竹村金吾用状〔金子入用状回付〕 一二月七日	150	一通	14 享和二年川浚入料借増覚	宿紙 150	一通
3 片岡栄三郎用状〔句読師任命通報〕 一二月一日	146	一通	15 御飯米代積覚 申年	宿紙 152	一通
4 森木唱用状〔悴惣吾句読師助任命通報〕 一二月一日	156	一通	16 御切米代拝借上納差引覚	124	一通
岡嶋莊蔵宛用状類		け ㊦	17 御代官支配粉金高覚	宿紙 148	一通
1 岡嶋莊蔵用状 勘返状〔御用番へ差出書別紙回付〕 関山平治宛 一二月一〇日	宿紙 160	一通	岡嶋莊蔵・金井左源太連署用状 朱書勘返状 北沢源次兵衛宛		け ㊦
2 徳田五百人用状〔深沢村善左衛門かり豆〕 一二月四日	宿紙 153	一通	1 (三村晴山画業修行出府切米渡方) 一二月一八日 (同晦日返)	宿紙 150	一通
3 岡嶋莊蔵用状 勘返状〔別紙順達〕 金児丈助宛 一二月一六日	宿紙 151	一通	2 (原村伊藤 学差出金) 一二月二三日 (正月五日返)	宿紙 155	一通
4 岡嶋莊蔵用状 勘返状 金井左源太宛	宿紙 157	一通	3 (矢野倉等勤方及借入金) 一二月二九日 (正月五日返)	宿紙 156	一通
5 北沢源次兵衛用状 一二月一八日	宿紙 160	一通	4 (去申四月中矢代村栗佐村横田村僉議) 一二月三〇日 (正月一五日返)	宿紙 155	一通
6 前嶋友之進用状 北沢源次兵衛宛 一八日	宿紙 160	一通	5 (窪田十八出府代人) 正月五日	宿紙 156	一通

酒井市治取扱用状類 (け二六六〜二七八一括)

小野善四郎用状 別紙共 酒井市治・水野清右衛門宛 巳三月二日 153 一通け二七

某用状 (寺僧袈裟料) (矢野倉謙一郎カ) 酒井宛 三月五日 151 一通け二六

酒井・水野連署用状 関田恭藏宛 五月二日 宿紙153 一通け二六

家老用状 (酒井横浜金談) 別紙欠 大熊董 鎌原溶水宛 七月一〇日 163 一通け二五

熊五郎書状 (為替金下渡依頼) 草間一路・佐藤為之進宛 七月一四日 162 一通け二三

小野唯之進用状 (大坂會計官借入金及生糸蚕種拝借金) 酒井・水野宛 巳七月二九日 149 一通け二三

某權之助用状 (須坂増田屋より為替取組) 同前宛 八月一〇日 159 一通け二三

某利左衛門書状 (為替金下渡依頼) 兄宛 八月一〇日 159 一通け二四

某權之助用状 酒井・水野宛 159 一通け二五

計政副主事伺書 (出納掛申立之借入金承認) 一〇月八日 156 一通け二五

水野清右衛門用状 酒井宛 巳一〇月一日 宿紙152 一通け二六

金子請取証文 (降伏人御預り品々入料) 小野善四郎 酒井・水野宛 明治三年正月一〇日 246 一通け二七

拝借金返納請取証文 大塚谷平 羽尾村大谷幸藏宛 明治三年一二月二日 263 一通け二六

御藏粉米

粉方書類

粉方諸書類 (け一三二〜一三三五)

切米粉振替手形 (白井初平方借入金利息分) 木村帶刀 春日儀左衛門外宛 天保四年二月 156 一通け二三〇

御買上粉代金請取証文 三輪村久米吉・布施高田村大吉 御勘定所元ノ役所宛 天保七年二月 277 一通け二三

御買上粉代金請取証文 三輪村久米吉 同前宛 天保八年二月 272 一通け二三

善光寺御渡粉代金書類 151 一通 け二三六

1 粉代金請取証文写 後町村深美甚十郎・三役人 田沢喜兵衛・米山八百治宛 天保八年四月 151 一通

2 粉代金請取届書 深美甚十郎 三輪村名主宛 天保九年六月 149 一通

御買上粉代金請取証文 三輪村久米吉 御勘定所元ノ役所宛 天保九年五月 271 一通け二三

御拂粉入札綴 穀屋与作外 粉掛り役所宛 天保九年七月 150 (綴) 一通け二三四

大麦御買上請書 広田村円藏・直右衛門 粉方掛宛 天保九年十二月 155 一通け二三

御買上粉値段請書 (飯山御藏粉) 紙屋町戸佐久・福島村栄八 天保九年一月 148 一通け二三

長谷寺書狀〔当戌年供養料粉代金受取書送付添狀〕丸山平左衛門・水井忠藏外〔入宛 二月二五日 凶年別引当粉申上書案 郡方 天保一二年正月 水井忠藏・春日儀左衛門宛用狀	172	一通 け三三
1 〔翌三日評議寄合招請〕 二月一日	163	一通
2 〔買上粉代相場〕 六月二七日	宿紙 152	一通
3 〔飯山粉相場〕 一月三日	151	一通
4 〔御手充金支出手続〕〔宮本喜一郎カ〕 二月一八日	152	一通
5 〔印形差出添狀〕 二月二三日	宿紙 147	一通
6 竹村金吾用狀〔源大夫滞府手充金取計〕 九日	152	一通
7 竹村金吾用狀〔御金出依頼返書礼〕 九日	150	一通
某与一郎用狀〔須坂辺買上米値段取調〕 両君宛 二月一日	148	一通 け三三
家老差函書 岡嶋莊藏宛	宿紙 150	一通 け三六
岩下革用狀〔江戸割返前借分七納〕 粉方懸宛 二月九日	166	一通 け三九
御收納引方ニ付御尋物答書	宿紙 153	一通 け三三
粉米俵数等書付	153 ほか	五通 け三五
粉方掛書類		け三五
1 御蔵入粉伺下案 丑二月	宿紙 148	一通
2 御蔵入粉伺下案 卯年	宿紙 148	一通

3 御蔵入粉方掛伺下案 卯一〇月	宿紙 148	一通
4 粉納減俵願村々〔伊東代官支配下〕 巳年	宿紙 153	一通
5 巳暮粉代等請拂差引調 明治二年カ	宿紙 155	一通
6 蔵入粉調 午正月	宿紙 155	一通
7 代官別粉并粉代納高調	宿紙 155	六通
蔵米関係書類		
越後買上米請取証文 内借金高寛其 成本治左衛門外 水野清右衛門・窪田半弥外宛 明治二年九月	宿紙 156 242	二通 け三三
水野清右衛門・窪田半弥申上書案 俵数調共〔土蔵内之粉紛失届〕 一〇月二日	152 ほか	一通 け三六
穀留吟味書類〔出穀留及有穀改存廃検討〕		け二四
1 鎌原溶水用狀 岡野敬一郎宛 九月七日	156	一通
2 徳嵩広馬申上書〔前号添付、鎌原宛〕 九月七日	153	二通
○		
鎌原司馬拜借粉拂切評議書類 文政二年		け九七
1 金井左源太同書 七月	宿紙 159	一通
2 家老用狀 矢沢監物 金井左源太宛 七月一〇日	145	一通
3 助左衛門用狀 同前宛 一月一六日	147	一通
取上ケ錢上納一札写〔町方并町外融通御下粉拜借 穀屋行司・同惣代外 御勘定所元ノ役所宛 弘化二年一〇月	248	一通 け四八

小出重三郎申上書〔融通穀入上粉出来届〕 一〇月
紺屋町甚三郎答書〔御趣意米代金滞之事情〕 亥一
月

147 一通 一綴 二四三
147 一通 一綴 二四三

大里忠一郎用状〔善光寺融通米一件〕 九月

145・146 一通 一綴 二四五

粉米請拂積

御蔵粉拂積伺書并附札 御收納郡方 天保一四年
一〇月

宿紙142 一綴 一綴 二四六
横長110 (一冊一通)

御蔵粉拂積伺書并附札 同前 弘化二年二月

宿紙147 一綴 一綴 二四六
横長111 (一冊一通)

御蔵粉拂積伺書 同前 嘉永三年一〇月

袋入 一通 一綴 二四六
宿紙144

御蔵粉拂積伺書并附札 岡嶋莊藏・磯田音門 嘉
永四年一〇月

宿紙142 一綴 一綴 二四七
横長110 (一冊一通)

御蔵粉拂積伺書并附札 岡嶋莊藏・竹村金吾外二
人 嘉永五年一一月

宿紙148 一綴 一綴 二四六
横長111 (一冊一通)

御蔵粉拂積伺書并附札 竹村金吾・菅沼九兵衛
安政二年一〇月

宿紙142 一綴 一綴 二四七
横長111 (一冊一通)

御蔵粉拂積伺書并附札 竹村金吾外四人 安政三
年一〇月

宿紙142 一綴 一綴 二四八
横長109 (一冊一通)

御蔵粉拂積伺書并附札 同前 安政四年一〇月

宿紙143 一綴 一綴 二四九
横長109 (一冊一通)

御蔵粉拂積伺書并附札 竹村金吾外三人 安政五
年一〇月

宿紙143 一綴 一綴 二五〇
横長109 (一冊一通)

御蔵粉拂積伺書并附札 竹村金吾外四人 安政六
年一〇月

宿紙143 一綴 一綴 二五〇
横長109 (一冊一通)

御蔵粉拂積伺書并附札 山寺源大夫外三人 万延
元年一〇月

宿紙143 一綴 一綴 二五〇
横長109 (一冊一通)

御蔵粉拂積伺書并附札 山寺源大夫外三人 文久
二年一〇月

宿紙145 一綴 一綴 二五〇
横長109 (一冊一通)

西粉米書上袋 粉方掛 文久元年正月

袋入 一通 一綴 二五〇

1 玄米品々証文渡内訳覚 万延二年正月

横長110 一冊

2 粉品々証文渡内訳覚 万延二年正月

横長110 一冊

3 滞御扶持代金渡覚 文久元年二月

横長108 一冊

4 御蔵粉請拂上書上〔西正月十二月分〕 粉御
蔵方・三井清治・山本常馬〔御蔵奉行〕

宿紙143 一綴 一綴 二五〇
ほか

5 玄米請拂上書上〔同前〕 米御蔵方 西村大八郎・
伊東賢治外〔御蔵奉行〕

宿紙143 一綴 一綴 二五〇
ほか

戌粉米書上袋 粉方掛 文久二年

袋入 一通 一綴 二五〇

1 玄米品々証文渡内訳帳 文久二年正月

横長108 一冊

2 滞御扶持代金渡覚 文久二年二月

横長109 一冊

3 御蔵粉請拂上書上〔正月十二月分〕 粉御蔵方

宿紙143 一綴 一綴 二五〇
ほか

4 玄米請拂上書上〔二月十二月分〕 米御蔵方

宿紙143 一綴 一綴 二五〇
ほか

亥粉米書上 文久三年

宿紙143 一綴 一綴 二五〇
ほか

1 御蔵粉請拂上書上〔正四、六、十、十一月分〕
粉御蔵方

宿紙143 一綴 一綴 二五〇
ほか

2 玄米請拂上書上〔正月十二月分〕 米御蔵方

宿紙143 一綴 一綴 二五〇
ほか

御蔵粉請拂辻書上〔五、十二月分〕 久三年 (子粉米書上)	文久四年 御蔵方	宿紙158	二通 け二五
1 玄米証文渡問合帳	文久四年正月	横長108	一冊
2 粉品々証文渡内訳帳	文久四年正月	横長108	一冊
3 滞御扶持代金渡	元治元年二月	横長108	一冊
4 御蔵粉請拂辻書上〔五、七、十、十二月分〕 御蔵方	粉	宿紙153 ほか	五通
5 玄米請拂辻書上〔正、三、六、七、十、十一月分〕 米御蔵方	粉	宿紙153 ほか	七通
6 小河原村年貢免覚		宿紙153	一通
御蔵粉請拂辻書上〔正、四、九、十一月分〕 蔵方 元治元年	粉御蔵方	宿紙153 ほか	六通 け二五
玄米請拂辻書上〔四月分〕	米御蔵方	宿紙153	一通 け二六
御蔵粉請拂辻書上〔二、四、六、九、十一月分〕 粉御蔵方 慶応三年		宿紙153 ほか	六通 け二七
玄米請拂辻書上〔正、十二月分〕	米御蔵方	宿紙150	一二通 け二三
粉米書上袋 粉方掛	明治二年		け二六
1 粉品々証文渡内訳帳	正月	横長109	一冊
2 玄米品々証文渡問合帳	正月	横長109	一冊
3 御蔵粉請拂辻書上〔正、十月分〕	粉御蔵方	宿紙153	一〇通
4 玄米請拂辻書上〔正、十月分〕	米御蔵方	宿紙153	一〇通

6 御蔵粉拂積下調	宿紙 133	二通	6 平均相場伺并附札 相場書上添 同前 八月	245	一通
7 米粉納継凡積申上下案 七月	宿紙 133	一通	7 平均相場伺并附札 相場書上添 宮下兵馬 九月	245	一通
8 見合書（天保七年、弘化元年納米辻）	宿紙 133	一通	8 平均相場伺并附札 相場書上添 家老差図書共（書上二通） 一〇月	247	二通
9 見合書（天保七年小頭足輕歩附儀数割合）	宿紙 133	一通	月々相場伺 安政二年（以下、恒例のものは書上のみと伺とに分けて略記、伺出の役人名及び附札など省略）	袋入	け二四二
御蔵米切米扶持拂積覚	宿紙 154	二通 け二五九	月々相場伺 安政三年	袋入	け二四三
粉方懸申上書案（御蔵粉御繰合大凡積） 辰九月	宿紙 155	一通 け二五五	平均相場伺 四、六、一二月	246 ほか	七通
現石調 明治三年六月	宿紙 152	一通 け二五四	月々相場伺 粉方掛 安政四年	袋入	け二四三
献上粉請取書（難波人御救用として真田桜山献上）	282	一通 け二三七	平均相場伺 四、六、一二月	245 ほか	三通
岡野敬一郎 鎌原溶水宛 明治三年	宿紙 154	一通 け二五二	相場書上 五、九、一〇月	250 ほか	五通
御蔵米出納覚 未年	150	二通 け二五三	平均相場伺 四、六、一二月	247 ほか	け二四三
御蔵米取調案	149	二通 け二五一	月々相場伺 安政五年	150	一通
当壬申品納凡積 明治五年			平均相場伺 四、閏五、一二月	245 ほか	七通
穀類相場	袋入	け二四〇	宮本慎助内状（相場相談之返事）	199	一通
月々相場伺（穀類（粉・玄米・大麦・小麦・大豆）の相場書上并平均相場伺書） 嘉永七年			月々相場伺 粉方掛 安政五年	袋入	け二四二
1 相場書上 紺屋町弥左衛門・鏡屋町長左衛門・荒神町三平 勘定所役所宛 四月朔日	包紙 150	一通	相場書上 五、六、八、一二月	140 ほか	二通
2 相場書上 同前 同前宛 五月朔日	包紙 151	一通	相場書上（上白米、中白米） 六月	108	一通
3 相場書上 同前 同前宛 六月朔日	151	一通	相場書上（拝借掛臨時入料ニ付大麦相場） 一二月	277	一通
4 相場書上 同前 同前宛 七月朔日	151	一通	平均相場伺 四、七、九、一〇月	141 ほか	四通
5 平均相場伺并附札 相場書上添 竹村金吾 関 七月	248	一通			

月々相場伺 初方掛 安政六年	袋入	け二四五	相場書上 五〇十一月	153 ほか	七通
相場書上 一〇十一月 安政七年三月	139 ほか	四通	平均相場伺 四月	245	一通
平均相場書上 四〇九月(但し六月は何不出)	245 ほか	七通	月々相場伺 初方掛 元治二年	袋入	け二五三
月々相場伺 初方掛 安政七年	袋入	け二四六	相場書上 五〇六、八〇十一月	155 ほか	七通
相場書上 四、七〇十一月	151 ほか	六通	平均相場伺 四、七月	243	二通
相場書上(御手充拝借ニ付大麦相場) 五月	158	一通	相場伺案	宿紙 153	一通
平均相場伺 閏三、五、六月	242	三通	月々相場伺 慶応二年	袋入	け二五三
月々相場伺 初方掛 文久元年	袋入	け二四七	相場書上 五〇十一月	158	六通
相場書上 六月	141	一通	平均相場伺 四月	156	一通
相場書上(窮民御救ニ付臨時大麦相場) 八月	123	一通	月々相場伺 初方掛 慶応三年	袋入	け二五三
平均相場伺 四、五、七〇十一月	215 ほか	七通	相場書上 五〇十一月	袋入	七通
月々相場伺 初方掛 文久二年	袋入	け二四八	月々相場伺 初方掛 慶応四年	袋入	け二四六
相場書上 閏八〇十一月	151 ほか	四通	相場書上 五、一〇十一月	149 ほか	三通
相場書上(上・中白米) 六月	123	一通	平均相場伺 四、六〇九月	152 ほか	五通
平均相場伺 四〇八月	242 ほか	五通	平均相場伺(袋のみ) 閏四月	袋入	一枚
月々相場伺 文久三年	袋入	け二四九	月々相場伺 初方掛 明治二年	袋入	け二五五
相場書上 五〇一〇月	151 ほか	六通	相場書上 四〇六月	150 ほか	三通
平均相場伺 四月	245	一通	平均相場伺 七、九月	240	二通
月々相場伺 初方掛 元治元年	袋入	け二五〇	南京米玄米相場覚書 一二月二九日	宿紙 153	一通 け二四四
御勝手元ノ内尋答書案(長期に同出なき旨の御尋に答) 草間一路 一二月二九日	宿紙 156	一通			

買米・拂米

奈良屋善兵衛差入一札 引受簡条書共（用米御用引受） 菅沼弥惣右衛門宛 天保五年四月	333	二通	け四四
御買上粉納不足人別書上 大塚村直右衛門・石川村忠左衛門 春日儀左衛門宛 天保六年八月	130	一通	け四七
小松原村善八郎親類三役人請書（他領粉買入之儀吟味御流ニ付） 郡奉行所宛 天保七年十一月	276	一通	け三三
小布施村名主書上（飯山蔵米川船駄賣） 松代御預所役所宛 天保九年六月	276	一通	け三九
川中島穀商売人請書綴（御拂粉及大麦御買上） 広田村田蔵、上小島田村吉右衛門、大塚村直右衛門 粉掛り役所宛 天保九年七月八月	280 ほか （八通）	綴 け三〇	
飯山御蔵粉直段覚（御買上請負直段） 紙屋町戸佐久 戌十一月	148	一通	け三九
御買上粉直段入札 紙屋町戸佐久、大塚村直右衛門外 粉方掛宛 天保九年十一月	296~150	三通	け四三
広田村田蔵親類立入人等請書（同人納御買上大麦納入請合） 御勘定所役所宛 天保九年十二月	281	一通	け三三
高田様御借米一卷（前年の地震救済用に越後高田表五千五百俵借入） 嘉永元年（け一三八六）一四〇六一括	袋入		
才領召連評議書類			け二三八
1 磯田音門添伺書 五月一日	宿紙155	一通	
2 家老差図書 恩田頼母 磯田音門宛 五月一日	155	一通	
高田表文通之儀評議書類（明後日宮沢善治出立ニ付高田藩役人等へ文通） 五月			け二六六

1 磯田音門伺書案（次号案文） 五月二日	宿紙154	一通	
2 磯田音門伺書 五月二日	宿紙156	一通	
3 文通案	宿紙154	一通	
4 文通案 磯田音門・岡嶋莊蔵外二人 長谷川順平・松村武兵衛宛	153	一通	
5 家老差図書 恩田頼母 磯田音門宛 五月二日	153	一通	
高田様役人等へ被下物評議書類（運送入費軽減のため引取地變更等を加味） 五月			け二九七
1 郡方伺書 并附札	宿紙156	一通	
2 宮沢善治伺書（各人別金高案）	宿紙154	一通	
3 郡方伺書案	宿紙156	一通	
4 郡奉行廻状 磯田音門 岡嶋莊蔵・山寺源大 夫外宛 一八日	宿紙156	一通	
評議書類写（け一三八六、一三九七等の写）	横長124 仮	一冊	け四〇三
御借入米請取証文扣 宮沢善治 漆畑嘉兵衛・松崎全左衛門宛 嘉永元年六月	330	一通	け三六九
関川関通行願書写（中村屋五郎七扣之写） 申六月	155	一通	け二〇一
御借入米諸入用書出案	宿紙154	一通	け二〇三
中村屋五郎七目録金請取書 小町諸色問屋 佐藤健蔵宛 申六月	153	一通	け二五〇
出役中取計向申上書類 宮沢善治 七月			け二六一
1（出役中取計向報告） 磯田音門貼添	宿紙153	一通	

2 伺書〔高田様役人へ被下目録取計済名面并再被下伺〕	宿紙153	一通
宮沢善治扣書〔出張中手控并用状控〕	縦249 横折126	仮二冊 一通 け140六
高田役人等書状 贈状扣共〔心付目録受領札〕 七月		け13五
1 贈状扣 宮沢善治	160	一通
2 目録明細書扣	160	一通
3 松崎本左衛門・漆畑加兵衛書状 宮沢宛 七月二五日	折紙195	一通
4 清水桂作外三人書状 七月二五日	195	一通
5 香西市太郎書状 別紙共 岡嶋莊藏・竹村金吾外二人宛 七月二四日	折紙180	二通
6 松村武兵衛・長谷川順平書状 同前宛 七月二五日	折紙195	一通
郡方伺書 役人名面書・見合書共〔高田役人へ被下物〕 磯田・山寺・竹村・岡嶋 八月	宿紙152	五通 け13八
高田表諸掛り入料勘定書 飛脚才領組佐藤健藏 宮沢善治宛 嘉永元年八月	273	一通 け13二
江戸留守居用状写 一〇月	横長123	仮一冊 け120五
宮沢善治書状扣 案共〔出役中之札及真綿料送付案内〕 漆畑加兵衛・浜口佳市兵衛宛 一二月四日	194	二通 け13三
高田様役人返書写〔借入米来春雪解後引取願書之返答〕 松村・長谷川 岡嶋外三人宛 一二月一四日	横折111	一通 け12四

中村屋五郎七取次請取書 一二月二一、一二日		け13四
1 漆畑加兵衛請取書〔枅取人等へ酒代目録〕	138	一通
2 漆畑加兵衛請取書〔真綿料〕	139	一通
3 田中弥次右衛門・庄田市左衛門請取書〔宮沢善治米状〕	133	一通
4 浜口佳市兵衛請取書〔同前〕	132	一通
高田役人等書状 宮沢善治宛 一二月二五日		け13六
1 漆畑加兵衛	折紙128	一通
2 浜口佳市兵衛	折紙128	一通
3 田中弥次右衛門・庄田市左衛門	折紙128	一通
御勝手元ノ申上書〔借入米代金取延方依頼〕 一二月	宿紙135	一通 け120〇
御借入米御用ニ付御手充御賞筋伺書案〔才領組健藏、足輕田中勇三郎、紙屋町戸作、新町宿問屋〕〔宮沢善治カ〕	137	一通 け13九
御借入米新町宿ニて拂方評議書類		け13七
1 御收納郡方内々伺書 六月	宿紙133	一通
2 御金掛申上書 六月	宿紙133	一通
3 家老差図書 恩田頼母 磯田音門宛 六月二六日	133	一通
宮沢善治伺書 見合書共〔御借米一件御手充御賞被下〕 一〇月	宿紙132	二通 け12四
高田様御借入米勘定書類 嘉永元年		け12七

1 諸入料御勘定帳 宮沢善治 一一月	横長 124	一通	坂本五一郎用状(御飯米等不足分買上米) 片桐十之助・高野覺之進外二人宛 六月九日	120	一通	け二二
2 高田表往返諸入料勘定一紙 証文類添 佐藤健藏 宮沢善治宛 八月	275 ほか (四冊四通)	一綴	御勝手御用役買入枊取計方書類(昨年末積入之枊に不良品混在ニ付全品拝借之上積替)			け一三〇
3 高田表往返諸入料勘定一紙 証文類添 同前 同前宛 八月	285 ほか (三冊四通)	一綴	1 取計方伺書	宿紙 160	一通	
4 被下金勘定一紙 請取書添(高田役人、中村屋五郎七、関川宿問屋へ被下目録) 宮沢善治 一一月	164 ほか (七通)	一綴	2 買入枊取調申上書	宿紙 160	一通	
5 買上物代勘定一紙(足付目録台、水引等) 宮沢善治 一一月	250 ほか (三通)	一綴	3 御勝手御用役願書 内訳別紙共 北村与右衛門・小出祐之助・柳沢一郎 戊七月	169	二通	
他領米買付一条用状(八田嘉右衛門飯山・高田にて枊麦買入之件) 北沢源次兵衛宛			御拂米引請値段積書写 中町嘉助・伊勢町小嶋房吉 田中増治役所宛 慶応三年三月	横折 138	三通	け二二六
1 金井左源太用状 勘返状 九月六日(一八日返)	宿紙 150	一通	越後表買入米御拂評議書類(去寅買入分残米三百俵虫刺等ニ付拂下) 慶応四年	宿紙 153	三通	け二四九
2 金井左源太外用状 勘返状 九月一〇日(一八日返)	宿紙 148	一通	1 御收納郡方伺書 入札二通添 閏四月	243	三通	
3 金井左源太・岡嶋莊蔵用状 勘返状 九月一〇日(一八日返)	宿紙 145	一通	2 御金掛伺書 閏四月	宿紙 153	一通	
4 金井左源太用状 勘返状 九月一〇日(一八日返)	宿紙 148	一通	3 家老差図書 鎌原伊野右衛門 佐藤為之進宛 閏四月九日	宿紙 144	一通	
5 金井左源太外用状 勘返状 九月一〇日(一八日返)	宿紙 148	一通	越後米御拂評議書類 慶応四年			け二五〇
6 金井左源太外用状 勘返状 九月一〇日(一八日返)	宿紙 151	一通	1 御金掛伺書 五月	宿紙 153	一通	
7 金井左源太外用状 勘返状 九月八日(一八日返)	宿紙 148	一通	2 入札	246~140 二綴 (一三枚)		
8 金井左源太・岡嶋莊蔵外用状 勘返状 九月二二日(一〇月五日返)	宿紙 148	一通	3 落札人請書 伊勢町茂七郎・御安口清吉 酒井市治宛 五月二日	277	一通	
			4 御收納郡方添伺	宿紙 153	一通	

け 五五

5 家老差図書 鎌原伊野右衛門 草間一路宛 五月九日	宿紙143	一通	2 玉川一学申上書〔次号回付〕 一〇月四日	162	一通
粉方掛・御金掛申上書〔買入越後米不良品牢扶持に被下方〕 慶応四年四月	148	一通 け二四〇	3 金沢藩世良太一書状	160	一通
富岡良右衛門申上一条〔不作手充として蚕糸仕入金借繼を以て下米買上方〕		け二四一	○		
1 富岡良右衛門内々申上書 八月	156	一通	玄米買上諸入料請取渡勘定一紙 請取証文添〔舟賃・車力代・春賃・増運賃〕 酒井渡七・増沢理介外 片岡弘人宛 慶応二年七月、九月、十一月	242 ほか	四綴 け三七七 (一七通)
2 岡野弥右衛門用状 草間一路宛 八月九日	160	一通	計政副主事伺書案〔越後米買上代金繰廻〕 二月二三日	宿紙161	一通 け二四三
買上米売極一札 湯田中村清七 松代鈴木藤太宛 明治二年二月	276	一通 け二四三	買上穀代内借証文 大塚村御用達宮下卯八郎 水野清右衛門宛 明治二年二月	266-277	四通 け二四八
買米伺書類		け二四二	買上米代請取書 両角捨之助 宮沢善治宛 明治二年三月	宿紙162	一通 け二四三
1 五明元作伺書 三月一日	154	一通	買上米代金内借証文綴 鈴木藤太 酒井市治・水野清右衛門宛 明治二年三月、六月	248 ほか	一綴 け二四四 (五通)
2 柏原村専吉書状〔買入前金御下ヶ願〕 五明元作宛 巳三月一〇日	151	一通	買上穀上納代金請取手形 宮下卯八郎 水野清右衛門・久保田半弥宛 明治二年五月	261	一通 け二四二
下筋買上米代金関係書類 (明治)		け二六一	買上米代時借証文 宮沢善治 酒井市治・水野清右衛門宛 明治二年九月	宿紙162	一通 け二四四
1 岡野敬一郎答書 二月一九日	154	一通	御蔵米代金仮預り証文 書状添 神林野口庄一郎 同前宛 明治三年二月	270	一通 け二四三
2 某申上書 (別紙欠) 二月一九日	155	一通	買上粉代請取手形 元御用達宮下卯八郎 同前宛 明治三年五月	278-246	四通 け二七六
3 有金高調	宿紙155	一通	買上粉代請取書 宮下卯八郎 同前宛 明治三年五月	249	一通 け二七九
勢州米買請証文扣 野中治右衛門・海沼辰男外丸屋勝次郎宛 明治二年十二月	158	一通 け二四四			
柏崎県方御買米一件内々申上書 七月一七日	153	一通 け二四六			
金沢藩安宅蔵方買米代金掛合書類 明治三年	封筒入	け二三五			
1 大熊董用状 鎌原溶水宛 一〇月六日	宿紙149	一通			

御飯米

御附役同書 買米評議書類(写共〔午冬御飯米買上分御拂上〕(安政六年)四月) 横長23 飯一冊 一通け二四七

御飯米納拂積寛 巳年 宿紙150 一通け二七〇

御飯米過納訴訟願出高〔代官伊東取扱分〕 宿紙154 一通け二五五

御膳米納積申上書案 宿紙152 一通け二七一

拝借・貸付

拝借金

○家中拝借金

御側金拝借金年賦割合添証文 畑小藤太 菊池 318 一通け一六五

伊惣治・関田庄助宛 文化三年一月

拝借金証文 恩田十助 西村源蔵・古岩十右衛門 292 継一通け八四

外宛 文政二年七月

家中拝借金年賦返納請合証文〔知行又は切米之内より年々返済分の引渡を請合〕伊東栄治・小野唯之進外 大嶋磯右衛門・入安兵衛宛 文政一一年〜同一三年 318 ほか二一通け八四

貸附金預り証文〔畑権兵衛拝借金返上分取計〕伊東栄治・町田源左衛門 同前宛 文政一三年正月 323 一通け六九

拝借御貸出金中借証文綴 同前 同前宛 天保二年 け五四

1〔平野宗全拝借金〕三月 249 一通

2〔不明〕四月 269 一通

3〔不明〕四月 269 一通

4〔赤沢助之進拝借金〕三月 248 一通

5〔矢野倉惣之進拝借金〕五月 247 一通

6〔依田勘兵衛拝借金〕五月 247 一通

7〔青木半左衛門拝借金〕七月 247 一通

8〔矢野倉求馬拝借金〕七月 244 一通

9〔十河半兵衛拝借金残金上知請拂御請〕文政九年十二月 263 一通

御趣意預ケ金請取証文 岩下革 大嶋磯右衛門宛 天保八年一月 296 一通け八二

御趣意預ケ金請取証文 池田三七 大嶋磯右衛門・西村源蔵宛 天保九年正月 298 一通け八三

御趣意預ケ金請取証文 菅沼弥惣右衛門 同前宛 天保九年四月 280 一通け八三

江戸廻証文 御拂方 嘉永六年七月 貸入 け一五三

1家中拝借金証文綴 西村源蔵・金井弥惣右衛門宛 嘉永六年四月〜安政四年九月 247〜263 綴 (一四通)

(交代・御入部御供・御判物差越・御朱印付添・病氣御暇・順操院様御供等にて在所行の手充拝借)

2家中拝借金証文綴 同前宛 安政三年〜同四年 272〜293 綴 (八通)

(御入減・御帰城御供・期月交代等にて在所行の手充拝借)

3 御供着類代金請取証文綴 〔拾羽織、木綿合羽 単羽織等〕 同前宛 安政二年	247~263 (一六通)	御趣意拝借金中借証文綴 同前 同前宛 天保一 〇年正二月	242 ほか (九通)
御内借年賦証文綴 御城同心頭宛 安政六年一二 月慶応元年二月	277~310 (一七通)	御趣意拝借金中借証文綴 宮沢喜代治・相原恵左 衛門外 同前宛 天保一一年正月	251 (一通)
内借金証文 関田莊助 祢津刑左衛門・西村十郎 右衛門宛 文久三年七月八月	238	御納戸内借方上納証文〔海野熊太郎取替金〕野 村権兵衛・坂本常之丞 大嶋磯右衛門・吉沢十助外 宛 天保一三年二月	250 二通 け 六六
拝借金証文〔公用人勤中人費〕 北沢冠岳 岸善八・ 岡野敬一郎宛 明治三年五月	250	○	
借用金証書 矢島清人 佐藤則通宛 明治一六年 四月	278	中借証文〔江戸割返之内前借願之分〕 野中八兵衛・ 春日儀左衛門外二人 佐藤左金吾・徳嵩慎吉外一人 宛 文政一三年四月	246 一通 け 三三
御賞典前借金御流し願 招魂社世話方惣代 同前 宛 明治一九年四月	267	江戸割返前借金請取証文 大日方善大夫 野中八 兵衛・春日儀左衛門外一人宛 天保七年二月	269 一通 け 八〇
白鳥神社祭典積金利子受取証 殿町祭典掛 長 井知則宛 明治三五年四月	250	江戸割返之内前借金請取証文 春日儀左衛門・ 宮本慎助外一人宛 嘉永三年二月、同五年正月、 六年七月	276~288 (九通)
金子拝借証 開善寺住職 真田家扶宛 明治二一 年二月	275	借用金証文〔差掛人用〕 正村勇之進 宮本慎助宛 嘉永五年三月	247 一通 け 三三
借用金証書〔村役場納入諸税金引当〕 東福寺村 代納人 同前宛 明治三九年同四〇年	249	○	
○		中川求記願書〔御趣意拝借返納延期〕 松代庁宛 一二月	150 一通 け 七六
御趣意拝借金中借証文綴 伊東栄治・町田権之助 外大嶋磯右衛門・西村源蔵外宛 天保四年三月 同五年二月	250 ほか (一七通)	○	
御趣意拝借金中借証文綴 同前 同前宛 天保七 年二月	246 ほか (一二通)	御家中拝借貸出金上納一紙〔勘定役〕〔元方御 金奉行〕宛 天保一一年文久三年〔嘉永五年分欠〕	247 ほか 二六通 け 六六
御趣意拝借金中借証文綴 同前 同前宛 天保八 年一二月、同九年一二月	252 ほか (九通)	京都御留守居方拝借夫給金上納覚 役夫調役 卯四月	宿紙 158 一通 け 六六

貸付金

金子預り証文 塩野儀兵衛 金井藤助外二人宛 享保二六年五月	306	一通け一四三
吟味方手段金操廻証文	包紙入	
金子拝借証文 鎌倉屋源七 割番所宛 文政九年十一月	300	一通け六八
金子預り証文 万屋長之助 藤田為之丞・藤田右仲宛 文政一〇年正月	309	一通け六九
和田吐頃村三役人願書〔同村勇之助御救の為拝借金願出〕 代官所宛 弘化四年六月	277	一通け二〇七
専納村名主巳之助拝借金拂切勘定一紙 拝借証文共 竹内多吉外二人 斎藤善蔵・水井市治外二人宛 安政六年十一月	243 276	一綴 (一通)け六四
銭札拝借願出御尋物答書 (首欠) 一一月	160	一通け六六
内借金一条御札書類〔再御尋物答書案、同送付状、興利之説に乘る運用を批判した答書〕	竪 ³⁶² 横 ¹²⁸ 149	飯二冊 一通け一六
伊勢町岡田荘之助手代願書〔拝借金返納に官札拂底につき日延願〕 弥助 市政役所宛 明治三年閏一〇月	278	一通け六三
献上		
差出金請取証文〔随意会格式助金〕 入安兵衛・西村源蔵外一人 長国寺副寺宛 天保元年十一月	322	一通け六〇
御下ヶ金御納戸へ差出証文〔西村李右衛門差出金証文〕 金児丈助・岡嶋莊蔵 矢沢監物宛 天保七年十一月	322	一通け二五三

差出金証文 同前 同前宛 天保八年正月	322	一通け六一
献上金書類		
献上金請取手形 興津権右衛門 宮下謙大夫宛 元治元年七月、慶応二年四月	141 153	二通け二八
勘定方下調書類〔元治元年、同二年分〕	横折 ¹²⁸	一綴 (四枚)け二九
献上金取調書〔万延元年、元治元年分〕	148	一通け二〇〇
料理代請取手形 彦兵衛 松代料理所宛 一〇月	159	一通け二〇一
奥向拝借上納覚	150	一綴 (四枚)け二〇二
献上金其他勘定覚	150	一綴 (四枚)け二〇三
小林唯蔵申上書〔境新田村貸金分献上〕 二月	151	一通け二〇六
甲府魚町元兵衛献上金評議書類〔去夏中小銭御買上御下渡御札〕		け二五七
1 御勘定吟味御尋物答書 御勝手元ノ答書貼紙 三月	155	一通
2 家老回状 鎌原伊野右衛門 河原左京・大熊衛士外二人宛 三月十六日	152	一通
下中込村野沢村役人等願書 献上代金預り証文共〔官軍東下之折、小田井宿賄入用を合衆鉛代として献上願〕 松代役所宛 明治二年正月	337 291	二通け二九五
久保寺村宗作献上金評議書類 明治二年		け九五
1 御金掛伺書 七月	宿紙 ¹⁵³	一通
2 御勝手元ノ伺書 七月二十六日	153	一通

3 献上金請取証文写 六月	277	一通	6 図書目録写 (前号の別紙カ)	141	一通
4 用達金請取証文写 六月	277	一通	7 御賞申渡書案	145	一通
御火災ニ付献金願伺覚綴 徴兵組・宰領組其他組 之者 明治三年十二月	150 ほか (四四通)	一綴 け三六	8 御賞申渡書案	153	一通
御火災ニ付献金願伺覚綴 同前 明治三年十二月	150 ほか (一三八通)	一綴 け三六	被仰出書 (家中差出金穀の返戻方) 明治四年	193	一通 け〇五
佐久郡野沢村献上金評議書類 明治四年		け五八	〇		
1 矢野唯見申上書 四月	150	一通	因金献上ニ付内願筋申上書綴 (献上の代償に郡役・ 帯刀御免等を申立) 小河原村米三郎、羽尾村金五郎 外 御勘定所元宛 安政四年	276 ほか (一三一通)	一綴 け五八
2 野沢村役人惣代願書 島田駒吉宛	275	一通	献上褒状 坂口米太郎宛 三月	170	一通 け三二
3 野沢村献上金差出名面	150	一通	日影村窪田喜美三郎等献金御賞筋評議書類		け三〇
騒擾事件献上金御下ケ請取書綴 献納金請取手 形共 中島渡浪・野本力太郎宛 明治四年八月	156 253 ほか (二四通)	一綴 け三二	1 伺書 六月	宿紙156	一通
伊勢町玉井市兵衛願出書類 (亡父内借金之内献上 金と差引残金上納延期) 明治四年		け五九	2 窪田喜美三郎方借入金引合願 坂本斎助 五 月	宿紙156	一通
1 諸事方伺書 一一月	155	一通	3 原村彦三郎用達金高覚	宿紙156	一通
2 市兵衛歎願書 会計方役所宛 一一月	269	一通	4 久保田喜美三郎差出金取調	129	一通
会計方申上書 (献上金穀を上金へ差継取計) 七月	宿紙153	一通 け五二	5 彦三郎差出金取調書	155	一通
和田耕造献金献木御賞筋評議書類		け九二	6 御賞見合書 (田野口村小林斎太事例)	宿紙156	一通
1 守衛伺書 (関口守衛カ)	160	一通	7 役格名覚書	165	一通
2 守衛伺書	185	一通	8 近藤織右衛門書状 問合口上書共 (同人屋敷高 除地被仰付年月問合回答) 栄作宛 六月一日	145 180	一通
3 献上金請書証文写 和田安六宛 安政四年二月	252	一通	広田村小林健治御賞筋評議書類 (献上金差出御 褒)	袋入	け五三
4 松献木調写	横長128	一冊			
5 御賞申渡書写 明治四年三月 (同八年四月調)	141	一通			

1 矢野唯見申上書 赤沢蘭溪宛 二月	253	一通	〇御礼献上	磯田小藤太用状〔御側御納戸御役料頂戴御礼に肴料献上〕 慶応二年二月二十九日	151	一通け二〇五
2 監督御尋物答書 二月	151	一通		蒲焼代金請取手形〔奥女中御加増御礼〕 赤坂桐畑岩村屋 七月二十八日	165	一通け二〇七
3 矢野唯見再申上書 四月	157	一通	〇献上物代	献上物代金請取書〔提重代金〕 御細工所 戊八月一〇月	279	一通け二六九
赤田村新井甚五兵衛願書〔竹房村之者の貸金を献上金とした御賞筋〕 松代役所宛 明治五年二月	279	仮一冊け三四				
荒井伴之助献上御賞評議書類等〔荷物会所普請立替金献上〕		け二六三				
1 監督申上書 九月八日	142	一通	借入・用達			
2 荒井伴之助申上書〔立替金献上願〕 明治七年五月	157	一通				
3 褒賞目録案	139	一通	借入金	金子預り証文写 木村源右衛門・窪田弥右衛門井筒屋十右衛門・平野屋権右衛門宛 宝永五年二月	282	一通け二四九
4 永野申太郎御褒申渡書案〔亡祖父善十郎遺志奇特〕	146	一通		金子預り証文 小山田平大夫外七人 日野屋又右衛門 享保二年一〇月	313	一通け三八
5 御褒申渡書案〔同前〕 永野申太郎	146	一通		借入金証文〔川凌御普請入料返済分〕 望月権之進外二人 八丁堀石橋弥兵衛宛 享和二年八月	319	一通け三三
6 願書添書案〔明治二年祿高改正之節不足分支給願〕	157	一通		借用金証文案 同前 同前宛 享和二年八月	320	一通け六三
宇佐美清兵衛願書〔差出金趣意及同利金御下ケ〕 未六月	146	一通け六三		借用金証文 佐藤大吉郎外二人 同前宛 文化三年二月	325	一通け六四
三輪村北嶋宇兵衛願書〔難波ニ付去已献上金御下ケ〕 松代県出納掛宛 明治四年一月	278	一通け三三		御納戸御余慶方預証文〔江戸石橋弥兵衛方借入金三井寿一郎外二人 窪田三郎左衛門外二人宛 文化四年正月	225	一通け六五
騒擾事件献上金御下ケ請書綴 旧家臣等 家扶 明治七年九月	154~285	一綴け三五		御納戸御余慶方預証文〔同前〕 徳田多膳外二人 同前外二人宛 文化五年二月	225	一通け六六
畑時義親類願書〔御免途餞別金上納猶予願〕 玉川渡・森木一二三 家令宛 明治九年一月	273	一通け三〇四				

井伊掃部頭様方借用金証文(大川通井本所筋川渡御普請御用上納)・高田幾太・小山田主膳外二人 井伊家内今村市之進宛 享和二年	330	一通け二四四	借入金内預証文(三村晴山、壺泉より借入金) 井伊家内今村市之進宛 享和二年	134	一通け六六
桜田様調達金年賦返済書類(石橋弥兵衛借用金返済書類混入)	包紙入	け二三	已御借入金内預ケ証文綴 御金掛 明治二年	袋入 247ほか(一八通)	一綴け五九
1年賦返済金請取証文 井伊家内久保田又市外 高田幾太外四人宛 享和二年一月文化二年	233ほか	四通	和田宿長井十左衛門等請書(臨時御借入金引受) 力石村塚田久兵衛宛 慶応四年六月	277	一通け九二
2桜田様返金拂出書末書切抜 三井九郎左衛門 外 享和二年文化二年	247~275	四通	和田村羽田郷右衛門等請書(同前) 同前宛 慶 応四年六月	279	一通け九三
3石橋弥兵衛年賦返金末書切抜 同前 享和二年	247	二通	金包上納書 和田村羽田三郎右衛門・同作左衛門 酒井市治宛 慶応四年六月	280	一通け九四
借入金証文 藤田右仲・望月権之進外一人 石橋 弥兵衛宛 文化四年一月	325	一通け六〇	須坂町田中新十郎方借入金一件書類		け五二
借用金証文 興津権右衛門・八田競外一人 同前 宛 文化五年一月	325	一通け六九	1草間一路用状 岡嶋莊蔵・金児丈助宛 正月二 三日	165	一通
借用金証文 同前 同前宛 文化五年一月	325	一通け六八	2草間一路用状 同前宛 二月二日	165	一通
借用金証文(上屋敷類焼ニ付)宮島平右衛門・恩 田朝負外二人 井伊家内岡島丹蔵外二人宛 文化八 年	325	一通け六七	3岡嶋莊蔵返書案	宿紙150	一通
日光料物金借用証文 高田幾太・宮下兵馬外三人 南照院・花蔵院・唯心院宛 安政四年一〇月	325	一通け六三	4伺書案 正月二日	126	一通
日光料物金借用証文 同前 遊城院・土橋筑前外 二人宛 安政四年一月	323	一通け六三	○		
借入金証文 嶋田駒吉・五明甚左衛門 神津利兵 衛宛 慶応四年三月	307	一通け四五	取替金利足請取手形 河井十左衛門 池村佐左衛 門宛 享保三年一月	281	一通け四〇
借用金証文 大塚谷平・田中権之助 篠野井村万 屋三郎宛 慶応四年九月	330	一通け八三	取替金返并請取証文 日野屋又右衛門、河井十右 衛門 同前宛 享保三年一月、同四年正月	275	二通け四〇
			送り金請取渡証文(芝山内借入金返済金) 西村源 蔵 大嶋富作・斎藤善蔵外二人宛 嘉永六年三月	250	一通け六八

<p>拂金請取渡証文（支配村々借入金利息） 野本力太郎外各代官 斎藤善藏・水井市治外宛 元治元年二月一〇月</p> <p>255 ほか 一二通 け 四</p>	<p>去申年中御借入金勘定一紙・口々御借入金去申年中返済分勘定一紙 水井市治・西村源兵衛外二人 月岡善平宛 慶応三年十一月</p> <p>242 二通 け 六 248</p>	<p>大塚公平用状（借入金返済等） 酒井市治・水野清右衛門宛 四月二日、同三日</p> <p>173 一綴（二通） け 六 六</p>	<p>越後高田表熊木定左衛門金談一条書類</p> <p>け 六</p>	<p>1 春原玄三用状 岡野敬一郎宛 九月八日</p> <p>159 一通</p>	<p>2 進上物目録 定左衛門 同前宛</p> <p>156 一通</p>	<p>3 岡野敬一郎用状 水野清右衛門宛 九月</p> <p>158 一通</p>	<p>4 岡野敬一郎添書</p> <p>160 一通</p>	<p>水野清右衛門極密申上書 案共（飛脚組豊蔵東京木挽町質屋某へ借入金周旋） 一〇月八日</p> <p>157 一通 け 六 159</p>	<p>借入金調品々書類（別段・産物・才覚・諸向内預など各種借入金の内訳取調） 文久三年正月</p> <p>袋入 二綴一通 け 三〇 宿紙 153 ほか</p>	<p>御借財調書類</p> <p>袋入 け 二五〇</p>	<p>1 家老添状（書類回付） 赤沢助之進宛 一二月二八日</p> <p>161 一通</p>	<p>2 勘定役申上書（借入金収支取調） 子二月</p> <p>162 一通</p>	<p>3 貸付方役人礼金積調 勘定役</p> <p>162 一通</p>	<p>4 借入金請拂下調</p> <p>162 一通</p>	<p>5 御勘定吟味申上書（郡代貸付金差引益筋） 一二月</p> <p>161 一通</p>	<p>6 御勘定吟味申上書（当子六月以来新借入金明細） 二月二七日</p> <p>163 一通</p>	<p>7 丑高掛金上納高調書</p> <p>165 一綴（六通）</p>	<p>田中新十郎書状（借入金の金札返済を了承） 野中喜左衛門・水野清右衛門宛 一〇月</p> <p>165 一通 け 三六 七</p>	<p>田中新十郎書状（元利返金請書の中の難金取替申入） 同前宛 巳十一月</p> <p>163 一通 け 六 六</p>	<p>税手手寄御借入金調</p> <p>宿紙 157 一綴（七通） け 六〇 三六五</p>	<p>上田藩管下五ヶ村へ御借入金書類 明治四年</p> <p>け 三六五</p>	<p>1 中水鮑村青木得三等差出一札（三千両用達約定并納入日限） 月岡徳治・宮入半之丞宛 四月晦日</p> <p>268 一通</p>	<p>2 出役人用状 月岡徳治外二人 理事宛 四月晦日</p> <p>155 一通</p>	<p>3 出役人用状（1号の添状） 同前 同前宛 五月朔日</p> <p>163 一通</p>	<p>4 青木得三書状（貸金証書下案送付及八日金子引渡） 宮入半之丞宛 五月四日</p> <p>162 一通</p>	<p>5 青木得三書状（集金未済ながら引渡方申入） 月岡徳治外二人宛 五月八日</p> <p>163 一通</p>	<p>6 広田村小林健治役代等御訴書（新規御借入金書入地辞退） 月岡・宮入外一人宛 五月</p> <p>277 一通</p>
---	---	---	-------------------------------------	---	---------------------------------------	---	--------------------------------	--	---	-------------------------------	---	--	--------------------------------------	--------------------------------	--	---	--------------------------------------	---	--	--	--	---	---	---	--	---	--

7 広田村小林健治役代等願書写 (前号書入承引、一旦辞退之件御流し願) 祢津千里宛 五月	288	一通	町田源左衛門申上書 (御貸附方役所出頭報告) 三月一七日	248	仮一冊 け 九五
杭瀬下村色部義大夫方借入金取調書類 明治五年		け 六六	御貸附方役人書状写 (呼出状) 野田戸右衛門・千坂權平外一人 町田源左衛門宛 四月二二日	148	一通 け 九六
1 酒井市治申上書 二月	157	一通	町田源左衛門申上書 (御貸附所出頭報告) 四月二三日	230	仮一冊 け 九七
2 元利取調書	150	一通	金子借用証文扣 金奉行徳田多膳外三人 御貸附方役所宛 文化一二年四月	324	一通 け 九八
3 巳午未三ヶ年租税上納高調 土屋直吉・中島祐右衛門 明治六年一月	150	一通	借用金添証文扣 (連印者交代・転役の念書) 同前 同前宛 文化一二年四月	324	一通 け 九九
4 矢野唯見申上書 一月	257	仮一冊	町田源左衛門申上書 (印鑑見届として御貸附方役人参上報告) 四月二六日	230	仮一冊 け 一〇〇
5 色部義大夫差出金并被下扶持書上写	257	仮一冊	幕府代官書状 (貸渡以後使者出入の謝絶) 大貫次右衛門・中村八大夫外一人 真田家老中宛 四月二六日	164	一通 け 一〇一
6 内々申上書 (紺屋町仁右衛門へ貸下ケ金返済滞) 四月	133	一通	家老返書案 (前号返書) 真田志摩 大貫次右衛門外二人宛 四月二六日	171	一通 け 一〇三
平林村柳沢一 郎貸金取調扣 矢野唯見 藤井宛 明治八年四月	249	仮一冊 け 一〇五	町田源左衛門申上書 (請書雛形其他) 四月	249	仮一冊 け 一〇三
○			郡代御貸附金借入書類 文政三年二月封		袋入 け 一〇九
津軽意伯内借金引請戻し証文 (江戸町人より意伯借用金を真田へ引請) 長谷川金蔵外一人 鎌原司馬・小山田主膳宛 意伯裏書 天明五年八月	315	一通 け 一〇〇	1 真田家家来願書并附札 (返上五ヶ年延期) 金奉行藤岡基右衛門外三人 御貸附方役所宛 文政二年一二月	167	一通
郡代御貸附金			2 金子借用証文 文化一二年四月	233	一通
御郡代金御借入一件書類 文化一二年二月〜四月	袋入		3 借用金添証文 (連印者交代・転役の念書) 文化一二年四月	323	一通
町田源左衛門申上書 家老添貼紙 (郡代役所出頭報告) 二月四日	宿紙 143	一通 け 九三			
御代官手扣写 家老添貼紙 (返済期限、証文取扱 領内貸附 利足支拂の条件及立会役人名面) 二月	155	一通 け 九四			

御貸附金借用証文 同元利請取証文共 真田内 御貸附方役所宛 文政四年十二月、御貸附掛 真田 内宛 文政五年二月	袋入 270・327	一通け 四三	勘定奉行達書（老中申達伝達） 村垣淡路守 一 〇月	153	一通け 八五
御貸附金証文（文政十三年五月切替ニ付御渡之古 証文）金奉行菅沼弥惣右衛門外二人 御貸附方役所 宛 文政八年二月	235	一通け 八三	勘定方役人名面	150	一通け 八五
御貸附金利足請取証文 金包料切手共 御貸附掛 畔柳良四郎外三人 真田内宛 文政元年十二月	283	一通け 八〇	高田幾太用状 岡嶋莊藏返書案共（郡代御貸附金 其他） 岡嶋莊藏・長谷川深美宛 嘉永五、同六年	154	一通
御貸附金利足請取証文 金包料切手共 同前 同 前宛 文政三年正月	281	一通け 八二	1 岡嶋・長谷川宛 一月二十九日	150	一通
御貸附金利足請取証文 金包料切手共 御貸附掛 野田戸右衛門外二人 真田内宛 文政四年一月	281	一通け 八三	2 岡嶋返書案 正月十三日	150	一通
御貸附金利足請取証文 同前 同前宛 文政四年 十二月	268	一通け 八三	3 岡嶋・長谷川宛 二月朔日	146	一通
御貸附金利足請取証文 金包料切手共 御貸附掛 畔柳良四郎外三人 真田内宛 文政六年二月	285	一通け 八四	4 岡嶋返書案 二月九日	155	一通
御貸附金利足請取証文 金包料切手共 御貸附掛 川崎仁藤次外三人 同前宛 文政七年七月	278	一通け 八四	5 岡嶋・長谷川宛 二月七日	153	一通
御貸附金利足請取証文 同前 同前宛 文政一〇 年二月	280	一通け 八五	郡代御貸附金預り証文 福田小平太 片岡十郎兵 衛宛 万延元年四月	240	一通け 八五
御貸附金利足請取証文 金包料切手共 同前 同 前宛 文政一二年二月	280	一通け 八七	用達金・調達金		
御貸附金利足請取証文 同前 同前宛 文政一二 年二月	282	一通け 八八	木町増田徳左衛門用達金古証文（返済済み借用 証文を封包） 元禄一二年（宝永四年）	317~172	六通け 三
郡代御貸付金年賦上納願済書類 文政一三年一 〇月	封紙入	一通け 八九	日本橋品川丁海保忠右衛門用達金返済古書類		け 七四
老中達書 申渡名面書共（年賦返納許可）	154	一通け 八九	1 海保忠右衛門願書 真田役人宛 卯九月	321	一通
			2 海保忠右衛門願書 同前宛 卯一〇月	321	一通
			3 海保忠右衛門願書 同前宛 辰三月	328	一通
			4 取替金証文返上一札 池田勇助宛 天明四年一 二月	332	一通
			5 用立金預り証文 近藤七左衛門外三人 海保忠 右衛門宛 寛保二年四月	330	一通

6 用立金預り証文 同前 同前宛 寛保二年六月	327	一通	3 差引勘定書	174	一通
7 用立金預り証文 同前 同前宛 寛保二年六月	330	一通	山田莊左衛門願書写 (用達金御下ケ) 近藤権右衛門・水野清右衛門宛 慶応元年六月	177	一通 け 五
8 包紙 海保忠右衛門	284×386	一枚	用達金利子請取手形 山田莊左衛門 同前宛 元治元年八月	168	一通 け 五
9 包紙	275×383	一枚	用達金并利金請取手形 同前 松代勘定所宛 元治元年一〇月	284	一通 け 五
10 池田勇助口上書 一二月	宿紙152	一通	用達金之内返済請取手形 同前 同前宛 慶応二年一二月	284	一通 け 五
用達金預り証文 磯田音門・岡嶋莊蔵外一人 望月主水宛 嘉永二年一二月	313	一通 け 三五	用達金請取証文 (江戸万屋七兵衛用達金) 倉田三之丞・竹内多吉外 酒井市治・丸山保次宛 文久元年四月	248	一通 け 二〇 五
東江部村山田莊左衛門用達金関係書類			用達金請取証文写 宮原柔兵衛 大谷孝蔵宛 慶応三年一二月	251	一通 け 四
借用金証文 高野寛之進外二人 山田莊左衛門宛 安政三年一二月	333	一通 け 五	用達金請取証文 伊東賢治 問御所村久保田新兵衛宛 慶応四年閏四月	272	一通 け 七
借用金証文 同前 同前宛 安政四年一二月	323	一通 け 五	調達金請取証文 返済延期添書共 堀内莊作外二人 権平半左衛門・松田富之助宛 明治元年一〇月	319	一通 け 三
借用金証文 同前 同前宛 安政五年三月	333	一通 け 五	用達金納手形 草間一路 赤沢助之進宛 慶応二年一二月	245	一通 け 四
借用金証文 高野寛之進・片桐十之助外二人 同前宛 安政六年四月	314	一通 け 五			
借用金証文 佐藤慎平外二人 同前宛 安政六年七月	335	一通 け 五			
才覚金借用証文 添証文共 近藤権右衛門外二人 同前宛 元治元年六月	313	一通 け 五			
借用金仮証文 高野寛之進外三人 同前宛 安政五年七月、同七年正月	158	一通 け 五			
元利差引勘定書		け 五	文政五年廻村御借入金申合訴訟書 (今回不出金ながら今後手段つき次第提供之旨) 御勘定所元宛 文政五年五月、同六年八月	285-302	一通 け 五
1 借用金切替案	146	一通			
2 差引勘定書	宿紙153	一通			

五人、小鍋村五人、東荒町重助、入山村三人、大岡村根越組重右衛門、茂菅村二人、鏑村二人、下横田村三人、入山村五人				
北郷村蔵本願書〔御趣意上納金日延〕 喜左衛門萩原八左衛門・草川吉右衛門宛 安政二年二月	275	一通 け 一六	山田庄左衛門書状〔用達金元利請取状送付〕 水野宛 九月朔日	164
入山村伊右衛門願書〔御趣意用達金献上〕 郡奉行所宛 文久元年六月	280	一通 け 四七	金子請取手形〔海沼孫之進飯山表御用筋入料〕 広田村儀重郎 酒井・水野宛 慶応四年八月	247
杵渕村太忠治願書〔養父用達上納金献上〕 代官所宛 文久三年一二月	278	一通 け 四六	用立金元利請取手形 小布施土佐五郎 野中喜左衛門宛 明治元年一月二日	278
太田藤右衛門外用状〔用達金之内提供申入〕 波之助 酒井市治・水野清右衛門宛 辰一二月	159	四通 け 四三	小布施土佐五郎書状〔御下金請取、こく町田中氏へ金談之作〕 水野宛 九月二〇日	153
広田村役代等請書〔用達金差出〕 称津千里宛 明治四年五月	278	一通 け 四六	御下ケ金請取渡手形〔京堀舎人用達金〕 轟文助 酒井・水野宛 明治二年九月	150
大岡村宮平組三役人差上一札〔用達金献上〕 松代藩役所宛 明治四年九月	277	一通 け 四四	関田莊助用状〔北堀村佐兵衛借用金〕 酒井宛 四月五日	142
倉科村三役人答書〔用達借入金引当として杏仁差入〕 御收納郡方同心柳沢郡兵衛外宛 元治元年六月	278	一通 け 四六	借入金元利勘定覚	宿紙 154
久保田新兵衛書状〔調達金依頼謝絶〕 酒井・水野宛 二月二八日	147	一通 け 四三	京都調達金惣辻ノ書 池村佐左衛門 木内清八宛 亥四月	309
用達借入金関係書類〔け六三八〜六四七一括〕			用途金引当古金預り証文 中沢実 駒村佐十郎・月岡善平外宛 明治四年二月	276
酒井市治用状〔須坂表用達金其他〕 野中喜左衛門宛 寅七月二八日	153	一通 け 四六	○	
用達金元利請取手形 添状共 東江部村山田庄左衛門 勘定所宛 慶応三年三月	174	一通 け 四四	千葉恒五郎・上田安左衛門へ被下物評議書類	け 101
山田庄左衛門書状〔用達金返済請取及残金御下ケ願〕 水野宛 八月六日	178	一通 け 四三	1 家老用状 望月帰一郎・真田志摩 鎌原伊野右衛門宛 五月	154
			2 留役申上書写〔千葉へ一斗三升被下案〕 一一月	157
			3 御勘定吟味伺書写 柘植嘉兵衛 真田志摩宛 一一月晦日	156
			4 留役申上書〔上田へ玄米五人扶持案〕 五月	155

5 柘植嘉兵衛伺書〔上田御出入及被下物〕 一四日	152	一通	5 買物代書出し〔前号別添〕 未七月	155	一通
6 吟味役伝達状〔上田へ新扶持之件〕 藤岡伊織 佐藤為之進・岡野弥右衛門宛 五月一六日	150	一通	○用達金元利請取		
7 留役申上書〔2の原本〕	158	一通	用立金利足請取手形 井筒屋十右衛門 矢沢将監・大熊頼負外三人宛 宝永元年一月	378	一通け 罌瓦
8 留役申上書〔千葉用達金四口集計〕	158	一通	用立金利銀請取手形写 預手形写共 日野屋又右衛門 同前宛 宝永元年一月	300	一通け 六二
9 御勘定吟味伺書〔3の原本〕	148	一通	用達金等利足返済之受取〔け七九四〇八〇九〕	袋入	
10 御勘定吟味内々申上書〔千葉倅給人抱之儀〕 柘植嘉兵衛 一月晦日	148	一通	用達金利足請取手形 西平尾村藤左衛門 高野 寛之進・片桐重之助宛 嘉永五年二月	143	一通け 六四
家老差図書〔飯山領上松吉右衛門へ金子調達中扶持被下〕 郡奉行宛 八月	宿紙 145	一通け 五〇二	利足金請取手形 桑原村関新右衛門 同前宛 嘉永六年二月	279	一通け 六七
郡方伺書〔村方より差上金之褒美を倅へ被下之件〕 一月	宿紙 153	一通け 五三	用達金利足請取手形 松本八郎右衛門 勘定方 役人宛 嘉永七年七月	315	一通け 六二
代官手代口上覚〔伊那県塩尻附之四人用達金差出ニ付御印挑灯渡方〕 青山忠兵衛	折紙 150	一通け 三八	用達金利足請取手形 同前 同前宛 安政二年 八月	277	一通け 六六
他支配之者へ被下入料評議書類〔此表へ罷出之節入料〕 明治四年		け 五三	用達金利足請取手形 同前 同前宛 安政三年 七月	178	一通け 六三
1 出納懸申上書〔去年善光寺町用達金品々入料御下ヶ願出〕 七月一八日	150	一通	利足金請取手形 桑原村関新右衛門 片桐・高野宛 安政四年二月	277	一通け 六六
2 水野清右衛門・坂本齋助伺書〔飯山支配田子村池田久元等へ被下入料〕 七月一八日	151	一通	利足金請取手形 北東条村重右衛門 同前宛 安政五年七月	245	一通け 六三
3 入料書出し〔前号別添、宿泊代及食事代〕 丸屋 長兵衛外 水野宛 未七月、八月	148	一綴 (一通)	清右衛門宛 万延元年二月 伊藤源太郎 酒井市治・水野御手許別御操廻金利足請取手形 宮下謙大夫 斎藤友衛宛 万延元年二月	270	一通け 六五
4 出納掛伺書〔上田町伊藤源太郎等へ被下入料〕 七月	151	一通		244	一通け 六六

役方才覚金利足請取手形 長谷川三郎兵衛 大熊謙太郎宛 文久三年二月	240	一通 け 五七	用達金利足請取手形 御金懸 文久元年	袋入	け 一〇三
才覚金利足請取手形 同前（宛ナシ） 酉七月	157	一通 け 五五	1 伊藤源太郎 酒井市治外宛	279	一通
用達金元利請取手形 山田庄左衛門（宛ナシ） 戌三月	160	一通 け 五四	2 北東条村・北徳間村名主 同前宛	264	一通
利足金請取手形 伊藤源左衛門 小出祐之助宛 丑二月	158	一通 け 〇〇	3 東江部村山田庄左衛門 同前宛	156	一通
用達金利足請取手形 松本八郎右衛門 勘定方役人宛 卯一二月	238	一通 け 五九	用達金才覚金利足請取手形綴 元治元年一二月（小布施土佐五郎、小田切祿三郎、小田切為之助、牧新七） 野中喜左衛門宛	269~277	綴（四通） け 一四三
清淨財利金請取手形（日光） 惠乘院 佐藤長左衛門宛 辰一一月	239	一通 け 〇八	東江部村山田庄左衛門用達金返済書類 慶応元年	封紙入	け 〇六
用達金利足請取手形 北東条村重右衛門 片桐・高野宛 巳七月	280	一通 け 〇九	1 山田理兵衛書状 庄左衛門弟 酒井市治・水野清右衛門宛 一二月二〇日	177	一通
御借入金利足渡請取書入 御金掛	袋入	け 三三	2 用達元利金請取書 山田庄左衛門 同前宛 一二月二〇日	158	一通
1 赤沼河原新田村庄兵衛用達金利分請取手形 北徳間村喜曾八外一人 酒井市治外三人宛 万延元年七月	279	一通	3 用達金請取証文 酒井・水野外一人 山田庄左衛門宛 一〇月	313	一通
2 用達金利分請取手形 北東条村重右衛門 酒井市治宛 文久元年七月	282	一通	用達金利足請取手形 牧新蔵 野中喜左衛門・水野清右衛門宛 慶応二年五月	173	一通 け 〇六
3 丹波島村用達金請取手形 水井忠蔵・春日儀左衛門（宛不明） 文久三年八月	121	一通	用達金返済請取証文 池田久吉 水野清右衛門宛 慶応三年九月	306	一通 け 〇七
4 下八町村外用達金請取手形 花見斎兵衛 酒井市治宛 慶応四年閏四月	宿紙 157	一通	差出金利足請取手形 小林斎太 同前宛 慶応三年十一月	219	一通 け 三四
5 相野嶋村外用達金請取手形 宮入作蔵 同前宛 慶応四年閏四月	158	一通	用達金利足請取手形 小布施土佐五郎 野中喜左衛門宛 慶応三年十二月	264	一通 け 〇九
6 用達金利金請取手形 并勘定書 慶応四年	158	綴（八通）	牛嶋村役人請書（用達金御下請取） 酒井・水野・鈴木宛 慶応四年七月	282	一通 け 二六

元利金請取通帳写 太田藤右衛門 酒井・水野宛 明治二年四月〜十二月 堀谷直治書狀〔用達金御下請取及金札融通申入〕 同前宛 明治二年五月九日 用達金之内御下金請取手形綴	横折 138 宿紙 132	一綴け 四三 一通け 五七 一綴け 四八	伊勢町嘉助願書〔嘉助弟より預金配分ニ付弟後家 実家立戻のため同人配分金御下〕 牧野島村てい父吉 五郎 奉行所宛 文久三年十一月 雨宮村三役人外願書〔用達金御下〕 代官所宛 文 久三年十二月 牛嶋村三役人願書〔名主居宅焼失ニ付用達金御下〕 御勘定所役所宛 慶応四年六月 丹次郎・嘉平次書狀〔御下ケ金依頼〕 五明元作宛 四月一五日 出納掛伺書〔杭瀬下村義太用達金返済〕 四月 土屋直吉口上覚 書狀添〔中野宿白井長蔵用達金 御下ケ願〕 酒井・水野宛 四月 計監御尋物答書〔用達金返済、別紙欠〕 五月 須坂牧茂助書狀〔約定金渡方申入〕 酒井・水野宛 五月一四日 久保田新兵衛書狀〔用達金御下〕 水野宛 七月六 日 山田庄左衛門書狀 別紙共〔御下金願〕 水野宛 七月七日 中嶋啓作書狀〔小札にて御下金願〕 水野宛 一〇 月二五日 高田熊木定太郎書狀〔調達金返戻願〕 酒井・水野 宛 能登屋富治宛 一〇月一七日 長歌村吉江平八郎書狀〔用達金残金を小幣にて御 下渡願〕 酒井・水野宛 一月朔日 山口孝助用狀〔矢代村祖右衛門・孝右衛門用達金 御下願周旋〕 酒井・水野宛 一月五日	278 279 284 154 159 宿紙 157 152 172 156 162 152 160 160 160 148	一通け 三四 一通け 六八 一通け 三六 一通け 四六 一通け 六〇 一通け 四七 一通け 三七 一通け 五八 一通け 五九 一通け 五八 一通け 五〇 一通け 五五 一通け 三九 一通け 五二
用立金元利請取証文 □□恒平 松代藩會計方宛 明治三年二月 用立金之内御下金請取証文 福岡忠三郎 相沢龍 太郎宛 明治五年五月 ○返済御下ケ金願 用達金下渡願書 広瀬村元組、入山村犬飼組、伊 折村中組各三役人 御勘定所元ノ役所宛 弘化四年、 嘉永元年 後町村三役人継り書〔同村七右衛門難波ニ付祖父 用立金御下〕 同前宛 弘化四年八月 後町村三役人願書〔同村喜十郎祖父用立金御下〕 同前宛 弘化四年八月 小林斎太願書〔大地震被災ニ付用達金御下〕 弘化 四年八月	161 273 267 262 266 251 277 276 167	一通け 三 一通け 四 一通 四〇 一通 四六 一通 四八 一通 五〇 一通 五二 一通 五四 一通 五六	山田庄左衛門書狀 別紙共〔御下金願〕 水野宛 七月七日 中嶋啓作書狀〔小札にて御下金願〕 水野宛 一〇 月二五日 高田熊木定太郎書狀〔調達金返戻願〕 酒井・水野 宛 能登屋富治宛 一〇月一七日 長歌村吉江平八郎書狀〔用達金残金を小幣にて御 下渡願〕 酒井・水野宛 一月朔日 山口孝助用狀〔矢代村祖右衛門・孝右衛門用達金 御下願周旋〕 酒井・水野宛 一月五日	162 152 160 160 160 148	一通け 五八 一通け 五〇 一通け 五五 一通け 三九 一通け 五二

酒井道采書状〔村方伝二郎等用達金御下願〕 坂野勝輔宛 二月二〇日	153	一通 け 六四	1 水野清右衛門用状 酒井宛 一月五日	152	一通
牧新七書状 請取書共〔貸付金御下請取、殘金御下ケ願〕 酒井・水野宛 巳六月九日	161	一通 け 五八	2 文五右衛門願書写 大藏省負債掛出張所宛 明治六年一月	253	一綴（四枚）
関屋村三役人請取手形〔焼失人別用達金御下渡金〕 同前宛 明治二年七月	277	一通 け 四四	田子村千村斧右衛門願書〔用達金御下〕 明治四年五月	274	一通 け 五三
鍛冶町藤吉用立金御下ケ伺書 明治二年		け 五三	武州井戸ヶ谷村渋谷市右衛門用達金等御下渡願一件書類 明治四年、五年		け 五五
1 内借掛伺書 二月二〇日	宿紙 154	一通	1 宮下潤造願書 佐藤美与喜宛 二月	161	一通
2 藤吉願書 計政方内借掛宛 二月	298	一通	2 佐藤美与喜用状 柘植彦六宛 二月二日	161	一通
會計方役人書状案〔一昨年中借入金返済延引之件〕 中村六左衛門、若月專吉宛 午正月	宿紙 155	一通 け 四三	3 大塚谷平申上書 正月	161	一通
岩原村三役人願書〔同村長蔵用達金御下〕 計政役所宛 明治三年五月	276	一通 け 四〇	4 柘植彦六伺書 正月	155	一通
紺屋町嘉重郎願書〔臨時用達金御下〕 市政役所宛 明治三年五月	282	一通 け 五二	5 渋谷市右衛門御囲米一件書取 宮下潤一郎 松代役人宛 卯二月	244	一冊
赤田村小林七郎治願書〔用達金御下〕 同前宛 明治三年六月	282	一通 け 五九	6 渋谷市右衛門願書 松代勘定所宛 慶応三年二月	330	一通
赤田村小林七良治願書〔同前〕 計政役所宛 明治三年八月	277	一通 け 六九	7 渋谷市右衛門代人差上一札写 柘植嘉兵衛宛 文久二年八月	253	一通
出納掛伺書〔須坂町田中新十郎へ返済金〕 一〇月	宿紙 152	一通 け 四〇	8 渋谷八右衛門申口写 宮下潤一郎 卯三月	155	一通
上生坂村平林文五右衛門調達金返済願出書類		け 六三	9 渋谷市右衛門申立書写 卯三月	155	一通
1 會計方申上書〔次号上申〕 二月	宿紙 153	一通	10 御勘定吟味伺書〔宮下潤造御出入申付〕 辰二月	155	一通
2 文五右衛門願書 會計方出納掛宛 明治三年二月	277	一通	11 西沢甚七郎御尋物答書 辰一〇月	155	一通
水野清右衛門用状 文五右衛門願書写共		け 五〇	12 渋谷市右衛門願書写 松代勘定所宛 慶応四年九月	253	一通

善光寺町酒井忠兵衛願書〔去年用達金御下〕 松代 泉宛 明治四年二月	282	一通 け 四〇	風間村三役人願書〔犀川満水ニテ難波者へ分量金御下ケ願〕 御勘定所元宛 弘化四年七月	283	一通 け 二〇八
平林貞次郎願書 写共〔用達金御下〕 水野・酒井 宛 明治六年六月	273	二通 け 四五	〇		
矢野唯見用狀 別紙共〔和田耕造等献上金用達金御下渡取調依頼〕 富永新平・佐藤則通宛 〔明治七年カ〕 一一月	141 232	二通 け 四四	広瀬村元組三役人縫り書〔分量用達金御下ケ金之内書落し分御下ケ願〕 同前宛 弘化四年八月	280	一通 け 二〇九
分量用達金			専納村嘉右衛門外分量用達金御下ケ金評議書類 安政五年		け 100
入山村犬飼組分量用達金割返残金差上切願評議書類 文政九年		一綴 け 10五	1 嘉右衛門・機一内尋申上書 代官所宛 六月	275	一通
1 郡方伺書 并附札 金井左源太・岡嶋莊藏 三月	宿紙 148	一通	2 願人・親類惣代・三役人請書 郡奉行所宛 六月	275	一通
2 代官伺書 保崎莊助 三月	137	一通	3 願人・親類惣代請書 三役人奥印 御勘定所元宛 六月	275	一通
3 犬飼組名主百姓願書 代官所宛 三月	297	一通	4 分量用達金請取書 藤田右仲・前島源藏外 專納村弥兵衛宛 宝曆九年七月	280	一通
氷熊村差上一札〔分量金上納〕 嘉永七年四月	251	一通 け 二〇五	5 竹村金吾回狀 山寺源大夫外三人宛 六月一日	152	一通
追通村名主差出一札〔同前〕 元宛役所宛 嘉永七年四月	255	一通 け 二〇六	6 家老差図書 望月主水 竹村金吾宛 六月一日	宿紙 154	一通
分量用達金上納差上一札 領下諸村 御勘定所元宛 嘉永七年四月	255 ほか (三四通)	一綴 け 10五	後町村三役人差上一札〔文久三年分量用達金通帳紛失ながら御下ケ願〕 倉田三之丞宛 慶応三年二月	252	一通 け 10三
〇			丹波島村三役人願書〔同前〕 同前宛 慶応三年二月	270	一通 け 10四
北徳間村三役人願書〔同村源右衛門分量用達金納残免除〕 御勘定所元宛役所宛 弘化三年一二月	295	一通 け 10五	関屋村三役人願書 并再願書 分量人別書上帳共〔居室焼失ニ付分量用達金御下ケ〕 水野清右衛門・酒井市治宛 明治二年五月、七月	横長 140 278	一冊 け 六三 一通 け 六三
新御安口安治願書〔出作村ニテ上納済ニ付分量用達金免除〕 嘉永五年五月	276	一通 け 二〇			

田野口村山本平藏歎願書 民事懸伺書共(分量用達金を酒造株上納金に差懸願) 松代県宛 明治四年十一月	262	二通 け五〇	5 御預所用達金之内請取証文 同前 同前宛 慶応四年八月	260	一通
分量用達金御下金請取手形綴(地震水災救難のため返戻) 御勘定所元役所宛 弘化四年六月〜八月	275 ほか (二冊一九通)	一綴 け九二	6 返済金請取証文 太田・海沼 同前宛 慶応四年三月	264	一通
分量用達金上納使人不埒一条訴訟書類 嘉永七年七月		け三七	7 用達金利足請取証文 太田 同前宛 慶応四年七月	264	一通
1 山村山村三役人頭立惣代継り書 御勘定所元役所宛	279	一通	8 貸出金返済請取証文 同前 同前宛 慶応四年七月	264	一通
2 笹平村正源寺取扱口上覚 菊池孝助・水井忠藏宛	273	一通	9 別段御手段金請取証文 水野・酒井 太田・海沼宛 慶応四年三月	265	一通
御預所・町方用達金			10 手寄才覚金請取証文 水野 同前宛 慶応四年二月	263	一通
用達金并献金上納書 松代各町 安政四年七月〜八月	横長 122 154 ほか (二冊八通)	一綴 け六六	11 御手段金請取証文 酒井 同前宛 慶応四年閏四月	263	一通
町方御借入金請取切手綴 高田幾太等町奉行役所松代各町肝煎・役人等宛 安政四年〜同五年	154 ほか (一綴 け三〇九 (六八一通))	一綴 け六三	12 御手段金請取証文 酒井・水野 同前宛 慶応四年閏四月	263	一通
御預所才覚金請取書類			13 手寄才覚金請取証文 水野 太田宛 慶応四年八月	263	一通
1 手寄才覚金請取証文 鈴木富治・水野清右衛門 太田藤右衛門・海沼龍助宛 慶応三年十一月	320	一通	14 御預所年貢金時借請取証文 水野・酒井 太田宛 慶応四年五月	244	一通
2 手寄才覚金請取証文 同前 同前宛 慶応三年十一月	314	一通	15 別段才覚金請取証文 同前 同前宛 明治元年十一月	309	一通
3 手寄才覚金請取証文 水野 同前宛 慶応三年十一月	320	一通	16 御内用預り金証文 中嶋波之助・太田藤右衛門 酒井・水野宛 明治元年十一月	277	一通
4 御預所年貢金之内差出分請取証文(志摩殿へ差出置之分) 太田 酒井市治・水野清右衛門宛 慶応四年七月	280	一通	用達金差上添状 返済期日別紙共 三沢刑部丞 正月二二日	168	一通 け四六
			用達金差上添状 御預所郡奉行 正月二七日	168	一通 け四七

用達金差上添状	同前	正月二九日	158	一通	け 兎九
用達金差上添状	同前	二月二日	158	一通	け 兎九
用達金差上添状〔須坂富沢新之助差出分〕	同前	已二月朔日	155	一通	け 五〇
御預所用達金元利請取書綴	太田藤右衛門	酒井	277	一綴	け 五九
市治・水野清右衛門宛	明治二年	(一冊五通)			
御預所用達金返済金請取証文	同前	同前宛	278	一通	け 八五
明治二年二月					
御預所・町方品々証文切手	袋入				
御預所・町方貸借諸証文	け 三〇三				
1 拝借金証文〔預所年貢金之内江戸小船町榎坂屋卯兵衛預金差滞ニ付〕	高田幾太・堀田覚兵衛	山寺源大夫・磯田音門外三人宛	338	一通	
二月		万延二年			
2 内借金請取証文〔預所差掛入用〕	海沼龍助外	二人	268	一通	
酒井市治・水野清右衛門宛	慶応元年七月				
3 御納戸御余慶方預証文	上村何右衛門	祢津繁人宛	246	一通	
慶応元年七月					
4 御納戸御余慶方預証文	同前	同前宛	246	一通	
元年七月		慶応			
5 内借金請取証文〔預所差掛入用〕	海沼龍助外	二人	277	一通	
酒井・水野宛	慶応二年二月				
6 内借金請取証文	同前	同前宛	276	一通	
二月		慶応二年二月			
7 御納戸御余慶方預証文〔預所中借之内へ返上〕	西村源兵衛	岡野弥右衛門宛	245	一通	
慶応三年二月					

御預所才覚金勘定書 慶応三年			一綴 け二〇四
1 入金書（次号2・3の合計） 太田藤右衛門・海沼龍助 水野宛	159	一通	
2 御預所才覚金元利返済寛	159	一通	
3 才覚金返済残高寛	159	一通	
4 貸出金請取手形 水野 海沼・太田宛	宿紙157	一通	
5 貸出金請取手形 水野清右衛門・鈴木富治 同前宛 十一月	247	一通	
用達金元利差引勘定書	117	一通 け二〇五	
御預所御借入金一件書類 慶応四年三月ヨリ 貸入			け二三四
1 御預所勘定役用状綴 太田藤右衛門・丸山龍藏 酒井・水野宛 二月〜七月	155 ほか	一綴 (二三通)	
2 御預所勘定役用状綴 太田 酒井・水野宛 明治二年五月〜三年正月	158 ほか	一綴 (二八通)	
3 水野清右衛門用状綴 返書扣共 酒井宛 七月	158 ほか	一綴 (四通)	
4 御預所庶務掌伺書（用達金返済方） 明治三年閏一〇月	158	一通	
5 御預所判事伺書（預所引渡ニ付借入金返済方） 二月	158	一通	
6 御預所へ返済金取調 明治三年十一月	158	一通	
7 太田藤右衛門申上書（伊那県へ引渡ニ付返済方） 明治三年正月	158	一通	
8 東京御用金出伺書案 正月			宿紙155 一通
9 引渡帳簿目録写	156	一通	
10 借入金元利高取調書類	156 ほか	一綴	
御預所御借入金取調書類 御金掛 明治二年九月			貸入 け二二三
1 太田藤右衛門用状綴 酒井市治・水野清右衛門宛 明治元年七月〜十二月	159 ほか	一綴 (六通)	
2 太田藤右衛門用状綴 同前宛 明治二年五月〜十一月	156 ほか	一綴 (二六通)	
3 正金并金札返済分調書 太田 二年四月	158 ほか	一綴 (三通)	
4 御預所村々御用達金之内返済并残金仕訳書 同前 酒井・水野宛 二年九月	横長127	一冊	
5 各借入口返済并中借等下調綴	157	一綴 (一〇通)	
6 才覚金請取手形綴 水野・酒井 太田宛 二年四月	宿紙153 ほか	一綴 (七通)	
御預所江借入金貸出高調			159 一通 け六八
元御預所村々其外方御借入金入用調 太田藤右衛門			貸入
入用金請取渡証文 請取書添（酒肴料、人足賃、昼賄等） 大嶋村久兵衛 巳五月			156 ほか 一綴 (四通) け二〇四
入用金請拂勘定一紙 証文類添（三沢清美・太田藤右衛門巡村休泊賄料并被下物入料） 捕亡小池龍吉 明治三年十二月			け二五三
1 休泊賄方拂帳			横長128 一冊

2 布類代請取書 坂屋賀助	151	一通		
3 酒肴代請取書 綿内村梅本屋半七	157	一通		
4 酒肴代請取書 丹波嶋村小松屋	148	一通		
品々入料中借申上書類 明治四年		け二五二		
1 出納掛申上書 八月	155	一通		
2 入用金取調書 八月	158	一通		
3 布類売上書出 受取文言書入 幾久屋伝兵衛 預役所宛 卯二月	157	一通		
4 仕出し物代請取書 能登屋富作 同前宛 卯 一二月	160	一通		
御預所村々方計政局 江御用達金調 太田藤右衛門 明治二年一二月	横長 140	一冊 け二〇八		
御預所へ借入金大凡調	横長 124	一冊 け二〇七		
太田藤右衛門用状 (元御預所等借入金入用取替金 取調差出) 水野清右衛門宛 明治四年八月	160	一通 け五三		
被下物伺書綴 明治四年		一綴 け六六		
1 元御預所懸伺書 一二月	158	一通		
2 染上下地預り手形 三沢清美 飯島与作宛 一月	153	一通		
3 飯嶋与作伺書 (高井三九郎外六人へ被下物) 二月	154	一通		
某用状 (御預所借入金調) 荒町 水野宛 七月	156	一通 け五四		
宮下主鈴用状 (御預所町宿用達及抱人足等) (宛 名欠損) 一二月	156	一通 け九〇		
才 覚 金				
才覚御用金請取証文 添証文共 宮下伝藏外二人 間山村小林源右衛門宛 寛保元年五月、寛延三年	328	二通 け六二		
差上金上納証文 (上田領大黒屋方藤岡善左衛門才 覚金) 明和元年一〇月	276	一通 け〇〇		
才覚金請取証文 青木三郎左衛門内横山利兵衛 渡辺友右衛門宛 寛政六年八月	363	一通 け五三		
才覚金請取証文		け七九		
1 菊地孝助・大嶋武右衛門 志垣村市兵衛宛 文政 五年一二月	314	一通		
2 入安兵衛・大嶋武右衛門 草川平七宛 文政七年 一二月	314	一通		
3 同前 矢野倉惣之進宛 文政一〇年正月	314	一通		
才覚用達金請取証文 入安兵衛・伊藤佐右衛門 田野口村文右衛門宛 文政一一年正月	249	一通 け八五		
糸方才覚金請取証文 入安兵衛・大嶋磯右衛門 八田喜兵衛・八田辰三郎宛 文政一二年、同一三年	326	五通 け一三四		
才覚金・取替金請取証文綴 西村源蔵・大嶋磯右 衛門・池田良右衛門・入久左衛門外		一綴 け〇三		
1 才覚金請取証文 西条村半兵衛宛 弘化二年一 二月	314	一通		
2 才覚金請取証文 同前宛 弘化三年二月	307	一通		
3 才覚金請取証文 木町彦兵衛宛 弘化二年一二 月	312	一通		
4 取替金請取証文 半田藤作宛 天保一四年八月	311	一通		

5 取替金請取証文	菊池孝助宛	天保一五年一二 月	308	一通	(宛名) 上田伊藤源左衛門、同伊藤源七、仙仁村田中喜右衛門、北東条村、北徳間村、仁礼村青木寅太、同駒津嘉吉、紺屋町飯島彦兵衛、稻荷山村松林源之助、須坂町小布施土佐五郎、高田幾太、山寺源大夫、藤岡伊織、宮下兵馬、窪田富之助、堀内権右衛門、宮崎守人、小幡保之助、望月煥郎、前嶋友之進、上田伊藤源太郎、田子村池田久吉、中町相沢惣十郎、紺屋町新兵衛)
6 取替金請取証文	西村奎右衛門宛	天保一四年 一二月	313	一通	
7 取替金請取証文	浦野勇右衛門宛	天保一四年 一二月	312	一通	
8 取替金請取証文	矢野倉惣之進宛	天保三年一 二月	321	一通	才覚金其外請取証文綴 嘉永七年、明治二年
9 才覚金請取証文	西寺尾村宇左衛門宛	天保一 一年一二月	307	一通	1 才覚金請取証文 水野・酒井 広田村儀十郎宛 明治二年二月
10 取替金請取証文	水井忠藏宛	弘化四年正月	307	一通	2 中借金請取証文 佐藤為之進 佐川又八郎・水 井市治外四人宛 明治二年八月
11 取替金請取証文	宮本慎助宛	天保一四年七月	313	一通	3 時借入金請取証文 水野・酒井 荒神町西沢平 左衛門宛 (月日虫損)
12 取替金請取証文	矢野倉宛	天保一四年七月	312	一通	4 才覚金請取証文 同前 児島孝之助宛 明治二 年正月
13 取替金請取証文	佐川又左衛門宛	天保一四年 一二月	313	一通	5 才覚金請取証文 同前 木町某宛 明治二年正 月
14 取替金請取証文	矢野倉宛	天保一〇年一二 月	318	一通	6 内借金返納請取証文 関田莊助・酒井市治 春 日儀左衛門宛 文久三年三月
15 取替金請取証文	同前宛	天保八年一二 月	320	一通	7 才覚金請取証文 酒井・水野 向八幡村外三役 人宛 慶応三年三月
16 取替金請取証文	同前宛	天保七年一二 月	323	一通	8 才覚金請取証文 同前 田中村龜治宛 明治二 年正月
17 取替金請取証文	同前宛	文政一一年一二 月	325	一通	9 用達金御下ケ金請取証文 三輪村北島宇兵衛 酒井・水野宛 明治二年
18 取替金請取証文	斎藤善藏宛	天保二年一二 月	325	一通	10 才覚金請取証文 片桐重之助外一人 成沢勘左 衛門宛 嘉永七年五月
才覚金請取証文	高野覚之進・片桐重之助	中沢 修左衛門宛 嘉永二年六月	313	一通 け 公三	
才覚金請取証文	同前	嘉永五年六月、慶応四年 五月	314 ほか (一通) け 1017	一通	

才覚金請取証文類 (け一〇六八〜一〇七八一括)			手寄才覚金請取証文 水野・酒井 祢津繁人宛 慶応二年四月		
才覚金請取証文 酒井市治・野中喜左衛門 須坂小布施土佐五郎宛 元治元年一二月	316	一通 け一〇九〇	才覚金・借入金請取証文 水野・酒井 小林斎太宛 慶応二年一二月	246	三通 け一〇三六
才覚金請取証文 同前 須坂小田切為之助宛 慶応元年五月	309	一通 け一〇六六	万延元年才覚金預証文案 水井市治・西村源兵衛外二人 慶応三年	宿紙 154	一通 け七七
才覚金請取証文 同前 須坂牧新七宛 慶応元年五月	309	一通 け一〇六六	才覚金請取証文 鈴木富治・水野清右衛門 問御所村久保田新兵衛宛 慶応三年一二月	320	一通 け三三
産物方借入金請取証文 水野・酒井 上五明村産物改所宛 慶応四年四月	244	一通 け一〇六六	手寄金請取証文 佐藤為之進 鎌原伊野右衛門宛 慶応四年正月	147	一通 け九
才覚金請取証文 同前 善光寺大門町酒井忠兵衛宛 慶応四年五月	276	一通 け一〇三	才覚金請取証文 水野・酒井 近藤権右衛門宛、水井市治宛 慶応四年	154	二通 け七六
才覚金請取証文 同前 水井市治宛 慶応四年五月	319	一通 け一〇四	手寄才覚金請取証文 同前 佐藤為之進宛 慶応四年五月	317	一通 け八五
才覚金請取証文 鈴木・水野・酒井 谷口左仲宛 慶応四年五月	318	一通 け一〇五	才覚金請取証文類 (け八一六〜八三二)		
才覚金請取証文 同前 問御所村定右衛門宛 慶応四年八月	309	一通 け一〇五	才覚金請取証文 鈴木・水野・酒井 問御所村久保田新兵衛宛 慶応四年六月	309	一通 け八六
才覚金請取証文 同前 大出喜八郎宛 慶応四年七月	318	一通 け一〇三	手寄才覚金請取証文 同前 鈴木藤太宛 慶応四年八月	246	一通 け八七
才覚金請取証文 水野・酒井 北堀村三役人宛 慶応四年七月	249	一通 け一〇六	手寄才覚金請取証文 水野・酒井 西条村鶴太宛 慶応四年八月	315	一通 け八八
才覚金請取証文 鈴木・水野・酒井 須坂新助・九兵衛宛 慶応四年九月	308	一通 け一〇三	手寄才覚金請取証文 酒井・水野外 荒神町勘右衛門宛 明治元年一〇月	275	一通 け八九
才覚金請取証文 水野清右衛門・酒井市治・近藤権右衛門 東江部村山田莊左衛門宛 慶応二年正月、六月	307 315	四通 け七〇	借入金請取証文 水野・酒井 問御所村久保田新兵衛宛 明治元年一二月	309	一通 け九〇
			手寄才覚金請取証文 同前 牛嶋村倉太宛 明治二年正月	307	一通 け九一

才覚金請取証文 同前 高坂賀助宛 明治二年正月	310	一通 け 八七	才覚金請取証文 同前 小玉村黒柳利兵衛宛 明治二年正月	308	一通 け 八四
才覚金請取証文 酒井・水野・月岡善平 東条村岩作宛 明治二年二月	313	一通 け 八元	手寄才覚金請取証文 同前 佐藤為之進宛 明治二年四月	246	一通 け 八七
才覚金請取証文 酒井・水野 三水村三役人宛 明治二年二月	315	一通 け 八三	才覚金請取証文 月岡善平・水野清右衛門 高井野村才右衛門宛 明治三年八月	165	一通 け 八九
才覚金請取証文 酒井・水野・野中喜左衛門 田中新十郎宛 明治二年三月	317	一通 け 八三	手寄才覚金請取証文 玉井・土屋書状共 同前 玉井甚市・土屋直吉宛 明治三年閏一〇月	164 127	一通 け 八七
時御借入金請取証文 酒井・水野・月岡 山崎登一郎・倉島長左衛門宛 明治二年四月	245	一通 け 八三	○		
才覚金請取証文 水野・酒井 善光寺町酒井忠兵衛宛 明治二年四月	318	一通 け 八三	北徳間村願人・三役人願書〔才覚金御下〕 忠兵衛 御勘定所元々役所宛 弘化三年一二月	275	一通 け 八六
才覚金請取証文 同前 問御所村久保田新兵衛宛 明治二年四月	320	一通 け 八四	才覚金返済勘定覚 水井市治・西村源兵衛外 慶応三年九月	163	一通 け 八六
臨時入料金預り証文 佐藤為之進 鎌原伊野右衛門宛 明治二年四月	320	一通 け 八六	矢代村願人等願書〔才覚金御下ケ〕 幸右衛門・幸三郎・祖右衛門 郡政役所宛 明治三年五月	279	一通 け 八〇
才覚金請取証文 酒井・水野 倉島長左衛門宛 明治二年四月	247	一通 け 八六	平林村観音院外口上覚〔佐久郡貞祥寺才覚金差出一条〕 西条村法泉寺 山寺常山宛 午一二月	149	一通 け 八五
才覚金請取証文 真田内青山忠兵衛 荻屋原村中沢与治右衛門・神林村上条佐五郎外二人宛 明治二年六月	318	一通 け 八三	才覚金差出書 御社番 未二月	宿紙 164	一通 け 二九
才覚金請取証文 并同通綴 水野・酒井 広田村儀十郎宛 慶応四年八月一〇月	横長 125 245 (一冊三通)	一綴 け 二〇八	伊藤寿作願書〔家中才覚金滞利分御下ケ〕 松代庁宛 明治四年一二月	148	一通 け 八七
才覚金請取証文 返済延期添書共 堀内莊作・竹花兵馬外一人 越後浦田口村田辺与惣治宛 慶応四年九月、明治二年四月	300 315	一通 け 三三	才覚金御下ケ関係書類〔返済願出及粉子を金子に変更の件〕	け 六三	
才覚金請取証文 水野・酒井 飯山出野熊治宛 明治元年一二月	307	一通 け 六〇	1 水野清右衛門・酒井市治用状案 牧野莊左衛門宛 正月	宿紙 164	一通
			2 水野清右衛門・酒井市治用状案 牧新七・牧茂助宛 一二月	宿紙 164	一通

3 太田藤右衛門用狀 別紙共 酒井・水野宛 三 月	156	三通	才覚金請取証文写 月岡善平・水野 高井野村 才右衛門宛 明治三年八月	155	一通け 六〇
鑄物師屋村宮坂仁左衛門願書 証文写添 (才覚 金御下ヶ願) 松代藩役所宛 明治四年七月	288	二通け 二〇五	手寄才覚金請取証文 玉井・土屋書狀共 (才覚 入用加算依頼) 月岡・水野 玉井甚市・土屋直吉 宛 明治三年閏一〇月	154 127	二通け 六七
戸部村山越常右衛門等願書 証文写添 (家中拝借 方へ才覚金御下ヶ) 松代会計方宛 明治四年一二月	276	四通け 六六	才覚金返済請取証文 入有旅村 水野宛 明治 五年五月	278	一通け 六六
借入金雑書類 (才覚金御下ヶ願書狀、元利金取調 等)	155 ほか	六通け 六五	借入金残金元利覚	宿紙 153	一通け 六二
○利足請取			才覚金利足請取証文 酒井・水野宛 慶応二年一 二月	277 ほか	四通け 六五
才覚金利足請取手形 入安兵衛宛 天保七年一一 月、同八年一二月	274 ほか (五通)	綴け 五五	(差出人 小田切禄三郎、小布施土佐五郎、小田切 為之助、牧新七)		
(差出人 原村常蔵、石渡村常右衛門、里村山村善 助、小松原村直右衛門、竹村金吉)			才覚金利足請取証文 小田切禄三郎 野中喜左衛 門・水野清右衛門宛 慶応三年一二月	277	一通け 六六
用達金利足請取証文 壺泉伊平治 高田幾太宛 嘉永七年四月	282	一通け 六五	才覚金利足請取証文 小田切為之助、牧新七 酒 井・水野宛 慶応三年一二月	279	二通け 六〇
利足請取証文 伊藤源太郎 酒井市治宛 文久三 年	289	一通け 六六	返済金利足請取証文 (小玉村黒柳利兵衛へ渡分) 五明元作 同前宛 明治二年一二月	250	一通け 六六
才覚・用達金一括書類 (け八七四、八八一)			別御才覚御貸下ヶ金請取手形 (伝田惣八用達金引 当) 土屋直吉・玉井甚市 水野・月岡・駒村宛	宿紙 149	一通け 六〇
小田切為之助外書狀 用達金利足請取証文共 野中喜左衛門・水野清右衛門宛 慶応二年五月	165	二通け 六六	出入		
用達金元利請取証文 飯嶋彦兵衛 宮本徳左衛 門宛 慶応二年五月	147	一通け 六〇	御扶持金請取手形 東江部村山田莊左衛門 御勘 定所宛 慶応二年一二月	284	一通け 七〇一
利足金請取証文 色部義太夫 水野・酒井宛 慶応二年一二月	276	一通け 六五	御出入之者被下初四分渡伺書案 (須坂町・赤沼 村出入者七人へ) 四月	宿紙 153 159	一通け 六五
才覚金請取証文 水野・酒井 小玉村黒柳利兵 衛宛 明治二年正月	308	一通け 六四	中野町大和長蔵之儀伺書 (用達金差出ニ付御出入 被仰付度旨)		け 二五

1 御金掛伺書 九月	宿紙122	一通	為替手形 北東条村重右衛門・北徳間村喜曾八 安政三年七月	277	一通け 三二
2 御内々伺書 九月二八日	157	一通	為替手形〔堀屋嘉兵衛送り金〕 斎田虎尾 斎藤善治外六人宛 慶応元年十一月	247	一通け 三〇
家老差図書〔肴町幸右衛門へ御納戸御徳居申渡之旨町奉行宛 一二月〕	145	一通け 二四	為替手形〔江戸佐藤雄三郎より下戸倉宿坂井要左衛門宛〕 柘植嘉兵衛 斎藤友衛外二人宛 慶応二年五月	324	一通け 三三
上松村昌禪寺へ粉被下伺書案〔分量用達百両献金ニ付〕	宿紙123	一通け 二六	為替手形 三輪村北嶋宇兵衛 酒井市治・水野清右衛門宛 慶応三年六月	278	一通け 三〇
同役廻状〔飯島彦兵衛外九人勘定所御用達之儀〕〔役名不詳〕〔後欠〕	146	一通け 九三	為替手形〔上田柳町忠助、木町幾久屋慶次郎送り金〕 柘植嘉兵衛・草間一路 佐藤為之進外宛 慶応三年十一月	275	一通け 三六
木屋清右衛門御用達採用評議書類〔明治元年カ〕		け 二五	為替手形〔上祖山村酒井長門送り金〕 関田恭蔵 酒井・水野宛 明治二年一〇月	248	一通け 三八
1 御徒目付御尋物答書 一二月	148	一通	為替手形〔松屋金之助等方借入金之内返済分〕 柘植彦六・佐藤美与喜 岡野敬一郎宛 明治三年六月	250	一通け 三九
2 柘植彦兵衛用状 鎌原伊野右衛門宛 一二月九日	157	一通	○		
3 先例見合書〔慶応三年十二月事例〕	宿紙144	一通	大坂為替金預切手 西村源蔵 草間元司宛 安政六年七月	245	一通け 三五
留役伺書写〔東京出入人へ借入金ニ付寒中見舞として栗・蕎麦粉被下方〕 辰一二月扣	159	一通け 六九	為替手形預り証文 坂本常左衛門 松木元右衛門宛 慶応二年二月	160	一通け 三四
御出入之者 江御扶持方被下候人別御見合	横長123 飯一冊け 二四		為替金預り証文〔矢代村安次郎上納〕 柘植嘉兵衛 草間一路・佐藤為之進宛 明治元年一〇月	244	一通け 三七
計政副主事申上書〔須坂町其外出入之者へ被下粉之事〕 四月	158	一通け 二五	為替金預り証文〔幾久屋伝兵衛宛三井店送り金〕 駒村佐十郎 酒井・水野宛 明治元年十一月	325	一通け 三七
御出入人へ扶持被下伺書案	宿紙122 ほか 二通一綴 け 五七		為替金納入手形 添用状共 炭屋彦五郎 松代役所宛 卯一二月	271	四通け 三六
為替手形〔土井伊予守送り金〕 京室町高宮長右衛門 江戸茸手町万屋喜作宛 享保三年	311	一通け 三五		146	

為替金受取通知狀（上祖山村久米太、羽尾村幸藏送り金） 柘植嘉兵衛 斎藤友衛外二人宛 一〇月 156 二通 け 三毛

○為替金請取

為替金請取証文（三村晴山方佐久間修理宛送金分） 八田慎蔵 片桐重之助・高野寛之進宛 安政元年 一二月 243 一通 け 六二

為替金請取一札（江戸京橋串屋林之助上納分と為替） 串宿村弥五兵衛 酒井市治・丸山保治宛 文久元年 一一月 282 一通 け 四五

為替金請取証文 坂本常左衛門 力石村塚田一郎宛 慶応三年三月〜八月 157 六通 け 四五

為替金請取手形 関田莊助・丸山龍蔵 北堀村佐兵衛宛 慶応三年三月 162 二通 け 三九

為替金請取手形（小嶋屋孝之助、北堀村佐兵衛、矢代村小藤屋為替） 中村鉄蔵・田中權之助 酒井・水野・鈴木富治宛 慶応四年七月 276 二通 け 四二

為替金請取手形綴 慶応四年七月〜一〇月 150〜276 綴 一（二四通） け 三三

（田中權之助・西沢甚七郎 矢代村穀屋銀三郎宛

柘植嘉兵衛 草間一路宛

田中・西沢 原村甚兵衛宛

田中權之助・中村鉄蔵 酒井・水野・鈴木宛

牧野良平・根村熊五郎 塚田一郎宛ほか）

為替金請取手形綴（大谷幸蔵分） 田中權之助 酒井・水野宛 柘植嘉兵衛 草間一路・佐藤為之進宛 慶応四年七月〜明治元年 一二月 247 綴 一（七通） け 三三

為替金請取手形綴 慶応四年七月〜明治元年 一二月 242 ほか 綴 一（二四通） け 三六

。大塚谷平 下高田村利兵衛、矢代村安次郎、押切村仲右衛門、力石村塚田一郎、須坂清水屋久米松、西条村四十、須坂新助外、馬喰町山屋栄治外、羽尾村幸蔵宛
。田中權之助 大谷幸蔵手代、須坂新助外、酒井市治外宛

為替金請取証文綴 柘植嘉兵衛・大塚谷平外 矢代村安兵衛宛 明治二年八月〜九月 150〜252 綴 一（四通） け 三五

彈正台出張役人差送為替証文并請取書 佐藤美与喜 岡野敬一郎・柘植彦六宛、中村権大巡察 松代藩會計宛 明治四年正月〜二月 252 一通 け 三六

為替金之内御下金請取手形 椿峯村喜左衛門 片桐重之助・水野友作宛 弘化三年三月 255 一通 け 三九

為替金御下請取手形 腰村和十郎 御勘定吟味宛 嘉永六年 一一月 274 一通 け 三九

為替金御下ケ請取手形綴 腰村和十郎 同前宛 安政三年四月〜同六年 一二月 152〜284 綴 一（八通） け 三九

為替金御下ケ請取手形綴 夏和村元右衛門 同前宛 安政三年四月〜同四年七月 245〜278 綴 一（三三通） け 三九

為替金御下ケ請取手形 紙屋町直治 同前宛 安政六年 一〇月 280 一通 け 三六

為替金御下ケ請取手形 腰村和十郎 酒井市治宛 万延元年九月 243 一通 け 三九

為替金御下ケ請取手形 荒神町喜作 御勘定役所宛 文久二年四月 278 一通 け 三三

為替金之内御下金請取手形

け 三三

1上祖山村久米太 酒井市治・水野清右衛門宛 慶 応二年十一月	246	一通
2志垣村岡本広太 水野宛 慶応二年二月	146	一通
3上祖山村久米太 水野・酒井宛 慶応二年二月	276	一通
4夏和村元右衛門 水野宛 慶応二年八月	233	一通
5上田領輕井沢村三井甚左衛門 水野宛 慶応三年 十一月	265	一通
為替金之内御下金請取手形 伊勢町児島孝之助 酒井・水野宛 慶応二年二月~同四年閏四月	280ほか	四通け 三〇
為替金之内御下金請取手形 上祖山村久米太 同 前宛 慶応三年五月、七月	274	二通け 三三
為替金之内御下金請取手形写 伊勢町児島孝之 助 同前宛 慶応四年五月	247	一通け 三三
為替金之内御下金請取手形 同前 同前宛 慶応 四年五月~六月	279~301	四通け 三六
為替金并利金請取手形 須坂穀町新助 同前宛 慶応四年九月	276	一通け 三三
為替金之内御下金請取手形 内川村平五郎 同前 宛 明治元年一〇月、十二月	244	三通け 三七
為替金之内御下金請取手形 同前 同前宛 明治 元年一〇月~十一月	265	三通け 三三
為替金之内御下金請取手形 力石村塚田多右衛門 酒井宛 明治元年一〇月	280	一通け 三三
為替金之内御下金請取手形 大谷幸藏 酒井・水 野宛 明治二年五月	280	一通け 三六

〇

江戸惣兵衛外願書〔袖買入代金為替取組〕 松代役 人宛 天保八年五月	307	一通け 三七
夏和村元右衛門外願書〔上野村和田徳左衛門江戸 表商用仕切金為替取組〕 腰村和重郎 産物方会所宛 安政五年二月	277 152	二通け 三六
為替金冥加上納伺書・再伺書〔羽尾村孝蔵、山輕 井沢村藤沢立蔵冥加差出金之上江府為替取組願出〕 草間一路 七月六日、十二月二〇日	宿紙151	二通け 三三
眞宿村三役人願書〔同村弥五兵衛江戸為替御下金〕 酒井市治・丸山保治宛 文久元年十二月	280	一通け 三三
為替金殘金御金出申上書 取調書添 卯十一月	128ほか	一綴 四〇二
大塚谷平用状 別紙共〔軍用品買上代金為替取極〕 酒井・水野宛 明治元年十二月	157	二通け 三九
福島村要左衛門為替金御下ケ評議書類〔大坂表 御当用取組為替金御下ケ方〕		け 二九
1 要左衛門親類・村役人願書 産物方役所宛	271	一通
2 商法掌伺書 一二二月	宿紙154	一通
3 計政副主事伺書 一二二月	149	一通
4 計政副主事再伺書 一二二月	宿紙151	一通
矢代村安兵衛御用達為替金御下ケ願評議書類		け 三六
1 御勝手元々申上書 九月二三日	163	一通
2 御勘定吟味再御尋物答書 九月二四日	158	一通
3 御金掛申上書 九月二八日	宿紙154	一通

4 御勝手元ノ申上書 九月	宿紙123	一通	
5 岡野敬一郎用状 勘返状 岸善八宛 七月一〇日	148	一通	
6 安兵衛願書 御金掛宛 明治二年九月	229	一通	
7 安兵衛願書 明治二年九月	228	一通	
8 安兵衛縫り書 計政出納方宛	225	一通	
預ケ金			
社倉金返済請取手形 北島理兵衛・野中量左衛門 大嶋磯右衛門・入安兵衛外宛 天保五年〜同八年	122ほか	五通け二四六	
預ケ金利足請取手形 同前 同前宛 天保五年一月	123	一通け二四七	
預ケ金利足請取手形 乾徳寺・長国寺 入安兵衛宛 (天保八年) 一二月	119	二通け二四六	
預ケ金其他勘定書類	宿紙122ほか	五通け二四六	
預ケ金利足請取手形 盛徳寺 小野唯之進・野中喜左衛門外一人宛 慶応二年一二月	225	一通け三六	
無 尽 金			
御無尽金上納差出証文 奥村弥一右衛門・八田競外一人 飯嶋五右衛門・中山兵助宛 宝暦五年八月	307	二通け二四三	
補遺の部			
給禄・手充 (『その三』既収)			
切米初代中借証文 御厩小頭小池栄治外一人 水井忠藏外二人宛 天保九年一二月	128	一通け五九	
御厩飼仲間切米代請取渡証文 近藤外一外 同前宛 天保一〇年二月	247	一通け五九	
御手充拝借金請取証文綴 [海防臨時御出馬御供] 西村源藏宛 嘉永七年正月〜二月	226ほか	一綴け1011	(九通)
足輕組之者八重勤手充請取渡証文 割番 根井小右衛門宛 元治元年九月	252	一冊け二四九	
御手充金其外請取証文綴 片岡弘人宛 慶応二年一月〜二月		一綴	
大殿様附女中切米御手充菜銀請取渡証文 松本賢吾	252	一通け四一〇	
大御前様附女中御手充金請取渡証文 同前	250	一通け四三	
女中増切米金請取渡証文 岡田新兵衛	251	一通け四三	
女中菜銀請取渡証文 同前	250	一通け四三	
新抱松原者詰金等請取渡証文 割番伊東善右衛門	246	一通け四四	
上屋敷辻番人扶持給金請取渡証文 同前	246	一通け四五	
珠光院へ被進金請取証文 山脇軍兵衛外	326	一通け四六	

御手許御用スィール一式買上代請取渡証文 柘植嘉兵衛	248	一通け 四七	夫給金請取証文 小宮山三吉	242	一通け 四六
銃付胴乱等入料請取渡証文 根村熊五郎	245・154	一通け 四六	夫給金請取証文 清水新太郎	245	一通け 四七
高倉殿扇子代請取証文 根来斧右衛門	243	一通け 四九	夫給金請取証文 多田鎰三郎	243	一通け 四八
松原者立帰道中入料請取渡証文 竹村半蔵	261	一通け 四〇	貝役勤中御手充金請取証文 同前	243	一通け 四九
繁勤御手充金請取証文 畑兔毛	248	一通け 四三	夫給金請取証文 松本賢吾	242	一通け 四〇
御取次助勤中炭代請取証文 久保田喜代馬外	243	一通け 四三	清野村浪人格近藤織右衛門願書 御書付写共 〔明治三年〳九年分滞扶持被下方〕 三月	149 ほか	四通け 五〇
御取次助勤中御手充金請取証文 同前	243	一通け 四三	○御 借 人		
御取次繁勤御手充金請取証文 同前	244	一通け 四四	御収納郡方御尋物答書案〔常田鎰大夫立帰出府御 借人〕 六月	宿紙 154	一通け 四九
御取次定助別段御手充金請取証文 同前	244	一通け 四五	御借人割当方評議書類（文政七〳八年カ）		け 五三
御手充金請取証文 蟻川功	244	一通け 四三	1 岡嶋莊蔵・金井左源太用状 北沢源次兵衛宛 六月	宿紙 151	一通
御手充金請取証文 同前	250	一通け 四七	2 評議書類写 四月二三日〳六月	横長 124	一冊
御台場御手充金請取証文 小宮山三吉外	243	一通け 四六	国役金その他（〳その四〳既収）		
御徒士定助御手充金請取証文 駒沢市兵衛	243	一通け 四九	国役金請取証文 川崎平右衛門手代広田清吉外三 人 鈴木弥左衛門外二人宛 文政三年六月	276	一通け 五
御徒士定助御手充金請取証文 富岡敬蔵	245	一通け 四〇	○猿楽配当米		
定押御手充金請取渡証文 和田清兵衛	242	一通け 四一	猿楽配当米代金請取証文 浅草御蔵奉行蜂屋十郎 右衛門等 真田役人宛 寛政八年〳文政九年（文化 六年、同一四年、文政六年、同七年カ）	261 ~ 267	一七通け 一七
両組之者詰中御手充金請取渡証文 長谷川藤 右衛門	240	一通け 四二			
仕立物系代請取証文 佐藤丸右衛門	252	一通け 四三			
夫給金請取証文 根来斧右衛門	242	一通け 四四			
夫給金請取証文 清水一郎	276	一通け 四五			

猿樂配当米代金請取証文 久保田吉次郎外七人
同前宛 文政二〇年九月

22

一通 六四

信濃国
松代

真田家文書目録（その五） 解題

文書の内容と特色

収録史料の範囲 本目録は、既刊の『真田家文書目録（その一）』（史料館所蔵史料目録 第二十八集）、『同（その二）』（同上 第三十七集）、『同（その三）』（同上 第四十集）、『同（その四）』（同上 第四十三集）を受けて、『真田家文書目録（その五）』として同文書の書付型史料の一部を収録したものである（以下、既刊分は『その一』のように略記）。真田家文書の伝来や全体の概要、関連史料の所在などについては『その一』の解題に略述しており、また各集の収載史料や目録の編成および表記についてはそれぞれに説明を加えているので既刊の各集を参照されたい。また、各集の編成が明確な区分によって史料を分割しているわけではなく、部分的には相互に重複するところがあり、ことに各集の編集担当者が異なるため、同種史料の分散掲載が避けられない事情があるので、利用にあたっては既刊分との併用をお願いするものである。全体で三万点を越すとみられる真田家文書を、平均的な年次計画の枠内で処理するためには、このような分冊形式によって目録化を計らざるを得ないが、一方で未整理の史料を残したまま部分的に公刊するための矛盾は明白であって、回を追うごとにその矛盾が大きくなる感じを否めない。利用には誠に不便をおかけするが、全体を未整理のまま長期に放置しておく不便さを解決する一つの打開策としてご諒承いただきたい。

本集の収録範囲は、冊子型史料の大部分を収録した『その一』の編成項目を参考にしながら、『その二』以下の各集の方針に沿って、『その四』に続けるようにつとめた。即ち、『その一』の大項目『藩政』から『社倉』『普請』『災害』『産物』の四項と、『財政』史料の一部を収めた。『藩政』のうち残りの数項を飛ばしたことに特別の意味はなく、主として量的な配分に基づく便宜の措置である。もともと、『その二』以下に収録した書付型史料を、ほぼ項目にあてはめながら目録化できたのは、『その三』の解題でふれたように、昭和二十六年に本文書

を史料館が受け入れてから約四〇五年間に実施した仮整理を前提としている。具体的には、整理用封筒に記入してある仮表題や年代のほか差出人・宛名人や主題項目または内容摘記などを参考に、編成項目にあわせて部類分けをしたのである。但し、この仮整理は部分的に、史料の保存経過の原形を著しく破壊していて、いわば功罪相半ばする性質の仮整理であった。その上、三十年以前に多人数が断続的に従事した整理であるから、必ずしも満足のいく結果でないのは寧ろ当然である。『その二』以下の目録化が仮整理の成果を受けていながら、一方では仮整理の錯誤に制約される側面をもち、同一項目にまとまり易い史料を消化するに従って、仮整理の恩恵が低下し始めてきた。その原因の一つには、三十年以前の内容主題による見方が、史料の作成部局ないしは保管部局を重視する方向への変化も介在しているといえよう。後段で述べするように、『その二・四』の目録編成とやや異なる編成となったのは仮整理の実施が少なからず影響している。

目録の記載形式について

一件史料の配列

全般的に言えば当館の所蔵史料目録の記載様式を本集も踏襲しているが、特に真田家文書の既刊目録には個別の史料名称や史料の様式名の付与について、いくつかの新しい方式を説明した点があるので、既刊分の解題を参照して下さるようお願いしたい。以下にこれまで十分に説明していなかった点と、やや変更した点について述べておく。

一つは一件史料の配列順である。『その三』の解題でやや詳しく述べた評議書類のような一件史料の場合に、目録上でどのように配列するかは、史料の理解にも影響する大きな問題である。一般的には、史料が作成されていった順に並ぶのが理解され易く、成立月日も前後せずすむ。既刊分を含めて、原則としてはこの方法で配列しているが一件史料のなかには、その当時に史料の一つ一つに番号を与えている例がある。冊子型では表紙の右上か右下、書付型では端裏や巻上げ部分に、数字や文字を貼紙または打つけ書きで記してある。これは、真田家文書に特有の事例でなく、広く認められるところであって、このような場合は、その番号や記号に従って目録上に配列するのが、史料の原秩序維持の方針からも妥当であろう。だが、一件史料では枝番号で表示することが多く、整理上の枝番号と原本の番号類との数字が一致しなくなる事例が生じる。丁寧にすれば、原本に付された番号類を目録上にも表記すべきであるが、例えば、“3”“12”または“6”“四ノ下”“のよ

うに二種類の番号が錯綜して煩わしくなるため原本の番号類は省略した。このため、成立月日が前後するなど、通常の配列法から見ると誤配列のような結果となったが、それは原史料の配列番号によっている場合であることをお断りしておく。但し、将来は原史料の番号類を見易い形で併記していく方法も考慮していきたい。目録上の配列が年代順にならないのは、合綴の史料も同様である。史料の作成時に生じた誤綴や混入は、修正せずに敢えて旧形を墨守するのが史料取扱の基本原則であるため、目録上にもそのまま記載したものである。これについても、史料には加工せずに目録上では年代順に並べ変えることを考えて良いと思うが、年代の不揃いを直ちに誤りか否かと断定するのは慎重でなければならぬ。

形態の表示

次に史料の形態表示について、本集ではやや変更を試みた。史料館では所蔵史料目録の創刊以来、冊子型史料を「半（半紙判）」「横長美（美濃横長判）」のような記号による表示を続けてきた。第四十一集では、外觀の形状や大小のほかに料紙の用い方や綴じ方をも考慮して、詳細な区分法を試みてもいる。これは史料の形態的差異に関心が向けられるようになったことの反映であって、今後はさらに新しい形態の発見とその体系化が進むことが望ましいと考える。ただ、この表示方法はいずれも冊子型史料に関するものであって、一紙書付型史料においては、時に継紙や折紙の注記を付す程度で、それ以上の形態表示には及ばなかった。ただし絵図面類だけは、タテとヨコの寸法を示すことが当初から行われてきた。本集は収録史料の大半が書付型史料であるということもあって、その形態を表示するために料紙のタテの寸法をミリメートル単位で示すことにした。既に『その二』以降は、収録史料の大部分が書付型史料であって、従来の記載要項の方針によれば形態表示が不要となり、従って一冊の史料目録のすべてに形態に関する記載がない結果となった。この不備を少しでも補正する方法として、今回、タテの寸法を採測して表示することにしたものである。本来ならば、ヨコ——すなわち長さについても示すべきなのであるが、一紙の史料ならばまだしも、長尺の巻紙などを用いた史料では採寸も容易でない事情があり、それだからといって計測の容易な一紙史料だけにヨコの寸法を入れるのでは余りに便宜に過ぎる感じなので、まずタテの寸法のみにとどめたのである。実際に計測を始めてみると、漉き放しのままで裁断していない料紙や、二枚の継紙のそれぞれの寸法が異なるなど、計測の位置や方法によって数値が変動する例があったり、大量の同種史料を合綴してある場合に（本集では三〇八通を一綴にした史料があった）各個の寸法を示すべきか否かの問題も生じ

た。後者について、本集では三通以上の合綴・一括史料は一通の数値だけを示して代表させるのを原則とした。また、表示をミリメートル迄の数値にとどめたが、果してこれが適切であるか、尺貫法の採用を含めて検討を加える必要があると思われる。右のように、本集では大半の史料の形態を数字で表示する結果となったので、本集に若干数収録した冊子型史料についても、そのタテの寸法を表示することとした。これは、従来の表記法を変更するということではなく、具体的な数字のなかに記号が混在するのを避ける意味もあった。第四十一集で提起した側面を含めて、形態表示の範囲や表記法について今後さらに改善していくべきであろう。

史料の配列と概要

本集に収録した史料は、冒頭に述べたように『その一』の分類項目に準拠しながら、受入時の仮整理による整理用封筒の表記を参考に選択して、新しく整理したものである。その上で、一応の整理を終えたカードを『その一』の項目と比較しながら編成した。以下、目録の配列順に従って各項目ごとに概要および特記事項について略述する。

『藩政』

本集は『その四』を引継いで『藩政』の『社倉』から始まる。残存史料も多くなく、特記すべきものは少ない。関連する事項として『囲米』史料を末尾に付した。『普請』も特に取上げる程の大事業の史料はない。ここにも関連として「道橋方」の史料を加えた。なお、「川除普請」の史料は『その四』に収録済みである。『災害』では、まず弘化四年四月と嘉永七年一月とに松代地方を襲った「地震」の史料がある。『火事』には天明八年以降、文久二年に至る出火・類焼の史料があって、『その一』の冊子型史料が慶応年間中心であったのに比べて、格段に範囲が拡大している。

『産物』に関する史料は、本集の約三分の一を占める程の量に達する。幕末の国産開発事業に基づく産物会所を中心とする活動を示すものであり、「銀銅山方」を除く各項は産物会所の各分岐をなす役方である。なお、当館所蔵の信濃国松代八田家文書は、産物会所の運営に深く関与した商人の家筋に当り、今回同時に刊行される『八田家文書目録（その三）』には産物会所関係の史料が多量に収録されているので、併せてご利用下さるようお勧めする。産物会所の前身が糸会所であったことにも明らかのように、この地方の養蚕業を背景に出発しているた

め、「生糸・蚕種」は産物会所の中心となるべき項目である。蚕種については、後掲の『京坂役場』の中でも、特に維新後の借財引当に使われるなど、関連があるので参照されたい。「銀銅山方」は赤柴銅山の試掘・運営に関する史料で、『その一』所収史料とは別趣の内情を伝えるものである。「葉園方」以下の各役については特に指摘するものはない。『産物』の次に『その一』にはない『京坂役場』の項を設けた。ここに配列した史料のほとんどは大坂御用場に関係するものであって、項目名も大坂御用場とした方が明確であるが、幕末終期に京都在住役人と共同して財用を担当している史料などには京都と大坂とを区別しにくいものがあるので、一体として扱うことにしたものである。また、『その一』では藩債処分と関連させて『財政』の末尾に配しているが、前述のごとく、生糸・蚕種を仲介とする活動もあり、しかも純然と「産物」だけで運用されている訳でもないので、この位置に新しく項目を設けたのである。内容は炭屋彦五郎を中心とする用達商人との借財とその返済に関する史料である。

『財政』

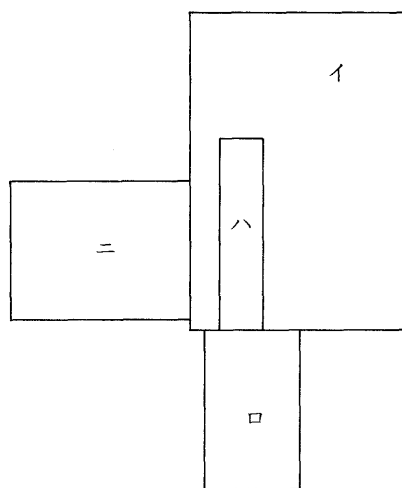
『その一』以来、しばしば指摘してきたところであるが、真田家文書の一大特色は財政関係の史料が豊富であり、しかも後年に始めて『財政』の項目を設けたが、『その二』以降の各集にも藩の経済や収支勘定に関する史料が多量に含まれていることは、目録を一瞥すれば明らかである。従って、書付型史料を全部整理した後に改めて目録を編成すれば、真田家文書の書付型史料の約半数は『財政』史料として扱われることになるはずである。しかし、全史料の整理を完了したとしても、冊子型史料と同じように各作成部局に配列・編成するのは、かなり困難であると推測される。それは、一通の書付型史料の場合は作成または保管部局の確定が、冊子型史料に比して極めてむずかしいことによる。加えて、『その三』で述べたように保存原形が残っていないという不利な条件がある。本集の『財政』で、各役方に配列した史料も、厳密に適用できるかは多少の疑問が残る。従って、各役方以外に内容事項に応じて『御蔵粉米』『拝借・貸付』『献上』『借入・用達』の項を設けて配列した。同一系統の史料が分散しないように留意したつもりであるが、利用者はこの点に注意して全体を閲覧して下さいようにお願いしたい。『御蔵粉米』には、主として粉方掛と御蔵奉行とに関係ある史料を集めた。「粉米請拂積」は、御蔵粉および玄米の在庫・予想収納高と支出高とを見積ったものである。「穀類相場」は、金切米などの換算用に毎月の市中相場を城下の穀問屋から書上げさせ、

前月の価格と一定率以上の変動が生じた場合には基準値段を改訂した際の書類である。口絵

④（下図参照）は、改訂の際の書類の保存形態を示すもので、御収納掛りが平均相場書（イ）に宿紙の下ゲ札（ロ）によって伺書を提出したものに担当家老の附札（ハ）を付して決裁されたものであるが、さらに附札を指示した家老差図書（ニ）を貼付してある。イの相場書には証拠書類として添えた穀問屋の書上を下に重ねてあるから、かなり複雑な形になっている。値段を改訂する必要のない時は、町相場を報告するだけであるが、改訂を伺出た時の多くが同じような形で残っていることから考えると、当時において一連の書類を貼り合せておく形式が、少なくとも相場伺の書類には定着していたものとみえる。なお、価格調査は四月～十一月に実施し、十二月から翌年三月までは改訂しない慣例であった。「買米」には数次にわたる他領からの買入米関連史料があるが、価格や現物の輸送などが予想外に支障となつて中途でそのまま拂米にせざるを得ない事例も見受けられる。

なお、整理中に既刊各集に追加すべき史料が出た時は最終巻に補遺として一括収録することを原則としているが、今回はその一部を末尾に補遺として付載した。この分については、最終巻に再録して利用の便宜を計る予定である。

。本目録の作成は原島陽一が担当した。なお、巻尾に本集に頻繁に登場する家臣の略歴表を付載して利用の便を計った。



弘化 4未. 6.11	御納戸役
嘉永元申. 5.11	元方御金奉行
明治 2巳.11.16	司金
同 3午. 8.18	兵政庶務掌
同 4未. 5.15	閉門、6月20日差免
同 年 . 9. 4	学校庶務軍事庶務兼勤
水野清右衛門 御切米5斗入40俵 玄米1人	
弘化 3午. 9.朔	跡式、御勘定役
慶応元丑. 7.13	一代給人格
明治 2巳.10. 5	計政一等算計司
同 3午.閏10.11	士族
同 4未. 8.19	免職、少属補助会計方
綿貫 泰蔵〔叔蔵〕 高120石	
弘化 4未. 6.18	父依願御番入
嘉永元申. 8. 8	御目付
同 2酉. 6.10	御納戸役
同 4亥.12.20	家督
安政 6未. 3.朔	元方御金奉行
万延 2酉. 2.朔	慎
同 年 . 4.11	御免
文久 2戌.12.11	御役替御吟味役
明治 2巳.11.16	勤仕並
同 3午.閏10.11	右被免

天保 5午.12. 8 御目付役
同 7申. 8.15 御吟味役
同 年 .12.25 御普請奉行
同 12丑. 7.23 御案詞奉行御側御納戸兼帯
同 13寅. 4.16 御勘定吟味役御案詞奉行兼帯
同 14卯.閏9.10 御案詞奉行兼帯御免
嘉永 4亥. 5. 7 足輕奉行御作事奉行兼帯
同 6丑. 6.21 足輕奉行御作事奉行兼帯御免
同 6丑. 8.18 郡奉行御勝手元ノ兼帯御收納方
懸り宗門改
同 年 .10. 2 御物頭兼帯
同 7寅.11.15 御物頭兼帯御免
安政 5午. 3.朔 町奉行兼帯
同 6未.12.19 町奉行兼帯御免
万延元申. 5.28 御役替御預所郡奉行
慶応元丑.11.28 御役替二之丸御留守居

高野覚之進〔鶴藏〕 御切米納粉25俵
玄米4人御扶持
一代1人役料1人

文政 8酉.10. 6 跡式、跡役共
安政 2卯.12.25 一代給人格
同 5午.12.18 一生給人御小袖一被下
万延元申. 5.23 不応思召之義有之退役

柘植嘉兵衛 高190石 御役料25石
文政 7申. 7.21 家督
同 年 . 8.21 大殿様御小姓
同 10亥.閏6.19 御同方様御近習御小姓兼
御番入
同 11子.10. 2 御近習役
同 12丑. 5. 9 御膳番御刀番兼帯
天保 6未.正.15 御徒士頭兼帯
同 7申. 8.15 御供頭
同 12丑. 6.22 御普請奉行
同 年 .11.17 御役料10石
同 14卯.11.21 道橋奉行
弘化 2巳. 3.13 御役替御勘定吟味役
文久 2戌.正.26 返上被仰出 (欄外朱書)
元治元子. 3.23

堤 常之丞〔千治郎〕 御役料玄米2人
弘化 3午.12.朔 初而之御目見申上
安政 5午.11.28 父依願御番入
文久 2戌.12.18 弘方御金奉行
文久 3亥. 5.25 京都御守衛方兼帯
元治元子. 5.15 御守衛方御免

中嶋 渡浪 御切米金5両
中1人下2人玄米3人御扶持
家督
文政 7申. 9. 6 役夫調役
同 11子. 5.22 御蔵奉行
同 年 .11. 8

天保15辰. 7. 9 御代官
元治元子.12.25 御奥元ノ役
慶応 4辰. 3. 2 御役替大御前様御守役

西村 源藏〔峯治〕 御切米金4両
中3人玄2人御扶持
御役料玄2人粉8俵

天保 5午.12. 8 依父願御番入
同 9戌. 7.12 若御前様御奥支配
同 11子. 7. 2 家督
同 年 . 8. 4 水道役
同 12丑. 4.25 弘方御金奉行
同 14卯. 2.16 御役替若御前様御奥支配
同 15辰. 2. 6 弘方御金奉行江帰役
文久 2戌. 9.14 願之通御役御免
同 年 .10.13 隠居

前島友之進〔有年〕 高100石

天保10亥. 5.18 父依願御番入
同 年 . 6. 7 御役場方御番士
同 年 . 9.20 家督
同 13寅. 3.15 公用方御取次
同 年 . 5.13 繁司義友之進と改名
同 14卯. 5.29 定火消役兼帯
同 15辰. 5.28 御役替定火消
弘化 5申.正.11 御目付
嘉永 4亥.11. 8 町奉行
同 6丑. 8.18 御預所郡奉行
同 7寅. 3.15 御取次御使役兼帯
慶応 2寅. 2.25 御預所郡奉行
同 3卯.正.23 足輕奉行兼帯
明治元辰.10. 2 公議人
同 年 .12.10 御役替御預所郡奉行江帰役、西
京ニ而
同 2巳.11.10 改名
同 年 .11.16 計監
同 4未. 6. 9 謹慎、同24日差免
同 4未. 8.19 免職、大属監督

水井 忠藏 御切米納50俵 玄米9人
御役料2人

文化12亥. 2.18 御勘定格、郡方物書方
文政 2卯. 6.28 御勘定役
天保 5午.正.11 一代給人格
同 14卯. 2.朔 御勘定所元ノ
嘉永元申.12.28 給人
同 7寅.10. 9 越石御代官御勘定所元ノ役兼帯

水井 市治 御切米5斗入粉30俵
玄米7人御扶持
天保13寅. 4.15 父依願御番人
弘化 3午.10. 4 家督

嘉永 4亥. 5.11 御家老職
同 6丑.□. 5 兵学御指南御頼
同 年 .11.25 御家老御免
嘉永 7寅.正.19 御家老職
同 7寅.□.25 御家老退職
安政 5午.11.22 隠居被仰付
同 年 .12.23 再勤
万延元申.正.26 親類御預
同 年 .□.18 親類御預御免急度慎
文久 3亥. 3.19 蟄居御免
同 年 . .□ 学校并御軍制之義存念無遠慮可

(虫)

申□御内意

(虫)

同 年 .5. 3 被召出御家老□三拾人御役料

(虫)

(虫)

百石□学校懸□鎌原□次郎

(虫)

幼□後見

(虫)

(虫)

慶応 2寅.□.□

於江府□懸

同 年 . 2.27 御勝手懸御訴訟之处御差留

同 4辰. 3.27 御預所懸

草間 一路

高135石
天保13寅.11.25 父依願御番入
同 年 .12.15 若殿様御近習役
同 15辰. 5. 2 御番入
同 年 . 5.17 若殿様御近習役
嘉永 5子. 5. 8 若殿様御側御納戸
同 6丑. 8.18 御勘定吟味
安政 5午. 5.18 家督
万延 2酉. 2.18 御役替郡奉行御勝手元ノ兼帯
慶応元丑. 6.25 産物懸り
同 3卯.正.23 足輕奉行兼帯
明治元辰.12. 8 社寺奉行助公事方懸助被仰付之
同 2巳.10. 5 権少参事、神社郡政副主事専勤
同 年 .12.27 町川田村犯罪人一条ニ付慎
同 3午.正.17 慎御免
同 4未. 4.25 謹慎、5月15日御免
同 年 . 5.15 免職
同 年 . 8.19 少参事職事懸

駒村佐十郎

納15俵 粉2人
弘化 4未. 9.10 跡式
同 5申.正.28 御用部屋小僧役
嘉永 7. 正.11 御勝手方認物助
安政 2卯. 6. 2 一番表組御徒士江番入
同 年 . 6. 5 御用部屋書役見習小僧役兼
同 3辰. 3. 5 御勘定吟味方留役
同 5午. 2.20 御勘定吟味方改役兼帯
明治 2巳.10. 8 計政二等算計司

同 3午.閏10.11 士族
同 4未. 8.19 免職、権少属出納方

佐藤為之進〔安喜・美与喜〕高150石
同心拾人

天保11子. 9.26 父依願御番入
同 年 .10. 9 御納戸役
同 15辰. 6. 3 家督
同 年 . 8.18 御吟味役
嘉永 5子. 9.朔 足輕奉行御作事奉行兼帯
同 7寅. 4.25 下屋敷地被下
安政 2卯. 4.25 御吟味役江帰役
同 3辰.正.29 思召被為在、御普請奉行江帰役
同 5午. 2.17 御役替御宮奉行
万延 2酉. 2.18 御役替御勘定吟味
慶応元丑.12.23 改名
同 2寅.正.11 御役替郡奉行御勝手元ノ兼帯
明治 2巳. 9.朔 改名
同 年 .10. 5 権少参事市政副主事
同 年 .12. 5 同心返上

坂本常之丞〔常左衛門〕御切米5斗入20俵
玄米3人御扶持
役料玄1人

弘化 2巳.12.21 御勘定吟味方留役見習
安政 3辰. 3. 5 家督、御勘定吟味方留役
同 5午. 2.20 御勘定吟味方改役兼帯
元治 2丑. 7. 8 一代給人格
慶応元丑. 8.13 産物会所懸り
同 4辰. 3.12 大病之趣ニ付以御情慎御免
同 年 . 3.14 死去

酒井 市治

納50俵 上2人玄3人

天保14卯.12.21 御勘定役見習
弘化 3午.10.15 役成之御礼
文久元酉. 8.12 御勘定役并一代給人格
慶応 4辰. 2.23 新規亡父米助御宛行并引上候屋敷地共被下置跡目被成下御立
明治 2巳.10. 5 計政一等算計司
同 3午.閏10.11 士族
同 4未. 8.20 謹慎ニ不及
同 4未. 8.23 取調中会計懸出仕

関田 庄助〔恭藏〕

役料玄米1人 別段玄1人

嘉永 6丑.12.28 御勘定役見習
明治 2巳. 9.28 改名

高田 幾太

高135石 御役料30石

文政 8酉. 3.13 被召出御小姓役
同 9戌. 8.22 家督
同 11子.12.21 御近習役御小姓役兼

真田家家臣略歴表

〔凡例〕

1. この略歴表は、本目録に頻出する家臣について『真田家家中明細書』（史料館叢書8）から抜粋して作成した。
2. 人名の配列は五十音順に従った。
3. 人名の見出しは、本目録に登場する名前を採用し別名を〔 〕内に補った。各人の履歴事項も本目録を利用する範囲にとどめた。

池田富之進 御切米納20俵 玄6人御扶持
添高拾石
弘化 4未.12.21 御勘定役見習
嘉永 2酉.12.25 祖父良右衛門給人被仰付候付
御勘定役見習御免
同 4亥. 4.25 祖父依願御番入
同 7閏. 7. 9 初而之御目見申上
安政 2卯. 2.16 家督
同 5午.11.28 弘方御金奉行
文久 3亥.11.28 遠慮、12月19日御免
明治 2巳.11.16 司金
同 4未. 5.15 閉門、6月20御免
同 年 . 8.19 免職

岡嶋 荏蔵 高220石 同心15人
享和 3亥. 5.15 被召出大殿様天真侯御小姓
文化14丑.11. 2 御武具奉行
文政元寅.11.朔 御目付
同 2卯. 6. 2 大殿様大暁侯御膳番御刀番兼
同 4巳.正. 6 郡奉行
同 8酉.正.21 御勝手元ノ兼帯
同 8酉. 5.14 家督
同 12丑. 8.24 免無里開発懸両川御普請懸共御免
天保14卯. 3.21 御収納方掛り
弘化 3午. 8.20 公事方助、9月22日同掛り寺社
奉行助
嘉永 4亥.11. 8 御側頭取
同 5子. 5. 8 若殿様御側頭取
同 年 . 8. 2 寺社奉行郡奉行御側頭取御勝手
元ノ兼帯
同 6丑. 8. 4 死去

恩田 頼母 （高1100石）玄米10人
文政 2卯. 6.25 御家老職見習被仰付、御宛行頂
戴
同 3辰. 8.28 御家老職
同 6未.12.18 依願御家老職御免、御礼席御番
頭上席御宛行返上
同 7申. 7.25 御城代被仰付、御宛行頂戴

同 年 .12. 9 依内願御役御免
文政12丑. 9.25 御城代帰役
同 13寅.正.11 御家老職
天保12丑.正.21 御勝手掛
同 15辰. 7. 9 家督
同 年 . 8.25 御預所掛
嘉永 4亥.10.19 御家老職御免
同 6丑.12.朔 御家老帰職、御勝手懸
安政 2卯.11.17 近年多病相成気分衰候ニ付御家
老職御訴訟之處、深御恕察自今
勤方御減略、最暫之内御勝手懸
共押而相勤候様

同 6未. 2.16 西条野山式万坪御預
同 6未. 7.12 御預所懸り
同 6未. 8.11 勤方御減略月番御免
同 7申. 2. 2 従来虚弱病多ニ付度々御訴訟申
立候趣達御聴、無余岐事思召乍
御不本意内願之通御家老職御赦
免被成下候得共、年来相勤候付
御家老申談有之節ハ存念無遠慮
可申述旨、席御家老之次年頭御
礼御居間書式等は迄之通、詰所
御城代詰所勤方差立隠居並之通

片岡 弘人 高100石 初15俵
弘化 2巳.10.15 初而之御目見申上
嘉永 4亥. 2.29 家督被仰付
同 年 . 4. 7 御番入
安政 6未. 3.15 元方御金奉行
文久 3亥. 5.25 京都御守衛方兼帯
同 年 .10.19 御余慶方懸
元治元子. 5.15 御吟味役
同 2丑. 3.11 御普請奉行
慶応元丑.12.10 御役替御吟味役へ帰役

片桐重之助〔十之助〕 5斗入25俵 玄米3人
役料玄2人
文政 8酉. 5.24 御勘定見習
天保 5午.12.25 本役
弘化 4未.12.25 一代給人格 御勘定役
嘉永 6丑. 3. 5 家督、是迄之役料老人御扶持返
上
安政 5午.12.18 一生給人、役料老人御増
万延元申. 5.23 不応思召義有之退役

鎌原伊野右衛門 （高1000石）
御役料御蔵前100石
玄米10人御扶持
天保 9戌.10.15 初而之御目見
同 年 .12. 4 御一字拝領貫唯と相改
弘化 4□.正.12 家督
同 年 . 8. 4 伸佑儀伊野右衛門と改名被仰付

史料館所蔵史料目録 第五十一集
信濃国松代真田家文書目録（その五）

平成二年三月二十日 印刷発行

編集兼 国文学研究資料館

発行者 史料館

〒142 東京都品川区豊町二丁目十六番十号
電話 〇三ー七八五ー七二三（代）

印刷所 睦美マイクロ株式会社

〒135 東京都江東区木場六丁目十二番五号

（本文用紙は中性紙を使用）